



## 一般共通事項

	(18) 保温（続き）																																																							
<b>● 一般 共通 事項</b>	2) 冷媒管保温仕様	<p>注1．原則として、露出配管は保温化粧ケースに電線配り配線及び操作線を収納し天井内、パイプシャフト内、床下及び暗渠等内等は冷媒管保温上に共結りして固定する。</p> <p>2．ポリスチレンフォーム保温筒は、ガス管20mm、液管10mm厚以上とする。</p> <p>3．保温化粧ケースは、耐候処理を施した強化ビニル樹脂製で-20℃～60℃まで耐えるもの。</p> <p>4．保温化粧ケースに冷媒管を収めた場合、適当な余裕があればドレン管をケース内に収めても良い。</p> <p>(3) 屋内露出配管の施工</p> <p>屋内露出配管の保温見切り箇所には菊座を、また分岐曲がり部等にはバンドをつけるものとする。なお、材質は全て冷間圧延ステンレス製とし、バンド幅は保温外径150mm以下は20mm、150mm以上は25mm、菊座は全て50mmとする。</p> <p>(4) 給水管・排水管保温仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th><th>材 料 及 び 工 順 序</th><th>参 考 施 工 箇 所</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">屋 内 露 出</td><td>1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス</td><td>一般居室、廊下</td></tr> <tr> <td>1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス</td><td>機械室、書庫、倉庫</td></tr> <tr> <td>1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス</td><td>天井内、パイプシャフト</td></tr> <tr> <td>屋 内 隠 蔽 (ドレン管)</td><td>1. 保温チューブ巻き(ライトカーバー) 2. ビニルテープ(1m間隔)</td><td>空間壁内</td></tr> <tr> <td>床 下</td><td>1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレフィルム 4. 着色アルミガラスクロス</td><td>床下、暗渠内、地下ピット</td></tr> <tr> <td>屋外露出</td><td>1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレフィルム 4. ステンレス鋼板</td><td>屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿場所 (厨房の天井内は含まない)</td></tr> </tbody> </table> <p>注1．給水管及び給湯用の配管で、保温を行う呼び径65以上の弁、ストレーナー等は、ビス等により容易に剥がせるステンレス鋼板による外装を施す。</p> <p>2．ポリスチレン保温筒の使用困難な箇所は、ロックウールフェルト、グラスウール保温帯又は、波型保温板を使用してもよい。</p> <p>3．別途図示等の指示がある場合はそれによる。</p>	施工箇所	材 料 及 び 工 順 序	参 考 施 工 箇 所	屋 内 露 出	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス	一般居室、廊下	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス	機械室、書庫、倉庫	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス	天井内、パイプシャフト	屋 内 隠 蔽 (ドレン管)	1. 保温チューブ巻き(ライトカーバー) 2. ビニルテープ(1m間隔)	空間壁内	床 下	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレフィルム 4. 着色アルミガラスクロス	床下、暗渠内、地下ピット	屋外露出	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレフィルム 4. ステンレス鋼板	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿場所 (厨房の天井内は含まない)																																			
	施工箇所	材 料 及 び 工 順 序	参 考 施 工 箇 所																																																					
	屋 内 露 出	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス	一般居室、廊下																																																					
		1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス	機械室、書庫、倉庫																																																					
1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス		天井内、パイプシャフト																																																						
屋 内 隠 蔽 (ドレン管)	1. 保温チューブ巻き(ライトカーバー) 2. ビニルテープ(1m間隔)	空間壁内																																																						
床 下	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレフィルム 4. 着色アルミガラスクロス	床下、暗渠内、地下ピット																																																						
屋外露出	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレフィルム 4. ステンレス鋼板	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿場所 (厨房の天井内は含まない)																																																						
19 制御及び操作盤		製造所名及び施工業者名を容易に消えない方法で記載した銘板を、扉付は扉裏面に、扉なしは全面板のえきがかりのよき位置に取り付ける。																																																						
20 塗装及び防錆		標準仕様書第2編によるほか下記による。  (1) 屋内及び屋外露出部に塩化ビル管（カラーパイプを除く）使用時の排水管、通気管、排気管及びビニル製付属品等は、塩化ビル系エナメル2回塗りとする。  (2) 鉄鍍製マンホール蓋、各種ボックス用鉄鍍製品、その他の鉄鍍製品は、タールエポキシ塗りとする。  (3) 浄化槽、グリーストラップなどの鋼板製装置は、溶融亜鉛めっきとする。  (4) 亜鉛めっき銅管、ラインング銅管などのネジ山部分、その他サビのでる恐れのある部分は、全て高温度亜鉛末塗料（参考品名：ローパル）でサビの防止処置をする。																																																						
21 試験		標準仕様書第2編によるほか下記による。  (1) 給水配管及び給湯配管は、次の水压試験を行う。なお、配水管から第1止水栓までは鹿児島市水道局施工基準による。 ア 保持時間は最小60分とし、試験压力は配管の最下部におけるものとする。 イ 第1止水栓以降の漏水裝置に該当する管は、試験壓力1.0MPa以上（ポリエチレン管は製造者の規定による。）とする。 ウ ポンプの压力がかかる配管は、当該ポンプの全揚程に相当する压力の2倍の試験压力かつ0.75MPa以上とする。 エ 高置タンク以降の配管は、静水頭に相当する压力の2倍の試験壓力かつ0.75MPa以上とする。  (2) 排水管は、満水試験を行い、衛生器具等の取付け完了後、過水試験を行う。また、ドレン管は、過水試験を行う。なお、保持時間は、満水試験にあつては最小30分とする。  (3) 冷媒管は、JRA-QU4「フロン類を用いた冷凍空調機器の冷暖漏れガイドライン」による気密試験を行う。保持時間は24時間以上とし、気密試験後は、全系統の高真空蒸発脱水処理を行う。  (2) 竣工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲するものとす。竣工時に、国土交通省大臣官庁営繕部監修機械設備工事管理指針1編による、竣工时中長期保全計画書（長期保全計画書）を作成する。作成方法は、監督員の指示による。  ヤンバルトサカヤステのまん延防止対策  ヤンバルトサカヤステのまん延防止のため、当該現場での土壌や植物等の搬入に伴うのは、次の方号を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルトサカヤステの様子が確認された場合は、まん延防止対策を講ずる必要があるため、様子状況等の調査を行い、監督員に報告すること。  (1) 土・樹木等の措置 ア 発生地区からの搬出を極力抑えることを原則とする。 イ 廃棄物等にまつては、一般廃棄物、産業廃棄物が取扱い可能な焼却施設で焼却処理する。 一 般廃棄物：市町村の村舎の許可を有している民間焼却施設 二 産 業 廃 棄 物 ： 業 の 許 可 を 有 し て い る 民 間 焼 却 設 施  (2) 工事区域周辺部の措置 周辺部への拡散を防止するため、周辺部に薬剤散布等の措置を行う。  (3) やむを得ず、土・樹木等を発生地区から搬出す場合の措置 ア 薬剤処理・熏蒸処理後、搬出した。 イ 薬剤処理の困難な農作物等の搬出の場合は付着土壌の除去を目録添付後に搬出した。  (4) 発生地区に搬入した建設機械や農・林業作業機械の措置 付着土壌の除去並びに薬剤処理後、搬出した。  (5) 未発生地区での措置 発生地区からの土・樹木の搬入や農・林業作業機械の移動等があった場合には、上記（３）、（４）の措置が講じられているかを検証する。																																																						
<b>● 空 調 和</b>	① 設計用温湿度条件	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th><th colspan="2">室内 条 件</th><th colspan="8">屋 外 条 件</th></tr> <tr> <th>温度(DB) [°C]</th><th>湿度(RH) [%]</th><th colspan="4">温度(DB)[°C]</th><th colspan="4">湿度(RH) [%]</th></tr> <tr> <th></th><th></th><th></th><th>9時</th><th>12時</th><th>14時</th><th>16時</th><th>9時</th><th>12時</th><th>14時</th><th>16時</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏 期</td><td>26.0</td><td>50</td><td>31.4</td><td>34.0</td><td>34.7</td><td>34.1</td><td>73.5</td><td>65.9</td><td>60.7</td><td>62.8</td></tr> <tr> <td>冬 期</td><td>22.0</td><td>40</td><td colspan="4">3.4</td><td colspan="4">63.9</td></tr> </tbody> </table>		室内 条 件		屋 外 条 件								温度(DB) [°C]	湿度(RH) [%]	温度(DB)[°C]				湿度(RH) [%]							9時	12時	14時	16時	9時	12時	14時	16時	夏 期	26.0	50	31.4	34.0	34.7	34.1	73.5	65.9	60.7	62.8	冬 期	22.0	40	3.4				63.9			
		室内 条 件		屋 外 条 件																																																				
温度(DB) [°C]		湿度(RH) [%]	温度(DB)[°C]				湿度(RH) [%]																																																	
			9時	12時	14時	16時	9時	12時	14時	16時																																														
夏 期	26.0	50	31.4	34.0	34.7	34.1	73.5	65.9	60.7	62.8																																														
冬 期	22.0	40	3.4				63.9																																																	
2 煙道		鋼板厚（ ・ 3.2mm    ・ 4.5mm ）																																																						

暖房)・換気設備

(冷)暖房・換気設備	3	ダクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧ダクト ( ・ アングルフランジ工法 ・ スパイラルダクト )</li> <li>・ コーナールト工法 (長辺の長さが1,500mm以下の部分) )</li> <li>・ 高圧1ダクト (適用範囲は図示による)</li> <li>・ その他のダクト ( ・ VU ・ VP )</li> </ul>																																																
	4	接続フレキ	一般空調用機器、換気扇はアルミ製、レンジフード等火を使用する場所は鉄製、浴室等湿気のある場所は樹脂製とし使用範囲は、最小限とする。																																																
	5	風量測定口	取付箇所は下記による。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示した位置</li> <li>・ 送風機吐ダクト又は吸込ダクト</li> <li>・ 外気取入れダクト</li> <li>・ 空調機出口チャンバーの分岐ダクト</li> </ul>																																																
	6	チャンバー	(1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 (2) 空気調和機、温風暖房機に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及び風道系で消音内貼りしたチャンバーには点検口を設け、大きさは図示による。 (3) ガラリに直接取り付け付けたチャンバー類は雨水の滞留のないように施工する。																																																
	7	ダンパー	(1) 防煙ダンパー 復帰方式 ( ・ 遠隔 ・ ) 定格入力 DC24V、0.7A以下とする。 (2) ビストンダンパー 復帰方式 ( ・ 遠隔 ・ )																																																
(B)	8	配管材料	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th><th>区 分</th><th>使 用 材 料</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">冷温水管</td><td>一 般</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管 (白)</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W</td></tr> <tr> <td rowspan="2">冷却水管</td><td>一 般</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管 (白)</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W</td></tr> <tr> <td rowspan="2">油 管</td><td>一 般</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒)</td></tr> <tr> <td>・ 地中埋設</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒)</td></tr> <tr> <td rowspan="2">蒸 気 管</td><td>給 気 管</td><td></td></tr> <tr> <td>還 管</td><td>・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (黒) Sch40</td></tr> <tr> <td rowspan="2">膨 張 管</td><td>一 般</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管 (白)</td></tr> <tr> <td></td><td>・</td></tr> <tr> <td rowspan="2">空気抜管</td><td>一 般</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管 (白)</td></tr> <tr> <td></td><td>・</td></tr> <tr> <td rowspan="2">ドレン管</td><td>一 般</td><td>○ 配管用炭素鋼鋼管 (白)</td></tr> <tr> <td></td><td>○ 硬質塩化ビニル管 VP</td></tr> <tr> <td rowspan="2">補給水管</td><td>一 般</td><td>・ 水道用硬質塩化ビニル管 VP</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 鋼管 SGP-VB</td></tr> <tr> <td rowspan="13">冷 媒 管</td><td>一 般</td><td>○ 断熱材被覆銅管</td></tr> <tr> <td></td><td>・</td></tr> </tbody> </table>	種 別	区 分	使 用 材 料	冷温水管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管 (白)		・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W	冷却水管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管 (白)		・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W	油 管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒)	・ 地中埋設	・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒)	蒸 気 管	給 気 管		還 管	・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (黒) Sch40	膨 張 管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管 (白)		・	空気抜管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管 (白)		・	ドレン管	一 般	○ 配管用炭素鋼鋼管 (白)		○ 硬質塩化ビニル管 VP	補給水管	一 般	・ 水道用硬質塩化ビニル管 VP		・ 鋼管 SGP-VB	冷 媒 管	一 般	○ 断熱材被覆銅管		・
種 別	区 分	使 用 材 料																																																	
冷温水管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管 (白)																																																	
		・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W																																																	
冷却水管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管 (白)																																																	
		・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W																																																	
油 管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒)																																																	
	・ 地中埋設	・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒)																																																	
蒸 気 管	給 気 管																																																		
	還 管	・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (黒) Sch40																																																	
膨 張 管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管 (白)																																																	
		・																																																	
空気抜管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管 (白)																																																	
		・																																																	
ドレン管	一 般	○ 配管用炭素鋼鋼管 (白)																																																	
		○ 硬質塩化ビニル管 VP																																																	
補給水管	一 般	・ 水道用硬質塩化ビニル管 VP																																																	
		・ 鋼管 SGP-VB																																																	
冷 媒 管	一 般	○ 断熱材被覆銅管																																																	
		・																																																	
	9	弁類	図面に明記なき場合は ( ・ JIS5K ・ JIS10K ) とする。																																																
	10	温度計	取付部は標準仕様書によるほか以下による。なお、温度計は工業用バイメタル式温度計 (目盛板外径100φ) とする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボイラーの温水管 (入口側)</li> <li>・ 温風暖房機の吐ダクト、レタンダクト、外気取入れダクト及びレタンチャンバー</li> <li>・ 温水発生機の温水管 (出入口側)</li> <li>・ 冷凍機の冷水管 (出入口側) 及び冷却水管 (出入口側)</li> <li>・ 直だし吸収冷水温水機の冷水水管 (出入口側) 及び冷却水管 (出入口側)</li> <li>・ 空気調和機の冷水水管 (出入口側)</li> <li>・ 空気調和機 (パッケージ形を含む) のサプライチャンバー、レタンダクト、外気取入れダクト及びレタンチャンバー</li> <li>・ 冷水水ヘッダー (往) 及び各返り管</li> <li>・ 熱交換器の温水管 (出入口側)</li> </ul>																																																
	11	圧力計	取付部は標準仕様書によるほか下記による。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温水発生機の温水管 (出入口側)</li> <li>・ 冷凍機の冷水管 (出入口側) 及び冷却水管 (出入口側)</li> <li>・ 直だし吸収冷水温水機の冷水水管 (出入口側) 及び冷却水管 (出入口側)</li> <li>・ 空気調和機の冷水水管 (出入口側)</li> <li>・ 熱交換器の温水管 (出入口側)</li> </ul>																																																
	12	瞬間流量計及び流量測定口	コック付とし、取付部は標準仕様書によるほか下記による。なお、着脱型の指示部は各サイズ1個付属とする。           取付部は標準仕様書によるほか下記による。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温水発生機の温水管 (入口側) に ( ・ 固定形 ・ 着脱形 ) を設ける。</li> <li>・ 冷凍機の冷水管 (出口側) 及び冷却水管 (出口側) に ( ・ 固定形 ・ 着脱形 ) を設ける。</li> <li>・ 直だし吸収冷水温水機の冷水水管 (出口側) 及び冷却水管 (出口側) に ( ・ 固定形 ・ 着脱形 ) を設ける。</li> <li>・ 空気調和機の冷水水管 (入口又は出口側) に ( ・ 固定形 ・ 着脱形 ) を設ける。</li> <li>・ 冷水水ヘッダーの ( ・ 各送り管 ・ 各返り管 ) に ( ・ 固定形 ・ 着脱形 ) を設ける。</li> </ul>																																																
	13	油面制御装置	制御壁には ( ・ 給油ポンプ制御 ・ 減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ・ 返油ポンプ制御 ・ 減油警報 ・ ) の端子を設ける。																																																
	14	保温及び消音内貼り	なお、フロートスイッチ部と制御壁間の配管配線は、製造者の標準仕様とする。 標準仕様書第2編によるほか、下記による。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 送りダクトの保温要 (保温の厚さ25mm、範囲は空調室及び空調室天井内を除く)</li> <li>・ 外気ダクトの保温要 (保温の厚さ25mm、図示及び下記範囲の保温を行う) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空調室の室内及び天井内</li> <li>・ 電気室</li> <li>・ 発電機室</li> <li>・ 多湿箇所の室内及び天井内</li> <li>・ エレベーター機械室</li> </ul> </li> <li>・ 膨張タンクよりボイラー等への補給水管及び建物内の空気抜き管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の膨張管の項による。</li> <li>・ 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編の3.1.5の排水管の項による。</li> <li>・ 消音内貼りの施工範囲は図示したダクト及びチャンバー類とする。</li> </ul> 使用箇所は下記による。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示の箇所</li> <li>・ 給排気ファンのダクト接続部</li> <li>・ ユニート形空気調和機のダクト接続部 (機内換気装置を除く)</li> </ul>																																																
	15	たわみ継手	パッケージエアコン及びルームクーラー等の室外機は、防振ゴムパット (厚さ15mm以上) の上に、ステンレス製アンカーボルトにて固定する。																																																
	16	機器の据付	室外機塗装 ( ○ 標準仕様 ・ 耐塩害仕様 ・ 耐重塩害仕様 ・ その他 )																																																
	17	機器の塗装	塗装仕様については、製造者の仕様とする。																																																
	18	試運転調整等	施工完了時に所定の試運転調整を行うことを原則とするが、完成後1年間は、冷房及び暖房時期に入る直前にも、各試運転調整を行うと共に、関係者に対し取り扱い説明を受注者の負担において行う。 また、施工完了時に行った試運転調整は、機器等の運転状態の記録表及び測定結果をまとめた測定表を作成し、速やかに提出する。 測定表には、測定器名、測定日時及び測定者名を記入し、測定点を示した図面を添付する。																																																
	19	冷媒ガスの処理	(1) フルオロカーボン (フロン) を使用している機器を撤去する場合は、事前にガスの回収を行うこと。 (2) 回収したガスは、全て破壊処理することとする。 (3) 回収フロン破壊証明書を提出すること。 (4) 回収及び破壊処理については、フロン排出抑制法に従い、「フロン回収行程管理票」																																																

○衛生器具設備

[illegible]

○給水設備

		<p>を使用してフロン回収行程の適正な管理を行うこと。</p> <p>(5)「フロン回収行程管理票」を含む、冷媒ガスの処理に係わる費用は全て受注者の負担とする。</p> <p>標準仕様書によるほか下記の予備品を備える。 ・ ・</p>																																																				
	20    予備品等																																																					
○衛生器具設備	1    器具及び付属品	(1)大・小便器用標記板は、陶器製（原則として衛生器具と同色）とし、小学校児童トイレ及び幼児用トイレに使用するものは、標記文字をひらがな又はかなで表記したものとする。  (2)参考品番の指定がない場合の紙巻器は、市営住宅に使用するもの及び優先トイレに使用するものを除き、ステンレス鋼板製ワゴン形とする。  器具の取り付け高さは下記による。ただし、鹿児島市福祉環境整備指針に規定されている器具及びタイル目地合わせ等体積上必要な場合は変更しても良いこととする。																																																				
	2    器具の取付け高さ	<table border="1"><thead><tr><th rowspan="2">器具名称</th><th colspan="3">取付け高さ 単位mm</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>一　般</th><th>小学学校</th><th>幼　児</th></tr></thead><tbody><tr><td>壁掛小便器</td><td>530</td><td>350</td><td></td><td rowspan="7">床面より前縁上端まで</td></tr><tr><td>洗面器</td><td>750</td><td>650</td><td>550</td></tr><tr><td>手洗器</td><td>760</td><td>700</td><td>500</td></tr><tr><td>実験流し</td><td>850</td><td>700</td><td></td></tr><tr><td>料理流し</td><td>820</td><td>700</td><td></td></tr><tr><td>化粧鏡</td><td>1,500</td><td>1,400</td><td>1,100</td></tr><tr><td>化粧棚</td><td>100</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>水栓流し</td><td>300</td><td>300</td><td>200</td><td>流し床より吐口水まで</td></tr><tr><td>浴槽</td><td>150</td><td></td><td></td><td>前縁上端より吐口水まで</td></tr><tr><td>浴室洗い場</td><td>300</td><td></td><td></td><td>洗い場床面より吐口水まで</td></tr></tbody></table> <p>注１．学校の乾式床の和風便所は、便器リムと床仕上面を同一とする。 (学校以外の施設、湿式床の場合は監督員と協議すること。) 注２．中学校及び高校は、一般寸法とする。ただし、中学校理科室に取り付ける実験流しは、小学校寸法とする。</p>	器具名称	取付け高さ 単位mm			備考	一　般	小学学校	幼　児	壁掛小便器	530	350		床面より前縁上端まで	洗面器	750	650	550	手洗器	760	700	500	実験流し	850	700		料理流し	820	700		化粧鏡	1,500	1,400	1,100	化粧棚	100	100		水栓流し	300	300	200	流し床より吐口水まで	浴槽	150			前縁上端より吐口水まで	浴室洗い場	300			洗い場床面より吐口水まで
	器具名称	取付け高さ 単位mm			備考																																																	
		一　般	小学学校	幼　児																																																		
	壁掛小便器	530	350		床面より前縁上端まで																																																	
	洗面器	750	650	550																																																		
	手洗器	760	700	500																																																		
	実験流し	850	700																																																			
料理流し	820	700																																																				
化粧鏡	1,500	1,400	1,100																																																			
化粧棚	100	100																																																				
水栓流し	300	300	200	流し床より吐口水まで																																																		
浴槽	150			前縁上端より吐口水まで																																																		
浴室洗い場	300			洗い場床面より吐口水まで																																																		
○給水設備	1    配管材料	<table border="1"><thead><tr><th>区　　    分</th><th>使                用                材                料</th></tr></thead><tbody><tr><td>給水分込管(メーター迄)</td><td>・水道用ポリエチレン管(2層管1種) ・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</td></tr><tr><td>屋外埋設(メーター以降)</td><td>・水道用硬質塩化ビニル管 HI-VP ・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</td></tr><tr><td>屋内一般</td><td>・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB ・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</td></tr><tr><td>土間(地中)コンクリート内</td><td>・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</td></tr><tr><td>ピット内</td><td>・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB ・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</td></tr></tbody></table> <p>注：図示なき給水管の最小口径は、呼び径20mmとする。</p>	区　　    分	使                用                材                料	給水分込管(メーター迄)	・水道用ポリエチレン管(2層管1種) ・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD	屋外埋設(メーター以降)	・水道用硬質塩化ビニル管 HI-VP ・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD	屋内一般	・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB ・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD	土間(地中)コンクリート内	・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD	ピット内	・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB ・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD																																								
	区　　    分	使                用                材                料																																																				
	給水分込管(メーター迄)	・水道用ポリエチレン管(2層管1種) ・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD																																																				
	屋外埋設(メーター以降)	・水道用硬質塩化ビニル管 HI-VP ・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD																																																				
	屋内一般	・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB ・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD																																																				
	土間(地中)コンクリート内	・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD																																																				
	ピット内	・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB ・水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD																																																				
	2    水栓	(1)水栓は、JIS B 2061(給水栓)によるものであるが、湯用単水栓は全て陶器製ハンドルとする。なお、湯用単水栓と併設して取り付ける水栓についても体裁上必要と思われるものは、陶器製ハンドルを使用し、湯・水の別表示をする。 (2)シングルレバー式の水栓は、レバーを上げたとき止水し、下げたとき止水する構造の、下止め方式とする。 (3)連合流しに使用する水栓(市営住宅を除く)及び監督員の指示した水栓は、節水コマ組み込み型とする。																																																				
	3    水道メーター	観メーター(.貨与品(取得本工事).自己財.) 子メーター(.貨与品(取得本工事).自己財.)																																																				
4    メーターボックス	呼び径25mm以下は、ボール式伸縮止水栓及び逆止弁と併用ボックスとする。 なお、形状、寸法及び50mm以上のボックスについては、鹿児島市機械設備工事「標準施工要領」による。																																																					
5    弁類	図面に明記なき場合は下記による。 水道直結部分(.JISI1OK.VC)ポンプ圧送部(.JISI1OK.JISI5K) その他の部分(.JISI1OK.JISI5K)																																																					
6    弁ボックス	ハンド式弁のボックスは、コンกรีト製角形とし、キャップ式弁(水道用仕切弁)のボックスはコンกรีト製丸形とする。なお、形状、寸法等他は鹿児島市機械設備工事「標準施工要領」による。																																																					
7    タンク	タンクには、排水管、給水管、排水管、オーバーフロー管、通気管等の接続口及び電極等の取付座(カバー付)を設け、次の付属品を備える。 (1)マンホール(600φ施錠付、降災対策策入蓋付) (2)はしご ①FRP製タンク タンク内は合成樹脂製、タンク外は鋼製(溶融亜鉛めっき仕上2種3S)又はステンレス鋼製 ②ステンレス鋼板製タンク タンク内は合成樹脂製又はステンレス鋼製 SUS329J4L、タンク外は鋼製(溶融亜鉛めっき仕上2種3S)又はステンレス鋼製 (3)防虫網 通気管及びオーバーフロア管には、合成樹脂製又はステンレス製の防虫網を取付ける。 なお、飲料水を除く(汚水タンクを除く)の全てのタンクについても上記の管には防虫網を取付ける。																																																					
8    給水負担金	水道事業者への納入手続きを行うこと。 ただし給水負担金は、(.本工事に含む.別途.)																																																					
○排水設備	1    配管材料	<table border="1"><thead><tr><th>区　　    分</th><th>使                用                材                料</th></tr></thead><tbody><tr><td>屋内・污水管</td><td>・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ・硬質塩化ビニル管 VP(露出部 VC) ・耐火二層管</td></tr><tr><td>屋内・雑排水管</td><td>・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ・硬質塩化ビニル管 VP(露出部 VC) ・耐火二層管</td></tr><tr><td>屋内・通気管</td><td>・硬質塩化ビニル管 VP(露出部 VC) ・耐火二層管</td></tr><tr><td>屋外・第1樹迄</td><td>・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ・硬質塩化ビニル管 (.VP.VU.)</td></tr><tr><td>屋外・樹間</td><td>・硬質塩化ビニル管 (.VP.VU.)</td></tr></tbody></table> <p>洗面器等に直接する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。 树等の形状、寸法等は鹿児島市机械设备工事「标准施工要领」による。 なお、树的混凝土部分は工场制品としてもよい。</p>	区　　    分	使                用                材                料	屋内・污水管	・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ・硬質塩化ビニル管 VP(露出部 VC) ・耐火二層管	屋内・雑排水管	・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ・硬質塩化ビニル管 VP(露出部 VC) ・耐火二層管	屋内・通気管	・硬質塩化ビニル管 VP(露出部 VC) ・耐火二層管	屋外・第1樹迄	・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ・硬質塩化ビニル管 (.VP.VU.)	屋外・樹間	・硬質塩化ビニル管 (.VP.VU.)																																								
	区　　    分	使                用                材                料																																																				
	屋内・污水管	・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ・硬質塩化ビニル管 VP(露出部 VC) ・耐火二層管																																																				
	屋内・雑排水管	・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ・硬質塩化ビニル管 VP(露出部 VC) ・耐火二層管																																																				
	屋内・通気管	・硬質塩化ビニル管 VP(露出部 VC) ・耐火二層管																																																				
	屋外・第1樹迄	・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ・硬質塩化ビニル管 (.VP.VU.)																																																				
	屋外・樹間	・硬質塩化ビニル管 (.VP.VU.)																																																				
	2    洗面器等の排水管																																																					
3    树類																																																						

○排水設備

		<p>を使用してフロン回収行程の適正な管理を行うこと。</p> <p>(5)「フロン回収行程管理票」を含む、冷媒ガスの処理に係わる費用は全て受注者の負担とする。</p> <p>標準仕様書によるほか下記の予備品を備える。</p> <p>.</p> <p>.</p>																																																					
	20 予備品等																																																						
○衛生器具設備	1 器具及び付属品	<p>(1) 大・小便器用標記板は、陶器製（原則として衛生器具と同色）とし、小学校児童トイレ及び幼児用トイレに使用するものは、標記文字をひらがな又はかなで表記したものとする。</p> <p>(2) 参考品番の指定がない場合の紙巻器は、市営住宅に使用するもの及び優先トイレに使用するものを除き、ステンレス鋼板製ワゴン形とする。</p>																																																					
	2 器具の取付け高さ	<p>器具の取付け高さは下記による。ただし、鹿児島市福祉環境整備指針に規定されている器具及びタイル目地合わせ等体積上必要な場合は変更しても良いこととする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">器具名称</th><th colspan="3">取付け高さ 単位mm</th><th rowspan="2">備考</th></tr> <tr> <th>一般</th><th>小学校</th><th>幼児</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>壁掛小便器</td><td>530</td><td>350</td><td></td><td rowspan="5">床面より前縁上端まで</td></tr> <tr> <td>洗面器</td><td>750</td><td>650</td><td>550</td></tr> <tr> <td>手洗器</td><td>760</td><td>700</td><td>500</td></tr> <tr> <td>実験流し</td><td>850</td><td>700</td><td></td></tr> <tr> <td>料理流し</td><td>820</td><td>700</td><td></td></tr> <tr> <td>化粧鏡</td><td>1,500</td><td>1,400</td><td>1,100</td><td>床面より鏡中心まで</td></tr> <tr> <td>化粧棚</td><td>100</td><td>100</td><td></td><td>鏡下端より棚上端まで</td></tr> <tr> <td>水栓流し</td><td>300</td><td>300</td><td>200</td><td>流し床より吐口水まで</td></tr> <tr> <td>浴槽</td><td>150</td><td></td><td></td><td>前縁上端より吐口水まで</td></tr> <tr> <td>浴室洗い場</td><td>300</td><td></td><td></td><td>洗い場床面より吐口水まで</td></tr> </tbody> </table> <p>注１．学校の乾式床の和風便器は、便器リムと床仕上面を同一とする。</p> <p>（学校以外の施設、湿式床の場合は監督員と協議すること。）</p> <p>注２．中学校及び高校は、一般寸法とする。ただし、中学校理科室に取り付ける実験流しは、小学校寸法とする。</p>	器具名称	取付け高さ 単位mm			備考	一般	小学校	幼児	壁掛小便器	530	350		床面より前縁上端まで	洗面器	750	650	550	手洗器	760	700	500	実験流し	850	700		料理流し	820	700		化粧鏡	1,500	1,400	1,100	床面より鏡中心まで	化粧棚	100	100		鏡下端より棚上端まで	水栓流し	300	300	200	流し床より吐口水まで	浴槽	150			前縁上端より吐口水まで	浴室洗い場	300		
器具名称	取付け高さ 単位mm			備考																																																			
	一般	小学校	幼児																																																				
壁掛小便器	530	350		床面より前縁上端まで																																																			
洗面器	750	650	550																																																				
手洗器	760	700	500																																																				
実験流し	850	700																																																					
料理流し	820	700																																																					
化粧鏡	1,500	1,400	1,100	床面より鏡中心まで																																																			
化粧棚	100	100		鏡下端より棚上端まで																																																			
水栓流し	300	300	200	流し床より吐口水まで																																																			
浴槽	150			前縁上端より吐口水まで																																																			
浴室洗い場	300			洗い場床面より吐口水まで																																																			
○給水設備																																																							
1 配管材料	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>使 用 材 料</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給 水 引 込 管 (メーター迄)</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>水道用ポリエチレン管（２層管１種）</li> <li>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</li> </ul> </td></tr> <tr> <td>屋 外 埋 設 (メーター以降)</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>水道用硬質塩化ビニル管 HI-VP</li> <li>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</li> </ul> </td></tr> <tr> <td>屋 内 一 般</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB</li> <li>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</li> </ul> </td></tr> <tr> <td>土 間 (地 中) コンクリート内</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</li> </ul> </td></tr> <tr> <td>ピ ッ ト 内</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB</li> <li>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</li> </ul> </td></tr> </tbody> </table> <p>注．図示なき給水管の最小口径は、呼び径20mmとする。</p>	区 分	使 用 材 料	給 水 引 込 管 (メーター迄)	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道用ポリエチレン管（２層管１種）</li> <li>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</li> </ul>	屋 外 埋 設 (メーター以降)	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道用硬質塩化ビニル管 HI-VP</li> <li>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</li> </ul>	屋 内 一 般	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB</li> <li>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</li> </ul>	土 間 (地 中) コンクリート内	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</li> </ul>	ピ ッ ト 内	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB</li> <li>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</li> </ul>																																										
区 分	使 用 材 料																																																						
給 水 引 込 管 (メーター迄)	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道用ポリエチレン管（２層管１種）</li> <li>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</li> </ul>																																																						
屋 外 埋 設 (メーター以降)	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道用硬質塩化ビニル管 HI-VP</li> <li>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</li> </ul>																																																						
屋 内 一 般	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB</li> <li>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</li> </ul>																																																						
土 間 (地 中) コンクリート内	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</li> </ul>																																																						
ピ ッ ト 内	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB</li> <li>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</li> </ul>																																																						
2 水栓	<p>(1) 水栓は、JIS B 2061（給水栓）によるものであるが、湯用単水栓は全て陶器製ハンドルとする。なお、湯用単水栓と併設して取り付ける水栓についても体裁上必要と思われるものは、陶器製ハンドルを使用し、湯・水の別表示をする。</p> <p>(2) シングルレバー式の水栓は、レバーを上げたとき吐水し、下げたとき止水する構造の、下止め方式とする。</p> <p>(3) 連合流しに使用する場合（市営住宅を除く）及び監督員の指示した水栓は、節水コマ組み込み型とする。</p>																																																						
3 水道メーター	<p>観メーター（ ・ 貸与品（取付本工事） ・ 自己財 ） 子メーター（ ・ 貸与品（取付本工事） ・ 自己財 ）</p>																																																						
4 メーターボックス	<p>呼び径25mm以下は、ボール式伸縮止水栓及び逆止弁と併用ボックスとする。 なお、形状、寸法及び50mm以上のボックスについては、鹿児島市機械設備工事「標準施工要領」による。</p>																																																						
5 弁類	<p>図面に明記なき場合は下記による。</p> <p>水道直結部分（ ・ JIS10K ・ ） ポンプ圧送部（ ・ JIS10K ・ JIS5K ） その他の部分（ ・ JIS10K ・ JIS5K ）</p>																																																						
6 弁ボックス	<p>ハンドル式弁のボックスは、コンクリート製角形とし、キャップ式弁（水道用仕切弁）のボックスはコンクリート製丸形とする。なお、形状、寸法その他は鹿児島市機械設備工事「標準施工要領」による。</p>																																																						
7 タンク	<p>タンクには、排水管、給水管、排水管、オーバーフロー管、通気管等の接続口及び電極等の取付座（カバー付）を設け、次の付属品を備える。</p> <p>(1) マンホール（600φ施錠付、降災対策用内蓋付）</p> <p>(2) はしご</p> <p>① FRP製タンク タンク内は合成樹脂製、タンク外は鋼製（溶融亜鉛めっき仕上2種35）又はステンレス鋼製</p> <p>② ステンレス鋼板製タンク タンク内は合成樹脂製又はステンレス鋼製 SUS329J4L、タンク外は鋼製（溶融亜鉛めっき仕上2種35）又はステンレス鋼製</p> <p>(3) 防虫網 通気管及びオーバーフロー管には、合成樹脂製又はステンレス製の防虫網を取付ける。 なお、飲料水を除く（汚水タンクを除く）の全てのタンクについても上記の管には防虫網を取付ける。</p>																																																						
8 給水負担金	<p>水道事業者への納入手続きを行うこと。</p> <p>ただし給水負担金は、（ ・ 本工事に含む ・ 別途 ）</p>																																																						
○排水設備	1 配管材料	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>使 用 材 料</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋 内 ・ 汚 水 管</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042</li> <li>硬質塩化ビニル管 VP（露出部 VC）</li> <li>耐火二層管</li> </ul> </td></tr> <tr> <td>屋 内 ・ 雑排水管</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042</li> <li>硬質塩化ビニル管 VP（露出部 VC）</li> <li>耐火二層管</li> </ul> </td></tr> <tr> <td>屋 内 ・ 通 気 管</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>硬質塩化ビニル管 VP（露出部 VC）</li> <li>耐火二層管</li> </ul> </td></tr> <tr> <td>屋 外 ・ 第 1 樹 迄</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042</li> <li>硬質塩化ビニル管（ ・ VP ・ VU ）</li> </ul> </td></tr> <tr> <td>屋 外 ・ 樹 間</td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>硬質塩化ビニル管（ ・ VP ・ VU ）</li> </ul> </td></tr> </tbody> </table>	区 分	使 用 材 料	屋 内 ・ 汚 水 管	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042</li> <li>硬質塩化ビニル管 VP（露出部 VC）</li> <li>耐火二層管</li> </ul>	屋 内 ・ 雑排水管	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042</li> <li>硬質塩化ビニル管 VP（露出部 VC）</li> <li>耐火二層管</li> </ul>	屋 内 ・ 通 気 管	<ul style="list-style-type: none"> <li>硬質塩化ビニル管 VP（露出部 VC）</li> <li>耐火二層管</li> </ul>	屋 外 ・ 第 1 樹 迄	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042</li> <li>硬質塩化ビニル管（ ・ VP ・ VU ）</li> </ul>	屋 外 ・ 樹 間	<ul style="list-style-type: none"> <li>硬質塩化ビニル管（ ・ VP ・ VU ）</li> </ul>																																									
区 分	使 用 材 料																																																						
屋 内 ・ 汚 水 管	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042</li> <li>硬質塩化ビニル管 VP（露出部 VC）</li> <li>耐火二層管</li> </ul>																																																						
屋 内 ・ 雑排水管	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042</li> <li>硬質塩化ビニル管 VP（露出部 VC）</li> <li>耐火二層管</li> </ul>																																																						
屋 内 ・ 通 気 管	<ul style="list-style-type: none"> <li>硬質塩化ビニル管 VP（露出部 VC）</li> <li>耐火二層管</li> </ul>																																																						
屋 外 ・ 第 1 樹 迄	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042</li> <li>硬質塩化ビニル管（ ・ VP ・ VU ）</li> </ul>																																																						
屋 外 ・ 樹 間	<ul style="list-style-type: none"> <li>硬質塩化ビニル管（ ・ VP ・ VU ）</li> </ul>																																																						
2 洗面器等の排水管	洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。																																																						
3 樹類	<p>樹等の形状、寸法等は鹿児島市機械設備工事「標準施工要領」による。</p> <p>なお、樹のコンクリート部は工場製品としてもよい。</p>																																																						

○消火設備

○ 消火設備	1 配管材料	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>区 分</th> <th>使 用 材 料</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋内消火栓設備</td> <td>一 般</td> <td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W</td> </tr> <tr> <td>地中埋設</td> <td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋外消火栓設備</td> <td>一 般</td> <td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W</td> </tr> <tr> <td>地中埋設</td> <td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">スプリンクラー消火設備</td> <td>一 般</td> <td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W</td> </tr> <tr> <td>ポンプ～制御弁</td> <td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40</td> </tr> <tr> <td>地中埋設</td> <td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">連絡送水管</td> <td>一 般</td> <td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40</td> </tr> <tr> <td>地中埋設</td> <td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td> </tr> </table>	種 別	区 分	使 用 材 料	屋内消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS	屋外消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS	スプリンクラー消火設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W	ポンプ～制御弁	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS	連絡送水管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS
	種 別	区 分	使 用 材 料																								
	屋内消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W																								
		地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																								
屋外消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W																									
	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																									
スプリンクラー消火設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W																									
	ポンプ～制御弁	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40																									
	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																									
連絡送水管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40																									
	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																									
2 消火器	大型消火器（ ・ 本工事 ・ 別途 ） 小型消火器（ ・ 本工事 ・ 別途 ）																										
● ガス設備	① ガス種別	○ ガス事業法に基づく一般ガス（都市ガス 13A（46.0465MJ/m <sup>3</sup> ）） ・ ガス事業法に基づく簡易ガス（液化石油ガス） ・ 上記以外の液化石油ガス																									
	② 配管材料	○ 都市ガス及び簡易ガスを使用する場合で、図示なき部分の配管材はガス事業者の供給規定による。 ・ 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく液化石油ガスを使用する場合は下記による。																									
		<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>使 用 材 料</th> </tr> <tr> <td>屋内一般 （露出を除く）</td> <td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手）</td> </tr> <tr> <td>屋内露出</td> <td>・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）</td> </tr> <tr> <td>地中埋設</td> <td>・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）</td> </tr> </table>	区 分	使 用 材 料	屋内一般 （露出を除く）	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手）	屋内露出	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）	地中埋設	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）																	
	区 分	使 用 材 料																									
屋内一般 （露出を除く）	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手）																										
屋内露出	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）																										
地中埋設	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）																										
③ ガスメーター	別添（ ・ 20kg ・ 50kg ） 標準図による。（ 本組 ） 標準図の（ ・ （a） ・ （b） ）による。 親メーター（ ・ ○ 貸与品 ・ 自己財 ） 子メーター（ ・ 貸与品 ・ 自己財 ） ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 本工事 ・ 別途工事																										
3 充てん容器	別添（ ・ 20kg ・ 50kg ）																										
4 集合装置	標準図による。（ 本組 ）																										
5 転倒防止等	標準図の（ ・ （a） ・ （b） ）による。																										
6 ガスメーター	親メーター（ ・ ○ 貸与品 ・ 自己財 ） 子メーター（ ・ 貸与品 ・ 自己財 ） ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 本工事 ・ 別途工事																										
7 ガス漏れ警報機	・ 本工事 ・ 別途工事																										
8 漏洩検知装置	・ 本工事 ・ 別途工事																										
○ 給湯設備	1 配管材料	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>使 用 材 料</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋 内 一 般</td> <td>・ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ・ 被覆ステンレス鋼管（呼び径25mm以下） ・ 鋼管（ ・ M ・ L ）</td> </tr> <tr> <td>地 中 埋 設</td> <td>・ 耐熱性硬質塩化ビニル鋼 HT-VP</td> </tr> </table>	区 分	使 用 材 料	屋 内 一 般	・ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ・ 被覆ステンレス鋼管（呼び径25mm以下） ・ 鋼管（ ・ M ・ L ）	地 中 埋 設	・ 耐熱性硬質塩化ビニル鋼 HT-VP																			
	区 分	使 用 材 料																									
屋 内 一 般	・ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ・ 被覆ステンレス鋼管（呼び径25mm以下） ・ 鋼管（ ・ M ・ L ）																										
	地 中 埋 設	・ 耐熱性硬質塩化ビニル鋼 HT-VP																									
2 弁類	図面に明記なき場合は（ ・ JIS10K ・ JIS5K ）																										
○ 浄化槽設備	1 届出手続き等	浄化槽法の規定に基づく「浄化槽設置届出書」を所定の時期に鹿児島市浄化槽指導要綱に定める関連図書を添付し、届出を代行すること。 鹿児島市浄化槽法施行細則の規定に基づく浄化槽工事完了検査を受け、検査結果を速やかに監督員に報告すること。 下記の工事を行う場合は、事前に監督員に連絡し、現場立会い検査及び承諾後施工すること。																									
	2 中間立会い検査等	・ 位置の決定：あらかじめ設計図の配置に基づいて仮の位置決めを行い承諾を受ける。 ・ 配 筋：配筋終了後、片側假枠の状態で立会い検査を受ける。 ・ コックリ打設：コンクリート打設前に各槽の寸法、壁厚等のチェックリストを作成し、承諾を受ける。 ・ 搬入据付け：ユニット形浄化槽の搬入及び据付け時には、槽の規格、型式等の確認及び据付け状態の立会い検査を受ける。 ・ 試験その他：水張り試験（24時間）、その他監督員の指示する試験及び試運転調整等は立会い検査を受ける。																									
	3 取扱い説明等	試験調整後、所要の時期に浄化槽管理者及び浄化槽管理者が委託した浄化槽管理士など関係者に対し、取扱い説明を十分に行う。 なお、試験調整並びに取扱い説明等に必要な資機材及び労務等を提供し、これに要する費用を負担する。																									
	4 付属品等	標準仕様書によるほか、下記品目を備える。 ・ マンホール引手 1組 ・ 消毒薬剤 1式（1回投入分）																									
	5 送風機	原則として、防振ゴム、防振架台等で防振対策を施したものとし、騒音の大きなものは、騒音対策を行う。																									
	6 点検口蓋	図示なき場合は下記による。ただし、ユニット形で図示なき場合は、製造者の標準仕様とする。 (1) 防 臭 蓋：鑄鉄製耐圧型（SHASE-S、安全荷重 14,700N）以上 なお、蓋は錠付又はステンレス製ボルト固定式とする。 (2) 鋼板製蓋：板厚4.5mm以上の鋼板に溶融亜鉛めっきを施したものを又はステンレス鋼板（SUS 304）製で、取手又は取手取付穴付きとし、1人で開閉できる重量に分割加工する。なお、蓋はステンレス製ボルト固定式とする。																									
	7 ユニット型浄化槽	(1) 浄化槽法に基づく型式認定品とするが、あらかじめ使用する機種の見定シート等の関連図書を提出し、監督員の承諾を得ること。 (2) 図示の機器寸法は参考寸法とする。 (3) 保護工作物が別途工事の場合においては、保護工作物の施工業者と収まり等について、十分に打ち合わせを行うこと。 使用する機種が別途保護工作物内に収まらず、工作物の寸法を変更する必要がある場合は、変更に関わる全ての費用を本工事で負担する。																									
	8 支持金物等	槽内の支持金物及びボルト・ナット類は全てステンレス鋼製（SUS304）とする。																									
○ 自動制御設備	1 中央監視制御装置	・ 本工事 ・ 別途工事																									
	2 構成その他	図示による。																									
		伊都小学校ほか1校屋内運動場冷暖房その他設備工事																									
		<table border="1"> <tr> <td>特記仕様書(2)</td> <td>No Scale</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">鹿児島市建設局建築部設備課</td> <td>全39</td> </tr> </table>	特記仕様書(2)	No Scale	2	鹿児島市建設局建築部設備課		全39																			
特記仕様書(2)	No Scale	2																									
鹿児島市建設局建築部設備課		全39																									

●ガス設備

○ 消火設備	1 配管材料	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>区 分</th> <th>使 用 材 料</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋内消火栓設備</td> <td>一 般</td> <td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W</td> </tr> <tr> <td>地中埋設</td> <td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋外消火栓設備</td> <td>一 般</td> <td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W</td> </tr> <tr> <td>地中埋設</td> <td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">スプリンクラー消火設備</td> <td>一 般</td> <td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W</td> </tr> <tr> <td>ポンプ～制御弁</td> <td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40</td> </tr> <tr> <td>地中埋設</td> <td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">連絡送水管</td> <td>一 般</td> <td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40</td> </tr> <tr> <td>地中埋設</td> <td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td> </tr> </table>	種 別	区 分	使 用 材 料	屋内消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS	屋外消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS	スプリンクラー消火設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W	ポンプ～制御弁	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS	連絡送水管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS
	種 別	区 分	使 用 材 料																								
	屋内消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W																								
		地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																								
屋外消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W																									
	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																									
スプリンクラー消火設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W																									
	ポンプ～制御弁	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40																									
	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																									
連絡送水管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40																									
	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																									
2 消火器	大型消火器（ ・ 本工事 ・ 別途 ） 小型消火器（ ・ 本工事 ・ 別途 ）																										
● ガス設備	① ガス種別	○ ガス事業法に基づく一般ガス（都市ガス 13A（46.0465MJ/m <sup>3</sup> ）） ・ ガス事業法に基づく簡易ガス（液化石油ガス） ・ 上記以外の液化石油ガス																									
	② 配管材料	○ 都市ガス及び簡易ガスを使用する場合で、図示なき部分の配管材はガス事業者の供給規定による。 ・ 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく液化石油ガスを使用する場合は下記による。																									
		<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>使 用 材 料</th> </tr> <tr> <td>屋内一般 （露出を除く）</td> <td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手）</td> </tr> <tr> <td>屋内露出</td> <td>・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）</td> </tr> <tr> <td>地中埋設</td> <td>・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）</td> </tr> </table>	区 分	使 用 材 料	屋内一般 （露出を除く）	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手）	屋内露出	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）	地中埋設	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）																	
	区 分	使 用 材 料																									
屋内一般 （露出を除く）	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手）																										
屋内露出	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）																										
地中埋設	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）																										
③ ガスメーター	別添（ ・ 20kg ・ 50kg ） 標準図による。（ 本組 ） 標準図の（ ・ （a） ・ （b） ）による。																										
3 充てん容器	別添（ ・ 20kg ・ 50kg ）																										
4 集合装置	標準図による。（ 本組 ）																										
5 転倒防止等	標準図の（ ・ （a） ・ （b） ）による。																										
6 ガスメーター	親メーター（ ○ 貸与品 ・ 自己財 ） 子メーター（ ・ 貸与品 ・ 自己財 ） ・ 本工事 ・ 別途工事																										
7 ガス漏れ警報機	・ 本工事 ・ 別途工事																										
8 漏洩検知装置	・ 本工事 ・ 別途工事																										
○ 給湯設備	1 配管材料	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>使 用 材 料</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋 内 一 般</td> <td>・ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ・ 被覆ステンレス鋼管（呼び径25mm以下） ・ 鋼管（ ・ M ・ L ）</td> </tr> <tr> <td>地 中 埋 設</td> <td>・ 耐熱性硬質塩化ビニル鋼管 HT-VP</td> </tr> </table>	区 分	使 用 材 料	屋 内 一 般	・ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ・ 被覆ステンレス鋼管（呼び径25mm以下） ・ 鋼管（ ・ M ・ L ）	地 中 埋 設	・ 耐熱性硬質塩化ビニル鋼管 HT-VP																			
	区 分	使 用 材 料																									
屋 内 一 般	・ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ・ 被覆ステンレス鋼管（呼び径25mm以下） ・ 鋼管（ ・ M ・ L ）																										
	地 中 埋 設	・ 耐熱性硬質塩化ビニル鋼管 HT-VP																									
2 弁類	図面に明記なき場合は（ ・ JIS10K ・ JIS5K ）																										
○ 浄化槽設備	1 届出手続き等	浄化槽法の規定に基づく「浄化槽設置届出書」を所定の時期に鹿児島市浄化槽指導要綱に定める関連図書を添付し、届出を代行すること。 鹿児島市浄化槽法施行細則の規定に基づく浄化槽工事完了検査を受け、検査結果を速やかに監督員に報告すること。																									
	2 中間立会い検査等	下記の工事を行う場合は、事前に監督員に連絡し、現場立会い検査及び承諾後施工すること。 ・ 位置の決定：あらかじめ設計図の配置に基づいて仮の位置決めを行い承諾を受ける。 ・ 配 筋：配筋終了後、片側假枠の状態で立会い検査を受ける。 ・ コックリ打設：コンクリート打設前に各槽の寸法、壁厚等のチェックリストを作成し、承諾を受ける。 ・ 搬入据付け：ユニット形浄化槽の搬入及び据付け時には、槽の規格、型式等の確認及び据付け状態の立会い検査を受ける。 ・ 試験その他：水張り試験（24時間）、その他監督員の指示する試験及び試運転調整等は立会い検査を受ける。																									
	3 取扱い説明等	試験調整後、所要の時期に浄化槽管理者及び浄化槽管理者が委託した浄化槽管理士など関係者に対し、取扱い説明を十分に行う。 なお、試験調整並びに取扱い説明等に必要な資機材及び労務等を提供し、これに要する費用を負担する。																									
	4 付属品等	標準仕様書によるほか、下記品目を備える。 ・ マンホール引手 1組 ・ 消毒薬剤 1式（1回投入分）																									
	5 送風機	原則として、防振ゴム、防振架台等で防振対策を施したものとし、騒音の大きなものは、騒音対策を行う。																									
	6 点検口蓋	図示なき場合は下記による。ただし、ユニット形で図示なき場合は、製造者の標準仕様とする。 (1) 防 臭 蓋：鑄鉄製耐圧型（SHASE-S、安全荷重 14,700N）以上 なお、蓋は錠付又はステンレス製ボルト固定式とする。 (2) 鋼板製蓋：板厚4.5mm以上の鋼鋼板に溶融亜鉛めっきを施したものを又はステンレス鋼鋼板（SUS 304）製で、取手又は取手取付穴付きとし、1人で開閉できる重量に分割加工する。なお、蓋はステンレス製ボルト固定式とする。																									
	7 ユニット型浄化槽	(1) 浄化槽法に基づく型式認定品とするが、あらかじめ使用する機種の見定シート等の関連図書を提出し、監督員の承諾を得ること。 (2) 図示の機器寸法は参考寸法とする。 (3) 保護工作物が別途工事の場合においては、保護工作物の施工業者と収まり等について、十分に打ち合わせを行うこと。 使用する機種が別途保護工作物内に収まらず、工作物の寸法を変更する必要がある場合は、変更に関わる全ての費用を本工事で負担する。																									
	8 支持金物等	槽内の支持金物及びボルト・ナット類は全てステンレス鋼製（SUS304）とする。																									
○ 自動制御設備	1 中央監視制御装置	・ 本工事 ・ 別途工事																									
	2 構成その他	図示による。																									
		伊都小学校ほか 1 校屋内運動場冷暖房その他設備工事																									
		<table border="1"> <tr> <td>特記仕様書 (2)</td> <td>No Scale</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">鹿児島市建設局建築部設備課</td> <td>全 3 9</td> </tr> </table>	特記仕様書 (2)	No Scale	2	鹿児島市建設局建築部設備課		全 3 9																			
特記仕様書 (2)	No Scale	2																									
鹿児島市建設局建築部設備課		全 3 9																									

○給湯設備

○ 消火設備	1 配管材料	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>区 分</th> <th>使 用 材 料</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋内消火栓設備</td> <td>一 般</td> <td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W</td> </tr> <tr> <td>地中埋設</td> <td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋外消火栓設備</td> <td>一 般</td> <td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W</td> </tr> <tr> <td>地中埋設</td> <td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">スプリンクラー消火設備</td> <td>一 般</td> <td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W</td> </tr> <tr> <td>ポンプ～制御弁</td> <td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40</td> </tr> <tr> <td>地中埋設</td> <td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">連絡送水管</td> <td>一 般</td> <td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40</td> </tr> <tr> <td>地中埋設</td> <td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td> </tr> </table>	種 別	区 分	使 用 材 料	屋内消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS	屋外消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS	スプリンクラー消火設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W	ポンプ～制御弁	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS	連絡送水管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS
	種 別	区 分	使 用 材 料																								
	屋内消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W																								
		地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																								
屋外消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W																									
	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																									
スプリンクラー消火設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W																									
	ポンプ～制御弁	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40																									
	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																									
連絡送水管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40																									
	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																									
2 消火器	大型消火器（ ・ 本工事 ・ 別途 ） 小型消火器（ ・ 本工事 ・ 別途 ）																										
● ガス設備	① ガス種別	○ ガス事業法に基づく一般ガス（都市ガス 13A（46.0465MJ/m <sup>3</sup> ）） ・ ガス事業法に基づく簡易ガス（液化石油ガス） ・ 上記以外の液化石油ガス																									
	② 配管材料	○ 都市ガス及び簡易ガスを使用する場合で、図示なき部分の配管材はガス事業者の供給規定による。 ・ 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく液化石油ガスを使用する場合は下記による。																									
		<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>使 用 材 料</th> </tr> <tr> <td>屋内一般 （露出を除く）</td> <td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手）</td> </tr> <tr> <td>屋内露出</td> <td>・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）</td> </tr> <tr> <td>地中埋設</td> <td>・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）</td> </tr> </table>	区 分	使 用 材 料	屋内一般 （露出を除く）	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手）	屋内露出	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）	地中埋設	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）																	
	区 分	使 用 材 料																									
屋内一般 （露出を除く）	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手）																										
屋内露出	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）																										
地中埋設	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）																										
③ ガスメーター	別送（ ・ 20kg ・ 50kg ） 標準図による。（ 本組 ） 標準図の（ ・ （a） ・ （b） ）による。 親メーター（ ○ 貸与品 ・ 自己財 ） 子メーター（ ・ 貸与品 ・ 自己財 ） ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 本工事 ・ 別途工事																										
3 充てん容器	別送（ ・ 20kg ・ 50kg ）																										
4 集合装置	標準図による。（ 本組 ）																										
5 転倒防止等	標準図の（ ・ （a） ・ （b） ）による。																										
6 ガスメーター	親メーター（ ○ 貸与品 ・ 自己財 ） 子メーター（ ・ 貸与品 ・ 自己財 ） ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 本工事 ・ 別途工事																										
7 ガス漏れ警報機	・ 本工事 ・ 別途工事																										
8 漏洩検知装置	・ 本工事 ・ 別途工事																										
○ 給湯設備	1 配管材料	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>使 用 材 料</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋 内 一 般</td> <td>・ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ・ 被覆ステンレス鋼管（呼び径25mm以下） ・ 鋼管（ ・ M ・ L ）</td> </tr> <tr> <td>地 中 埋 設</td> <td>・ 耐熱性硬質塩化ビニル鋼管 HT-VP</td> </tr> </table>	区 分	使 用 材 料	屋 内 一 般	・ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ・ 被覆ステンレス鋼管（呼び径25mm以下） ・ 鋼管（ ・ M ・ L ）	地 中 埋 設	・ 耐熱性硬質塩化ビニル鋼管 HT-VP																			
	区 分	使 用 材 料																									
屋 内 一 般	・ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ・ 被覆ステンレス鋼管（呼び径25mm以下） ・ 鋼管（ ・ M ・ L ）																										
	地 中 埋 設	・ 耐熱性硬質塩化ビニル鋼管 HT-VP																									
2 弁類	図面に明記なき場合は（ ・ JIS10K ・ JIS5K ）																										
○ 浄化槽設備	1 届出手続き等	浄化槽法の規定に基づく「浄化槽設置届出書」を所定の時期に鹿児島市浄化槽指導要綱に定める関連図書を添付し、届出を代行すること。 鹿児島市浄化槽法施行細則の規定に基づく浄化槽工事完了検査を受け、検査結果を速やかに監督員に報告すること。																									
	2 中間立会い検査等	下記の工事を行う場合は、事前に監督員に連絡し、現場立会い検査及び承諾後施工すること。 ・ 位置の決定：あらかじめ設計図の配置に基づいて仮の位置決めを行い承諾を受ける。 ・ 配 筋：配筋終了後、片側假枠の状態で立会い検査を受ける。 ・ コンクリト打設：コンクリト打設前に各槽の寸法、壁厚等のチェックリストを作成し、承諾を受ける。 ・ 搬入据付け：ユニット形浄化槽の搬入及び据付け時には、槽の規格、型式等の確認及び据付け状態の立会い検査を受ける。 ・ 試験その他：水張り試験（24時間）、その他監督員の指示する試験及び試運転調整等は立会い検査を受ける。																									
	3 取扱い説明等	試験調整後、所要の時期に浄化槽管理者及び浄化槽管理者が委託した浄化槽管理士など関係者に対し、取扱い説明を十分に行う。 なお、試験調整並びに取扱い説明等に必要な資機材及び労務等を提供し、これに要する費用を負担する。																									
	4 付属品等	標準仕様書によるほか、下記品目を備える。 ・ マンホール引手 1組 ・ 消毒薬剤 1式（1回投入分）																									
	5 送風機	原則として、防振ゴム、防振架台等で防振対策を施したものとし、騒音の大きなものは、騒音対策を行う。																									
	6 点検口蓋	図示なき場合は下記による。ただし、ユニット形で図示なき場合は、製造者の標準仕様とする。 (1) 防 臭 蓋：鑄鉄製耐圧型（SHASE-S、安全荷重 14,700N）以上 なお、蓋は錠付又はステンレス製ボルト固定式とする。 (2) 鋼板製蓋：板厚4.5mm以上の鋼鋼板に溶融亜鉛めっきを施したものを又はステンレス鋼鋼板（SUS 304）製で、取手又は取手取付穴付きとし、1人で開閉できる重量に分割加工する。なお、蓋はステンレス製ボルト固定式とする。																									
	7 ユニット型浄化槽	(1) 浄化槽法に基づく型式認定品とするが、あらかじめ使用する機種の見定シート等の関連図書を提出し、監督員の承諾を得ること。 (2) 図示の機器寸法は参考寸法とする。 (3) 保護工作物が別途工事の場合においては、保護工作物の施工業者と収まり等について、十分に打ち合わせを行うこと。 使用する機種が別途保護工作物内に収まらず、工作物の寸法を変更する必要がある場合は、変更に関わる全ての費用を本工事で負担する。																									
	8 支持金物等	槽内の支持金物及びボルト・ナット類は全てステンレス鋼製（SUS304）とする。																									
○ 自動制御設備	1 中央監視制御装置	・ 本工事 ・ 別途工事																									
	2 構成その他	図示による。																									
		伊都小学校ほか 1 校屋内運動場冷暖房その他設備工事																									
		<table border="1"> <tr> <td>特記仕様書 (2)</td> <td>No Scale</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">鹿児島市建設局建築部設備課</td> <td>全 3 9</td> </tr> </table>	特記仕様書 (2)	No Scale	2	鹿児島市建設局建築部設備課		全 3 9																			
特記仕様書 (2)	No Scale	2																									
鹿児島市建設局建築部設備課		全 3 9																									

○淨化槽設備

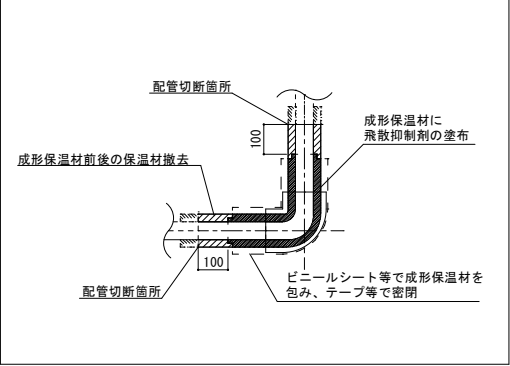
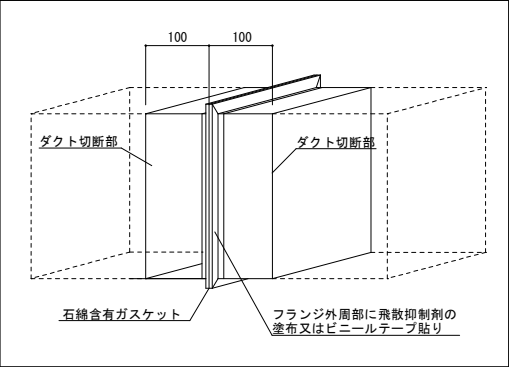
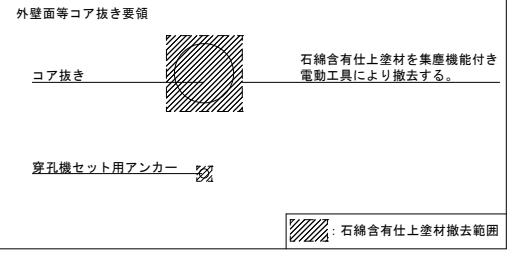
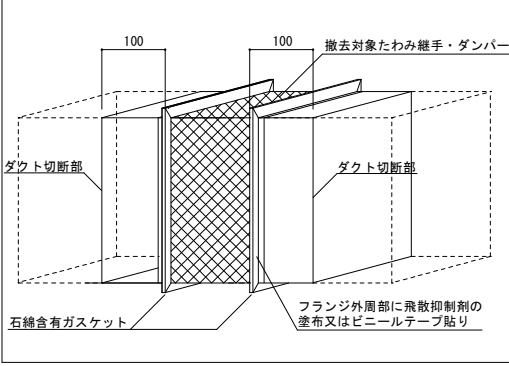
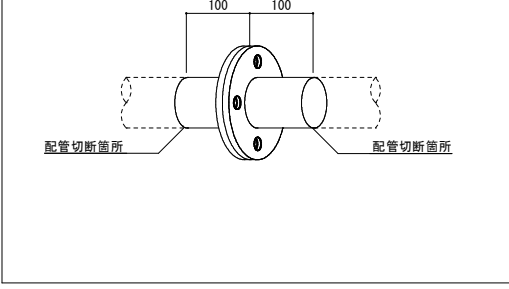
○ 消火設備	1 配管材料	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th><th>区 分</th><th>使 用 材 料</th></tr> <tr> <td rowspan="2">屋内消火栓設備</td><td>一 般</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W</td></tr> <tr> <td>地中埋設</td><td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td></tr> <tr> <td rowspan="2">屋外消火栓設備</td><td>一 般</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W</td></tr> <tr> <td>地中埋設</td><td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td></tr> <tr> <td rowspan="3">スプリンクラー 消火設備</td><td>一 般</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W</td></tr> <tr> <td>ポンプ～ 制御弁</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40</td></tr> <tr> <td>地中埋設</td><td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td></tr> <tr> <td rowspan="2">連絡送水管</td><td>一 般</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40</td></tr> <tr> <td>地中埋設</td><td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td></tr> </table>	種 別	区 分	使 用 材 料	屋内消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS	屋外消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS	スプリンクラー 消火設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W	ポンプ～ 制御弁	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS	連絡送水管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS
	種 別	区 分	使 用 材 料																								
	屋内消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W																								
		地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																								
屋外消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W																									
	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																									
スプリンクラー 消火設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W																									
	ポンプ～ 制御弁	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40																									
	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																									
連絡送水管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40																									
	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																									
2 消火器	大型消火器（ ・ 本工事 ・ 別途 ） 小型消火器（ ・ 本工事 ・ 別途 ）																										
● ガス設備	① ガス種別	○ ガス事業法に基づく一般ガス（都市ガス 13A（46.0465MJ/m <sup>3</sup> ）） ・ ガス事業法に基づく簡易ガス（液化石油ガス） ・ 上記以外の液化石油ガス																									
	② 配管材料	○ 都市ガス及び簡易ガスを使用する場合で、図示なき部分の配管材はガス事業者の供給規定による。 ・ 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく液化石油ガスを使用する場合は下記による。																									
		<table border="1"> <tr> <th>区 分</th><th>使 用 材 料</th></tr> <tr> <td>屋内一般 （露出を除く）</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手）</td></tr> <tr> <td>屋内露出</td><td>・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）</td></tr> <tr> <td>地中埋設</td><td>・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）</td></tr> </table>	区 分	使 用 材 料	屋内一般 （露出を除く）	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手）	屋内露出	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）	地中埋設	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）																	
	区 分	使 用 材 料																									
屋内一般 （露出を除く）	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手）																										
屋内露出	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）																										
地中埋設	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）																										
3 充てん容器 4 集合装置 5 転倒防止等 ⑥ ガスメーター 7 ガス漏れ警報機 8 漏洩検知装置	別途（ ・ 20kg ・ 50kg ） 標準図による。（ 本組 ） 標準図の（ ・ （a） ・ （b） ）による。 親メーター（ ○ 貸与品 ・ 自己財 ） 子メーター（ ・ 貸与品 ・ 自己財 ） ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 本工事 ・ 別途工事																										
○ 給湯設備	1 配管材料	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th><th>使 用 材 料</th></tr> <tr> <td>屋 内 一 般</td><td>・ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ・ 被覆ステンレス鋼管（呼び径25mm以下） ・ 鋼管（ ・ M ・ L ）</td></tr> <tr> <td>地 中 埋 設</td><td>・ 耐熱性硬質塩化ビニル鋼管 HT-VP</td></tr> </table>	区 分	使 用 材 料	屋 内 一 般	・ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ・ 被覆ステンレス鋼管（呼び径25mm以下） ・ 鋼管（ ・ M ・ L ）	地 中 埋 設	・ 耐熱性硬質塩化ビニル鋼管 HT-VP																			
区 分	使 用 材 料																										
屋 内 一 般	・ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ・ 被覆ステンレス鋼管（呼び径25mm以下） ・ 鋼管（ ・ M ・ L ）																										
地 中 埋 設	・ 耐熱性硬質塩化ビニル鋼管 HT-VP																										
2 弁類	図面に明記なき場合は（ ・ JIS10K ・ JIS5K ）																										
○ 浄化槽設備	1 届出手続き等	浄化槽法の規定に基づく「浄化槽設置届出書」を所定の時期に鹿児島市浄化槽指導要綱に定める関連図書を添付し、届出を代行すること。 鹿児島市浄化槽法施行細則の規定に基づく浄化槽工事完了検査を受け、検査結果を速やかに監督員に報告すること。																									
2 中間立会い検査等	下記の工事を行う場合は、事前に監督員に連絡し、現場立会い検査及び承諾後施工すること。 ・ 位置の決定：あらかじめ設計図の配置に基づいて仮の位置決めを行い承諾を受ける。 ・ 配 筋：配筋終了後、片側假枠の状態で立会い検査を受ける。 ・ コックリ打設：コンクリート打設前に各槽の寸法、壁厚等のチェックリストを作成し、承諾を受ける。 ・ 搬入据付け：ユニット形浄化槽の搬入及び据付け時には、槽の規格、型式等の確認及び据付け状態の立会い検査を受ける。 ・ 試験その他：水張り試験（24時間）、その他監督員の指示する試験及び試運転調整等は立会い検査を受ける。																										
3 取扱い説明等	試験調整後、所要の時期に浄化槽管理者及び浄化槽管理者が委託した浄化槽管理士など関係者に対し、取扱い説明を十分に行う。 なお、試験調整並びに取扱い説明等に必要な資機材及び労務等を提供し、これに要する費用を負担する。																										
4 付属品等	標準仕様書によるほか、下記品目を備える。 ・ マンホール引手 1組 ・ 消毒薬剤 1式（1回投入分）																										
5 送風機	原則として、防振ゴム、防振架台等で防振対策を施したものとし、騒音の大きなものは、騒音対策を行う。																										
6 点検口蓋	図示なき場合は下記による。ただし、ユニット形で図示なき場合は、製造者の標準仕様とする。 (1) 防 臭 蓋：鑄鉄製耐圧型（SHASE-S、安全荷重 14,700N）以上 なお、蓋は錠付又はステンレス製ボルト固定式とする。 (2) 鋼板製蓋：板厚4.5mm以上の鋼鋼板に溶融垂鉛めっきを施したものを又はステンレス鋼鋼板（SUS 304）製で、取手又は取手取付穴付きとし、1人で開閉できる重量に分割加工する。なお、蓋はステンレス製ボルト固定式とする。																										
7 ユニット型浄化槽	(1) 浄化槽法に基づく型式認定品とするが、あらかじめ使用する機種の見定シート等の関連図書を提出し、監督員の承諾を得ること。 (2) 図示の機器寸法は参考寸法とする。 (3) 保護工作物が別途工事の場合においては、保護工作物の施工業者と収まり等について、十分に打ち合わせを行うこと。 使用する機種が別途保護工作物内に収まらず、工作物の寸法を変更する必要がある場合は、変更に関わる全ての費用を本工事で負担する。																										
8 支持金物等	槽内の支持金物及びボルト・ナット類は全てステンレス鋼製（SUS304）とする。																										
○ 自動制御設備	1 中央監視制御装置 2 構成その他 図示による。																										
	<table border="1"> <tr> <td colspan="3">伊都小学校ほか 1 校屋内運動場冷暖房その他設備工事</td></tr> <tr> <td>特記仕様書 (2)</td><td>No Scale</td><td>2</td></tr> <tr> <td colspan="2">鹿児島市建設局建築部設備課</td><td>全 3 9</td></tr> </table>	伊都小学校ほか 1 校屋内運動場冷暖房その他設備工事			特記仕様書 (2)	No Scale	2	鹿児島市建設局建築部設備課		全 3 9																	
伊都小学校ほか 1 校屋内運動場冷暖房その他設備工事																											
特記仕様書 (2)	No Scale	2																									
鹿児島市建設局建築部設備課		全 3 9																									

○自動制御設備

○ 消火設備	1 配管材料	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>区 分</th> <th>使 用 材 料</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋内消火栓設備</td> <td>一 般</td> <td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W</td> </tr> <tr> <td>地中埋設</td> <td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋外消火栓設備</td> <td>一 般</td> <td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W</td> </tr> <tr> <td>地中埋設</td> <td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">スプリンクラー 消火設備</td> <td>一 般</td> <td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W</td> </tr> <tr> <td>ポンプ～ 制御弁</td> <td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40</td> </tr> <tr> <td>地中埋設</td> <td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">連絡送水管</td> <td>一 般</td> <td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40</td> </tr> <tr> <td>地中埋設</td> <td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td> </tr> </table>	種 別	区 分	使 用 材 料	屋内消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS	屋外消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS	スプリンクラー 消火設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W	ポンプ～ 制御弁	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS	連絡送水管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS
	種 別	区 分	使 用 材 料																								
	屋内消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W																								
		地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																								
屋外消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W																									
	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																									
スプリンクラー 消火設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W																									
	ポンプ～ 制御弁	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40																									
	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																									
連絡送水管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40																									
	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																									
2 消火器	大型消火器（ ・ 本工事 ・ 別途 ） 小型消火器（ ・ 本工事 ・ 別途 ）																										
● ガス設備	① ガス種別	○ ガス事業法に基づく一般ガス（都市ガス 13A（46.0465MJ/m <sup>3</sup> ）） ・ ガス事業法に基づく簡易ガス（液化石油ガス） ・ 上記以外の液化石油ガス																									
	② 配管材料	○ 都市ガス及び簡易ガスを使用する場合で、図示なき部分の配管材はガス事業者の供給規定による。 ・ 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく液化石油ガスを使用する場合は下記による。																									
		<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>使 用 材 料</th> </tr> <tr> <td>屋内一般 （露出を除く）</td> <td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手）</td> </tr> <tr> <td>屋内露出</td> <td>・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）</td> </tr> <tr> <td>地中埋設</td> <td>・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）</td> </tr> </table>	区 分	使 用 材 料	屋内一般 （露出を除く）	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手）	屋内露出	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）	地中埋設	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）																	
	区 分	使 用 材 料																									
屋内一般 （露出を除く）	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手）																										
屋内露出	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）																										
地中埋設	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）																										
③ ガスメーター	別添（ ・ 20kg ・ 50kg ） 標準図による。（ 本組 ） 標準図の（ ・ （a） ・ （b） ）による。 親メーター（ ○ 貸与品 ・ 自己財 ） 子メーター（ ・ 貸与品 ・ 自己財 ） ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 本工事 ・ 別途工事																										
3 充てん容器	別添（ ・ 20kg ・ 50kg ）																										
4 集合装置	標準図による。（ 本組 ）																										
5 転倒防止等	標準図の（ ・ （a） ・ （b） ）による。																										
6 ガスメーター	親メーター（ ○ 貸与品 ・ 自己財 ） 子メーター（ ・ 貸与品 ・ 自己財 ） ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 本工事 ・ 別途工事																										
7 ガス漏れ警報機	・ 本工事 ・ 別途工事																										
8 漏洩検知装置	・ 本工事 ・ 別途工事																										
○ 給湯設備	1 配管材料	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>使 用 材 料</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋 内 一 般</td> <td>・ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ・ 被覆ステンレス鋼管（呼び径25mm以下） ・ 鋼管（ ・ M ・ L ）</td> </tr> <tr> <td>地 中 埋 設</td> <td>・ 耐熱性硬質塩化ビニル鋼 HT-VP</td> </tr> </table>	区 分	使 用 材 料	屋 内 一 般	・ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ・ 被覆ステンレス鋼管（呼び径25mm以下） ・ 鋼管（ ・ M ・ L ）	地 中 埋 設	・ 耐熱性硬質塩化ビニル鋼 HT-VP																			
	区 分	使 用 材 料																									
屋 内 一 般	・ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ・ 被覆ステンレス鋼管（呼び径25mm以下） ・ 鋼管（ ・ M ・ L ）																										
	地 中 埋 設	・ 耐熱性硬質塩化ビニル鋼 HT-VP																									
2 弁類	図面に明記なき場合は（ ・ JIS10K ・ JIS5K ）																										
○ 浄化槽設備	1 届出手続き等	浄化槽法の規定に基づく「浄化槽設置届出書」を所定の時期に鹿児島市浄化槽指導要綱に定める関連図書を添付し、届出を代行すること。 鹿児島市浄化槽法施行細則の規定に基づく浄化槽工事完了検査を受け、検査結果を速やかに監督員に報告すること。 下記の工事を行う場合は、事前に監督員に連絡し、現場立会い検査及び承諾後施工すること。																									
	2 中間立会い検査等	・ 位置の決定：あらかじめ設計図の配置に基づいて仮の位置決めを行い承諾を受ける。 ・ 配 筋：配筋終了後、片側假枠の状態で立会い検査を受ける。 ・ コルゲート打設：コンクリート打設前に各槽の寸法、壁厚等のチェックリストを作成し、承諾を受ける。 ・ 搬入据付け：ユニット形浄化槽の搬入及び据付け時には、槽の規格、型式等の確認及び据付け状態の立会い検査を受ける。 ・ 試験その他：水張り試験（24時間）、その他監督員の指示する試験及び試運転調整等は立会い検査を受ける。																									
	3 取扱い説明等	試験調整後、所要の時期に浄化槽管理者及び浄化槽管理者が委託した浄化槽管理士など関係者に対し、取扱い説明を十分に行う。 なお、試験調整並びに取扱い説明等に必要な資機材及び労務等を提供し、これに要する費用を負担する。																									
	4 付属品等	標準仕様書によるほか、下記品目を備える。 ・ マンホール引手 1組 ・ 消毒薬剤 1式（1回投入分）																									
	5 送風機	原則として、防振ゴム、防振架台等で防振対策を施したものとし、騒音の大きなものは、騒音対策を行う。																									
	6 点検口蓋	図示なき場合は下記による。ただし、ユニット形で図示なき場合は、製造者の標準仕様とする。 (1) 防 臭 蓋：鑄鉄製耐圧型（SHASE-S、安全荷重 14,700N）以上 なお、蓋は錠付又はステンレス製ボルト固定式とする。 (2) 鋼板製蓋：板厚4.5mm以上の鋼鋼板に溶融亜鉛めっきを施したものを又はステンレス鋼鋼板（SUS 304）製で、取手又は取手取付穴付きとし、1人で開閉できる重量に分割加工する。なお、蓋はステンレス製ボルト固定式とする。																									
	7 ユニット型浄化槽	(1) 浄化槽法に基づく型式認定品とするが、あらかじめ使用する機種の見定シート等の関連図書を提出し、監督員の承諾を得ること。 (2) 図示の機器寸法は参考寸法とする。 (3) 保護工作物が別途工事の場合においては、保護工作物の施工業者と収まり等について、十分に打ち合わせを行うこと。 使用する機種が別途保護工作物内に収まらず、工作物の寸法を変更する必要がある場合は、変更に関わる全ての費用を本工事で負担する。																									
	8 支持金物等	槽内の支持金物及びボルト・ナット類は全てステンレス鋼製（SUS304）とする。																									
○ 自動制御設備	1 中央監視制御装置	・ 本工事 ・ 別途工事																									
	2 構成その他	図示による。																									
		伊都小学校ほか1校屋内運動場冷暖房その他設備工事																									
		<table border="1"> <tr> <td>特記仕様書(2)</td> <td>No Scale</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">鹿児島市建設局建築部設備課</td> <td>全39</td> </tr> </table>	特記仕様書(2)	No Scale	2	鹿児島市建設局建築部設備課		全39																			
特記仕様書(2)	No Scale	2																									
鹿児島市建設局建築部設備課		全39																									

● 空氣調和

● 一般 共通 事項	(18) 保温（続き）																																																							
	2) 冷媒管保温仕様	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th><th>材 料 及 び 施 工 順 序</th><th>参 考 施 工 箇 所</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋内露出</td><td>１．ポリスチレンフォーム保温筒 ２．保温化粧ケース</td><td>一般居室、廊下、機械室 書庫、倉庫</td></tr> <tr> <td>屋内隠蔽</td><td>１．ポリスチレンフォーム保温筒 ２．ビニルテープ（1ｍ間隔）</td><td>天井内、床下、空間壁中 パイプシャフト内</td></tr> <tr> <td>屋外露出</td><td>１．ポリスチレンフォーム保温筒 ２．保温化粧ケース ３．シーリング</td><td>屋外露出 （バルコニー開放廊下含む）</td></tr> </tbody> </table> <p>注１．原則として、露出配管は保温化粧ケースに電線配り配線及び操作線を収納し天井内、パイプシャフト内、床下及び暗渠内等は冷媒管保温上に共結りとして固定する。</p> <p>２．ポリスチレンフォーム保温筒は、ガス管20mm、液管10mm厚以上とする。</p> <p>３．保温化粧ケースは、耐候処理を施した強化ビニル樹脂製で－20℃～60℃まで耐えるもの。</p> <p>４．保温化粧ケースに冷媒管を収めた場合、適当な余裕があればドレン管をケース内に収めても良い。</p> <p>(3) 屋内露出配管の施工</p> <p>屋内露出配管の保温見切り箇所には菊座を、また分岐曲がり部等にはバンドを付けるものとする。なお、材質は全て冷間圧延ステンレス製とし、バンド幅は保温外径150mm以下は20mm、150mm以上は25mm、菊座は全て50mmとする。</p> <p>(4) 給水管・排水管保温仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th><th>材 料 及 び 施 工 順 序</th><th>参 考 施 工 箇 所</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋内露出</td><td>１．ポリスチレンフォーム保温筒 ２．粘着テープ ３．アルミガラスクロス</td><td>一般居室、廊下</td></tr> <tr> <td>屋内隠蔽</td><td>１．ポリスチレンフォーム保温筒 ２．粘着テープ ３．アルミガラスクロス</td><td>機械室、書庫、倉庫</td></tr> <tr> <td>屋内隠蔽（ドレン管）</td><td>１．保温チューブ巻き（ライトカーバー） ２．ビニルテープ（1ｍ間隔）</td><td>天井内、パイプシャフト 空間壁内</td></tr> <tr> <td>床 下</td><td>１．ポリスチレンフォーム保温筒 ２．粘着テープ ３．ポリエチレンフィルム ４．着色アルミガラスクロス</td><td>床下、暗渠内、地下ピット</td></tr> <tr> <td>屋外露出</td><td>１．ポリスチレンフォーム保温筒 ２．粘着テープ ３．ポリエチレンフィルム ４．ステンレス鋼板</td><td>屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない）</td></tr> </tbody> </table> <p>注１．給水管及び給湯用の配管で、保温を行う呼び径６５以上の弁、ストレーナー等は、ビス等により容易に剥離できるステンレス鋼板による外装を施す。</p> <p>２．ポリスチレン保温筒の使用困難な箇所は、ロックウールフェルト、グラスウール保温帯又は、波型保温板を使用してもよい。</p> <p>３．別途図示等の指示がある場合はそれによる。</p>	施工箇所	材 料 及 び 施 工 順 序	参 考 施 工 箇 所	屋内露出	１．ポリスチレンフォーム保温筒 ２．保温化粧ケース	一般居室、廊下、機械室 書庫、倉庫	屋内隠蔽	１．ポリスチレンフォーム保温筒 ２．ビニルテープ（1ｍ間隔）	天井内、床下、空間壁中 パイプシャフト内	屋外露出	１．ポリスチレンフォーム保温筒 ２．保温化粧ケース ３．シーリング	屋外露出 （バルコニー開放廊下含む）	施工箇所	材 料 及 び 施 工 順 序	参 考 施 工 箇 所	屋内露出	１．ポリスチレンフォーム保温筒 ２．粘着テープ ３．アルミガラスクロス	一般居室、廊下	屋内隠蔽	１．ポリスチレンフォーム保温筒 ２．粘着テープ ３．アルミガラスクロス	機械室、書庫、倉庫	屋内隠蔽（ドレン管）	１．保温チューブ巻き（ライトカーバー） ２．ビニルテープ（1ｍ間隔）	天井内、パイプシャフト 空間壁内	床 下	１．ポリスチレンフォーム保温筒 ２．粘着テープ ３．ポリエチレンフィルム ４．着色アルミガラスクロス	床下、暗渠内、地下ピット	屋外露出	１．ポリスチレンフォーム保温筒 ２．粘着テープ ３．ポリエチレンフィルム ４．ステンレス鋼板	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない）																								
施工箇所	材 料 及 び 施 工 順 序	参 考 施 工 箇 所																																																						
屋内露出	１．ポリスチレンフォーム保温筒 ２．保温化粧ケース	一般居室、廊下、機械室 書庫、倉庫																																																						
屋内隠蔽	１．ポリスチレンフォーム保温筒 ２．ビニルテープ（1ｍ間隔）	天井内、床下、空間壁中 パイプシャフト内																																																						
屋外露出	１．ポリスチレンフォーム保温筒 ２．保温化粧ケース ３．シーリング	屋外露出 （バルコニー開放廊下含む）																																																						
施工箇所	材 料 及 び 施 工 順 序	参 考 施 工 箇 所																																																						
屋内露出	１．ポリスチレンフォーム保温筒 ２．粘着テープ ３．アルミガラスクロス	一般居室、廊下																																																						
屋内隠蔽	１．ポリスチレンフォーム保温筒 ２．粘着テープ ３．アルミガラスクロス	機械室、書庫、倉庫																																																						
屋内隠蔽（ドレン管）	１．保温チューブ巻き（ライトカーバー） ２．ビニルテープ（1ｍ間隔）	天井内、パイプシャフト 空間壁内																																																						
床 下	１．ポリスチレンフォーム保温筒 ２．粘着テープ ３．ポリエチレンフィルム ４．着色アルミガラスクロス	床下、暗渠内、地下ピット																																																						
屋外露出	１．ポリスチレンフォーム保温筒 ２．粘着テープ ３．ポリエチレンフィルム ４．ステンレス鋼板	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない）																																																						
● 空 気 調 和	19 制御及び操作盤	製造所名及び施工業者名を容易に消えない方法で記載した銘板を、扉付は扉裏面に、扉なしは全面板のえがかりのよい位置に取り付ける。																																																						
	(20) 塗装及び防錆	標準仕様書第2編によるほか下記による。 <p>(1) 屋内及び屋外露出部で塩化ビル管（カラーパイプを除く）使用時の排水管、通気管、排気管及びビニル製付属品等は、塩化ビル系エナメル2回塗りとする。</p> <p>(2) 鉄鍍製マンホール蓋、各種ボックス用鉄鍍製品、その他の鉄鍍製品は、タールエポキシ塗りとする。</p> <p>(3) 浄化槽、グリーストラップなどの鋼板製蓋は、溶融亜鉛めっきとする。</p> <p>(4) 亜鉛めっき鋼管、ラインング鋼管などのネジ山部分、その他サビのでる恐れのある部分は、全て高温度亜鉛末塗料（参考品名：ローパル）でサビの防止処置をする。</p> <p>標準仕様書第2編によるほか下記による。</p> <p>(1) 給水配管及び給湯配管は、次の水压試験を行う。なお、配水管から第1止水栓までは鹿児島市水道局施工基準による。</p> <p>ア 保持時間は最小６０分とし、試験圧力は配管の最下部におけるものとする。</p> <p>イ 第1止水栓以降の給水装置に該当する管は、試験圧力1.0MPa以上（ポリエチレン管は製造者の規定による。）とする。</p> <p>ウ ポンプの圧力がかかる配管は、当該ポンプの全揚程に相当する圧力の2倍の試験圧力かつ0.75MPa以上とする。</p> <p>エ 高置タンク以降の配管は、静水頭に相当する圧力の2倍の試験圧力かつ0.75MPa以上とする。</p> <p>(2) 排水管は、満水試験を行い、衛生器具等の取付け完了後、通水試験を行う。また、ドレン管は、通水試験を行う。なお、保持時間は、満水試験にあつては最小３０分とする。</p> <p>(3) 冷媒管は、JRA-GL14「フロン類を用いた冷凍空調機器の冷媒漏れガイドライン」による気密試験を行う。保持時間は24時間以上とし、気密試験後は、全系統の高真空蒸発脱水処理を行う。</p> <p>(22) 提出図書等</p>	<p>(2) 施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲するものとする。竣工時に、国土交通省大臣官庁審判部監修機械設備工事管理指針第1編による、竣工時中長期保全計画書（長期保全計画書）を作成する。作成方法は、監督員の指示による。</p> <p>ヤンバルトサカヤステのまん延防止対策</p> <p>ヤンバルトサカヤステのまん延防止対策</p> <p>(1) 土・樹木等の措置</p> <p>ア 発生地区からの搬出を極力抑えることを原則とする。</p> <p>イ 廃棄物等については、一般廃棄物、産業廃棄物が取扱い可能な焼却施設で焼却処理する。</p> <p>一 一般廃棄物：市町村の村舎の焼却施設、業の許可を有している民間焼却施設</p> <p>二 産業廃棄物：業の許可を有している民間焼却施設</p> <p>(2) 工事区域周辺部の措置</p> <p>周辺部への拡散を防止するため、周辺部に薬剤散布等の措置を行う。</p> <p>(3) やむを得ず、土・樹木等を発生地区から搬出する場合の措置</p> <p>ア 薬剤処理・熏蒸処理後、搬出する。</p> <p>イ 薬剤処理の困難な農作物等の搬出の場合は付着土壤の除去を目視除け去後搬出する。</p> <p>(4) 発生地区に搬入した建設機械や農・林業工作機械の措置</p> <p>付着土壤の除去並びに薬剤処理後、搬出する。</p> <p>(5) 未発生地区での措置</p> <p>発生地区からの土・樹木等の搬入や農・林業工作機械の移動等があった場合は、上記（３）、（４）の措置が講じられているかを確認する。</p>																																																					
● 空 気 調 和	(1) 設計用温湿度条件	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th><th colspan="2">室 内 条 件</th><th colspan="8">屋 外 条 件</th></tr> <tr> <th>温度(DB) [°C]</th><th>湿度(RH) [%]</th><th colspan="2">温度(DB)[°C]</th><th colspan="2">湿度(RH)[%]</th><th colspan="2">温度(DB)[°C]</th><th colspan="2">湿度(RH)[%]</th></tr> <tr> <th></th><th></th><th></th><th>9時</th><th>12時</th><th>14時</th><th>16時</th><th>9時</th><th>12時</th><th>14時</th><th>16時</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏 期</td><td>26.0</td><td>50</td><td>31.4</td><td>34.0</td><td>34.7</td><td>34.1</td><td>73.5</td><td>65.9</td><td>60.7</td><td>62.8</td></tr> <tr> <td>冬 期</td><td>22.0</td><td>40</td><td colspan="4">3.4</td><td colspan="4">63.9</td></tr> </tbody> </table>		室 内 条 件		屋 外 条 件								温度(DB) [°C]	湿度(RH) [%]	温度(DB)[°C]		湿度(RH)[%]		温度(DB)[°C]		湿度(RH)[%]					9時	12時	14時	16時	9時	12時	14時	16時	夏 期	26.0	50	31.4	34.0	34.7	34.1	73.5	65.9	60.7	62.8	冬 期	22.0	40	3.4				63.9			
	室 内 条 件			屋 外 条 件																																																				
	温度(DB) [°C]	湿度(RH) [%]	温度(DB)[°C]		湿度(RH)[%]		温度(DB)[°C]		湿度(RH)[%]																																															
			9時	12時	14時	16時	9時	12時	14時	16時																																														
夏 期	26.0	50	31.4	34.0	34.7	34.1	73.5	65.9	60.7	62.8																																														
冬 期	22.0	40	3.4				63.9																																																	
2 煙道	銅板厚（ ・ 3.2mm ・ 4.5mm ）																																																							

石綿含有保温材等及び石綿含有成形板等除去特記事項		Ⅱ. 石綿含有保温材等の撤去等 ○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する		Ⅳ. 石綿含有仕上塗材の撤去等 ○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する	
Ⅰ. 共通事項 ○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する		1. 関係機関 協議・届出 法令等に基づき、撤去工事に必要な関係機関との協議及び届出を速やかに行うこと。 (労働基準監督署、鹿児島市環境保全課等)		1. 撤去作業	
① 石綿含有対象建材	本工事に係る石綿含有建材は次のとおりとする。 但し、事前調査を行い、新たに石綿含有が確認された場合や含有が疑われる場合は、速やかに監督員に報告を行い適切に処理すること。 石綿含有建材の有無 ・ 有 ○ 無 ・ その他 ( ) 石綿含有建材の種別 ・ 石綿含有保温材等          ・ 石綿含有成形板等          ・ 石綿含有仕上塗材	2. 撤去作業		・ 石綿含有仕上塗材の撤去 石綿含有仕上塗材の撤去は、原則として飛散防止のために十分な集塵機能を有する電動工具を用いる方法とする。 (1) 撤去方法 ・ 穿孔 ① 十分な集塵機能を有する電動工具を適切に使用し穿孔すること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 ・ コア抜き(ダイヤモンドカッターによる) ① コア抜き作業により影響を受ける石綿含有仕上塗材を撤去する。十分な集塵機能を有する電動工具を適切に使用しコア抜きすること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ① 回収した仕上塗材は、プラスチック袋等で二重に梱包し密封した上で運搬、廃棄を行うこと。 ② マニフェスト票の備考欄に「石綿含有仕上塗材」であることを明示し、適正に処分すること。	
		・ 石綿含有成形保温材付き配管の撤去 成形保温材付き配管の撤去は、原則として切断による方法とする。 (1) 撤去方法 ① 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。 ② ビニールシート等で成形保温材を包み、配管表面でテープ止めとし、密閉する。 ③ 配管の切断は、密閉部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 ④ 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ⑤ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ① 撤去した成形保温材付き配管は、プラスチック袋等で二重に梱包し密封した上で、特別管理産業廃棄物であることを表示し、構外搬出処理とする。 ② マニフェスト票の備考欄に「廃石綿」であることを明示し、適正に処分すること。		・ 石綿含有ダクトパッキンの撤去 ダクトの撤去は、原則として切断による方法とする。 (1) 撤去方法 ① ダクト切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に飛散抑制剤の塗布又はビニールテープ貼り等を施す。 ② ダクト切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 ③ ダクト片側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。 ④ 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ⑤ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ① 撤去したフランジ付ダクトは、さらなる切断や破砕は行わず、撤去した原形のまま運搬、廃棄を行うこと。 ② マニフェスト票の備考欄に「石綿含有成形品」であることを明示し、適正に処分すること。	
② 関係法令の遵守	大気汚染防止法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則、労働安全衛生規則、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令を遵守すること。 また国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の次の図書についても遵守すること。 (1) 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) (2) 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) (3) 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) (4) 建築物解体工事共通仕様書・同解説				
③ 事前調査	施工に先立ち改修、解体等の対象建材について石綿等使用の状況を監督員に確認した上で事前調査を行うこと。なお、建築物及び石綿等が使用されているおそれが高いものとして厚生労働大臣及び環境大臣が定める工作物に係る事前調査は、適切に当該調査を実施するために必要な知識を有する者として厚生労働大臣及び環境大臣が定める者が行うこと。 また、法令に基づき速やかにその結果を鹿児島市環境保全課及び労働基準監督署に報告すること。報告は、原則として石綿事前調査報告システムから電子申請で行うこと。さらに、監督員に書面で別途説明すること。 建築物の構造上、解体等工事に着手する前に目視することができない箇所にあつては、解体等工事に着手した後に目視が可能となった時点で調査を行い、再度報告及び説明を行うこと。	Ⅲ. 石綿含有成形板等の撤去等 ○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する			
4. 施工計画	(1) 事前調査の結果に基づき、施工計画書(作業管理組織図、作業方法、揭示方法、産業廃棄物処理方法)を作成して監督員に提出すること。 (2) 施工計画にあたり、令和3年3月厚生労働省及び環境省作成「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」及び令和3年3月環境省作成「石綿含有廃棄物等処理マニュアル(第3版)」を参考とすること。 (3) 作業従事者及び施設利用者等の安全に配慮するとともに、施設利用者等の活動に支障が生じないように留意すること。 (4) 使用器具・機械類等は、石綿含有建材の撤去等に必要で適切な工具・機器類等であること。	・ 石綿含有天井材の撤去 天井材の撤去は、原則として原形のまま取り外すこと。ただし、原形のまま取り外すことが技術上著しく困難で、切断を伴う撤去等を行う場合は、十分な飛散防止措置を講ずること。 (1) 撤去方法 ・ 切断等によらない撤去 ① 対象の石綿含有成形板は、撤去部を湿潤化した後「手ばらし」により、破壊や粉砕しないように処理すること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 ④ 撤去等を行うにあたり建材の大きな割れや破損による石綿繊維の飛散が想定される場合は、監督員と協議の上、必要に応じて湿潤化や隔離養生、局所集じん機の使用等の措置を講ずること。 ・ 切断等による撤去等 ① 対象の石綿含有成形板は、撤去部を湿潤化した後、切断等の処置を行うこと。また、切断等の範囲が最小限となるように施工すること。 ② 作業箇所は、施工区画として側面4面を養生シート等で覆い、飛散防止に努めること。但し、穿孔を行う際は、十分な集じん機能を有する局所集じん装置を使用し、飛散防止とすること。 ③ 残った切断部断面には、切断箇所から石綿が飛散することのないよう、飛散防止措置を講ずること。 ④ 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ⑤ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。		・ 石綿含有ダクトパッキンの撤去(たわみ継手・ダンパー部) たわみ継手・ダンパーの撤去は、原則として切断による方法とする。 (1) 撤去方法 ① ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に飛散抑制剤の塗布又はビニールテープ貼り等を施す。 ② ダクト切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 ③ ダクト及び機器の片側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。 ④ 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ⑤ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ① 撤去したフランジ付たわみ継手は、さらなる切断や破砕は行わず、撤去した原形のまま運搬、廃棄を行うこと。 ② マニフェスト票の備考欄に「石綿含有成形品」であることを明示し、適正に処分すること。	
⑤ 揭示	(1) 大気汚染防止法、石綿障害予防規則に定められた事項を揭示板により公衆及び作業員のしやすい箇所に掲示すること。 (2) 必要に応じて周辺住民等へ揭示等で周知すること。	1. 撤去作業			
6. 作業者	(1) 石綿障害予防規則に定める「石綿作業主任者」が作業管理者となり、その作業管理者の指示に従って作業すること。 (2) 作業者は、就業時に石綿障害予防規則に基づく特別の教育を受けた者とする。	・ 石綿含有天井材の撤去 天井材の撤去は、原則として原形のまま取り外すこと。ただし、原形のまま取り外すことが技術上著しく困難で、切断を伴う撤去等を行う場合は、十分な飛散防止措置を講ずること。 (1) 撤去方法 ・ 切断等によらない撤去 ① 対象の石綿含有成形板は、撤去部を湿潤化した後「手ばらし」により、破壊や粉砕しないように処理すること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 ④ 撤去等を行うにあたり建材の大きな割れや破損による石綿繊維の飛散が想定される場合は、監督員と協議の上、必要に応じて湿潤化や隔離養生、局所集じん機の使用等の措置を講ずること。 ・ 切断等による撤去等 ① 対象の石綿含有成形板は、撤去部を湿潤化した後、切断等の処置を行うこと。また、切断等の範囲が最小限となるように施工すること。 ② 作業箇所は、施工区画として側面4面を養生シート等で覆い、飛散防止に努めること。但し、穿孔を行う際は、十分な集じん機能を有する局所集じん装置を使用し、飛散防止とすること。 ③ 残った切断部断面には、切断箇所から石綿が飛散することのないよう、飛散防止措置を講ずること。 ④ 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ⑤ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。		・ 石綿含有配管フランジ用パッキンの撤去 配管のフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 (1) 撤去方法 ① 配管の切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ① 撤去したフランジ付配管は、さらなる切断や破砕は行わず、撤去した原形のまま運搬、廃棄を行うこと。 ② マニフェスト票の備考欄に「石綿含有成形品」であることを明示し、適正に処分すること。	
7. 保管	(1) 現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、ほかの建設副産物等と分別して保管し、シート等で覆うなど、飛散防止措置を講ずること。 (2) 保管場所には、廃石綿等の保管場所であることの表示を行うこと。	・ 石綿含有天井材の撤去 天井材の撤去は、原則として原形のまま取り外すこと。ただし、原形のまま取り外すことが技術上著しく困難で、切断を伴う撤去等を行う場合は、十分な飛散防止措置を講ずること。 (1) 撤去方法 ・ 切断等によらない撤去 ① 対象の石綿含有成形板は、撤去部を湿潤化した後「手ばらし」により、破壊や粉砕しないように処理すること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 ④ 撤去等を行うにあたり建材の大きな割れや破損による石綿繊維の飛散が想定される場合は、監督員と協議の上、必要に応じて湿潤化や隔離養生、局所集じん機の使用等の措置を講ずること。 ・ 切断等による撤去等 ① 対象の石綿含有成形板は、撤去部を湿潤化した後、切断等の処置を行うこと。また、切断等の範囲が最小限となるように施工すること。 ② 作業箇所は、施工区画として側面4面及び床面を養生シート等で覆い、適切に隔離を行うこと。 ③ 残った切断部断面には、切断箇所から石綿が飛散することのないよう、飛散防止措置を講ずること。 ④ 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ⑤ 作業にあたっては呼吸用保護具(電動ファン付き)、保護メガネ、手袋、保護衣、シューズカバーを着用すること。			
8. 運搬	(1) 石綿含有建材の廃材を高所から移動する場合は、揚重機を使用して、高所より投下しないこと。 (2) 石綿含有建材の廃材の集積、積み込みに当たっては、廃棄物の積み替え移動回数を最小限にすること。 (3) 石綿含有建材の廃材の運搬車及び運搬容器は、当該建材等が飛散及び流出するおそれのないものとする。 (4) 運搬車両の荷台に覆いをかけるなど、飛散防止措置を講ずること。	・ 石綿含有天井材の撤去 天井材の撤去は、原則として原形のまま取り外すこと。ただし、原形のまま取り外すことが技術上著しく困難で、切断を伴う撤去等を行う場合は、十分な飛散防止措置を講ずること。 (1) 撤去方法 ・ 切断等によらない撤去 ① 対象の石綿含有成形板は、撤去部を湿潤化した後「手ばらし」により、破壊や粉砕しないように処理すること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 ④ 撤去等を行うにあたり建材の大きな割れや破損による石綿繊維の飛散が想定される場合は、監督員と協議の上、必要に応じて湿潤化や隔離養生、局所集じん機の使用等の措置を講ずること。 ・ 切断等による撤去等 ① 対象の石綿含有成形板は、撤去部を湿潤化した後、切断等の処置を行うこと。また、切断等の範囲が最小限となるように施工すること。 ② 作業箇所は、施工区画として側面4面及び床面を養生シート等で覆い、適切に隔離を行うこと。 ③ 残った切断部断面には、切断箇所から石綿が飛散することのないよう、飛散防止措置を講ずること。 ④ 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ⑤ 作業にあたっては呼吸用保護具(電動ファン付き)、保護メガネ、手袋、保護衣、シューズカバーを着用すること。		・ 石綿含有配管フランジ用パッキンの撤去 配管のフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 (1) 撤去方法 ① 配管の切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ① 撤去したフランジ付配管は、さらなる切断や破砕は行わず、撤去した原形のまま運搬、廃棄を行うこと。 ② マニフェスト票の備考欄に「石綿含有成形品」であることを明示し、適正に処分すること。	
9. 後片付け	(1) シート等により区画、隔離した場合において、作業に使用した工具、足場等は付着した石綿を除去した後、作業場外へ持ち出すこと。 また、作業衣及び呼吸用保護具も、廃棄のために袋に入れた場合以外は、付着した石綿を除去した後、作業場外へ持ち出すこと。 (2) 区画、隔離養生に用いたシート等を再使用する際は、区画、養生を片付ける前に高性能真空掃除機等により付着した粉じんを除去すること。 (3) 区画、隔離等に用いたシート等を処分する際は、石綿繊維等粉じん付着面を内側にして折りたたんだ後に密封処理を行い、石綿含有建材同様の処理を行うこと。	・ 石綿含有天井材の撤去 天井材の撤去は、原則として原形のまま取り外すこと。ただし、原形のまま取り外すことが技術上著しく困難で、切断を伴う撤去等を行う場合は、十分な飛散防止措置を講ずること。 (1) 撤去方法 ・ 切断等によらない撤去 ① 対象の石綿含有成形板は、撤去部を湿潤化した後「手ばらし」により、破壊や粉砕しないように処理すること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 ④ 撤去等を行うにあたり建材の大きな割れや破損による石綿繊維の飛散が想定される場合は、監督員と協議の上、必要に応じて湿潤化や隔離養生、局所集じん機の使用等の措置を講ずること。 ・ 切断等による撤去等 ① 対象の石綿含有成形板は、撤去部を湿潤化した後、切断等の処置を行うこと。また、切断等の範囲が最小限となるように施工すること。 ② 作業箇所は、施工区画として側面4面及び床面を養生シート等で覆い、適切に隔離を行うこと。 ③ 残った切断部断面には、切断箇所から石綿が飛散することのないよう、飛散防止措置を講ずること。 ④ 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ⑤ 作業にあたっては呼吸用保護具(電動ファン付き)、保護メガネ、手袋、保護衣、シューズカバーを着用すること。		・ 石綿含有配管フランジ用パッキンの撤去 配管のフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 (1) 撤去方法 ① 配管の切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ① 撤去したフランジ付配管は、さらなる切断や破砕は行わず、撤去した原形のまま運搬、廃棄を行うこと。 ② マニフェスト票の備考欄に「石綿含有成形品」であることを明示し、適正に処分すること。	
10. 作業の結果の報告	除去作業が完了したときは、その結果を遅滞なく監督員へ書面で報告すること。	・ 石綿含有天井材の撤去 天井材の撤去は、原則として原形のまま取り外すこと。ただし、原形のまま取り外すことが技術上著しく困難で、切断を伴う撤去等を行う場合は、十分な飛散防止措置を講ずること。 (1) 撤去方法 ・ 切断等によらない撤去 ① 対象の石綿含有成形板は、撤去部を湿潤化した後「手ばらし」により、破壊や粉砕しないように処理すること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 ④ 撤去等を行うにあたり建材の大きな割れや破損による石綿繊維の飛散が想定される場合は、監督員と協議の上、必要に応じて湿潤化や隔離養生、局所集じん機の使用等の措置を講ずること。 ・ 切断等による撤去等 ① 対象の石綿含有成形板は、撤去部を湿潤化した後、切断等の処置を行うこと。また、切断等の範囲が最小限となるように施工すること。 ② 作業箇所は、施工区画として側面4面及び床面を養生シート等で覆い、適切に隔離を行うこと。 ③ 残った切断部断面には、切断箇所から石綿が飛散することのないよう、飛散防止措置を講ずること。 ④ 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ⑤ 作業にあたっては呼吸用保護具(電動ファン付き)、保護メガネ、手袋、保護衣、シューズカバーを着用すること。		・ 石綿含有配管フランジ用パッキンの撤去 配管のフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 (1) 撤去方法 ① 配管の切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ① 撤去したフランジ付配管は、さらなる切断や破砕は行わず、撤去した原形のまま運搬、廃棄を行うこと。 ② マニフェスト票の備考欄に「石綿含有成形品」であることを明示し、適正に処分すること。	
				80.4 令和3年度版改訂(改訂1)	
				伊敷小学校ほか1校屋内運動場冷暖房その他設備工事	
				石綿含有保温材等及び石綿含有成形板等除去特記事項	
				NO SCALE	
				3	
				鹿児島市建設局建築部設備課	
				全39	

特記事項（令和８年度）

対 象 学 校 名	工 事 場 所	冷 暖 房 面 積
伊敷小学校	鹿児島市伊敷五丁目１９番１号	867m <sup>2</sup>

- I一般事項
- 1.本特記事項は、鹿児島市立の小、中学校の屋内運動場における冷暖房設備工事の施工に適用する。

2.本工事の使用資材の品質、規格、種別等は本特記による。また、監督員に承諾図を提出すること。

- II区分表
- 1.本工事における工事区分は、下記の通りとする。

区 分	機械設備	電気設備	備 考
室外機基礎設置及びフェンス工事	○		
空調機分電盤及び一次側配線配管		○	
室外機一次側電源工事		○	一次側端子接続まで（アース線含む）
室外機間（主機～従機）配線配管		○	
室内外機間電源線・操作線	○		冷媒配管に同時巻き
リモコンスイッチ及び配線配管	○		露出部の配管はメタルモールとする。
自立運転スイッチ及び配線配管		○	スイッチは機械設備より支給
非常用コンセント及び配線配管		○	
外部足場・内部足場	○		
天井材撤去及び復旧・天井点検口の設置及び開口補強	○	○	
照明・自火報感知器の移設		○	

- 2.凡 例

名 称	記 号	管 種	備 考	
冷 媒 管	— R —	断熱材被覆銅管（ポリエチレンフォーム保温筒２種）		
ド レ ン 管	— D —	硬質ポリ塩化ビニル管 VP	屋内露出、屋内隠蔽	
		配管用炭素鋼鋼管（白） SGP	屋外露出、屋外埋設 屋内露出（アリーナ）	
排 気 ド レ ン 管	— H —	耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 HTVP	屋外露出	
ガ ス 管	— G —	ガス用ポリエチレン管 PE	都市ガス	屋外埋設
		硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS（黒）		屋外露出
		硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS（黒）	プロパン	屋外埋設
		硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS（白）		屋外露出
空調機電源・アース線	— // —	EM-EEF 2.0-3G(1G:E)	冷媒管同時巻き込み	
空 調 機 制 御 線	— △ —	EM-CEES 1.25sq-2G	冷媒管同時巻き込み	
リ モ コ ン 線	— ○ —	EM-AE（メーカー標準品） 1.2-2G		
高 機 能 リ モ コ ン	<span style="border: 1px solid black;">R</span>	ワイヤードリモコン（メーカー品）	鍵付きボックス共	

- 3.配管・配管保温・塗装仕様

記号	液管	ガス管	保温化粧ケース		
			樹脂製		金属製
			SD	PD	RD
Ⓐ	φ 6.4	φ 12.7	100×70	120φ	150×110
Ⓑ	φ 9.5	φ 15.9			
Ⓒ	φ 9.5	φ 19.1	140×80		
Ⓓ	φ 9.5	φ 22.2			
Ⓔ	φ 9.5	φ 25.4			
Ⓕ	φ 12.7	φ 25.4			
Ⓖ	φ 12.7	φ 28.6			
Ⓗ	φ 15.9	φ 28.6			
Ⓘ	φ 19.1	φ 31.8			

施 工 箇 所	空 調		備 考
	冷媒管	ドレン管	
天井内、PS内、暗渠	A	E	
屋内露出	B	F	
屋内露出（アリーナ）	D	F	
屋外露出	C	G	
屋外埋設	－	H	
保温・塗装仕様詳細	A テープ巻き（1m毎） B 保温化粧ケース・樹脂製（SD） C 保温化粧ケース・樹脂製（PD） D 保温化粧ケース・金属製（RD） E 保温チューブ（ライトカバー） F ポリスチレン（合成樹脂カバー2） G 合成樹脂調合ペイント2回塗 H 防食テープ巻き		

- 4.GHP異能力マルチ室外機仕様書

名 称	馬 力 HP	冷暖房能力 kW(RT)	電源 V 消費電力 kW	燃料消費量 kW	室外機型式・メーカー名 (参考)	基礎参考寸法（地上） W×L×H
ガス式 ヒートポンプ マルチエアコン （電源自立型）	20.0HP	冷房:56.0kW 暖房:63.0kW (6.30RT)	単相200Vまたは 三相200V 1.33kW以下	49.2kW以下	YBZP560L1DBM(S)	ヤンマー
					YBZP560L1DBM(S)	
					U-GB(X)560U1D	パナソニック
					U-GB(X)560U1D	
					GSHDP560DM(S)	ダイキン
					GSHDP560DM(S)	
					ABGP560F2ND	アイシン
					ABGP560F2PD	

- 注1) ガス式ヒートポンプマルチエアコン（電源自立型）は、メーカー最上位機種とする。
- 注2) 表中上段型式は都市ガス（13A）・下段型式はLPガス用
- 注3) 表中の寸法は参考とする。

- 5.GHP機器数量表

No.	室 名	設置 階数	室 内 機						室 外 機									
			台数	型式	仕 様	防球 ガード	ドレンアップ		台数	記号	仕 様		塗 装 仕 様			電 源		ガス種別
							要	不要			主機	従機	標準	耐塩	重耐塩	単相	三相	
1	アリーナ・玄関	1	2	160型	天吊	A, B		○	1	GHP-1M	○		○			○		都市ガス
	サブアリーナ・控室	2	3	80型	天吊	-		○										
2	アリーナ	1	3	160型	天吊	B, C		○	1	GHP-1S		○	○			○		都市ガス
3	アリーナ	1	2	160型	天吊	B		○	1	GHP-2M	○		○			○		都市ガス
4	アリーナ	1	3	160型	天吊	B		○	1	GHP-2S		○	○			○		都市ガス
合計数量			13						4									

防球ガード仕様詳細	室内機・室外機組合せ確認 (0.5<室内機容量／室外機容量<1.0)
A 天吊形室内機用防球ガード（天井設置）	No.1：56.0／56.0＝1.000→OK
B 天吊形室内機用防球ガード（一部天井設置、上部ガード及び架台含む）	No.2：48.0／56.0＝0.857→OK
C 天吊形室内機用防球ガード（壁設置、上部ガード及び架台含む）	No.3：32.0／56.0＝0.571→OK
	No.4：48.0／56.0＝0.857→OK

- III特記仕様

- 1.本工事の冷暖房方式はガスエンジンヒートポンプ方式（GHP）とする。

2.機器仕様

・メーカー標準仕様とし、機器仕様一覧表の仕様を満足するものとする。

・室内機にドレンアップメカを採用する場合は、原則として室内機内蔵型とする。

・アリーナ部設置の天吊型室内機には、メンテナンス点検口付き防球ガードを設置すること。

・冷媒はR410とする。

・室外機は全て、臭気低減機能及び排気ドレン中和装置（ドレンフィルター）付きとする。

なお、排気口は火山灰流入を低減する対策（SUS製、横向き開放）を行うこと。

・アンカーボルトはステンレス製とする。

3.室外機は地上設置とし、コンクリート基礎に防振ゴム（t＝15mm）を介して設置する。

4.フェンスはメッシュフェンス（H=1,200）同等品以上とし、最低1箇所以上施錠付きのドアを設けること。

なお、防音フェンスを設ける場合は、図示による。

5.ガス工事については、都市ガス供給区域においては日本ガス㈱、ガス小売事業区域についてはガス小売事業所にて施工することとし、それ以外の区域においては、特定液化石油ガス設備工事届を提出している事業所にて施工すること。

6.防火区画貫通処理は国土交通省大臣認定工法とする。

7.配管の外壁貫通箇所等は、確実に補修を行い水密を確保すること。

8.屋内隠蔽配管で、点検口付近の冷媒配管及びドレン管には、その管種を記入すること。

9.外部足場については、手すり先行枠組本足場とする。ネット状養生シート、足場金網等の防護柵を設置すること。

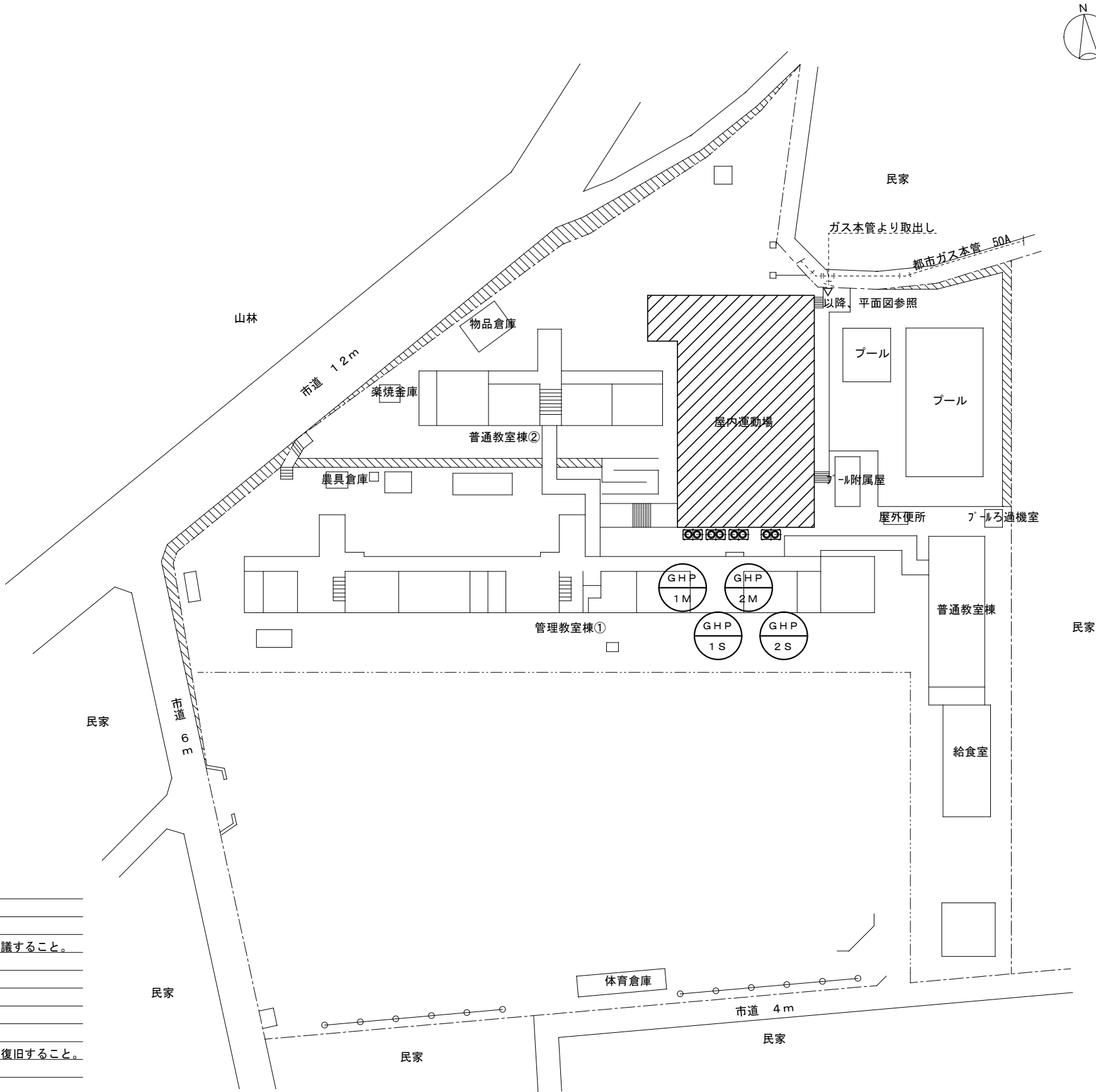
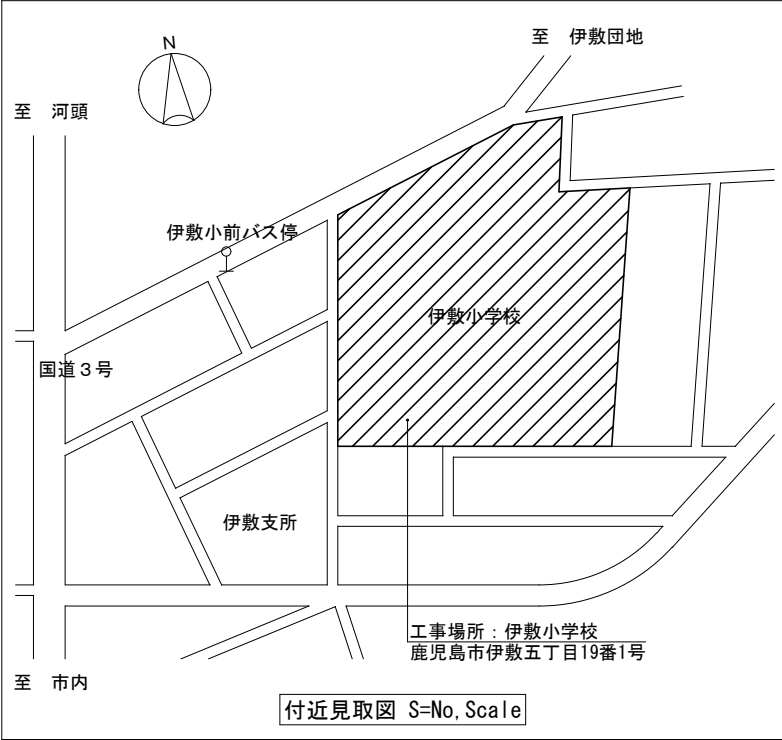
10.屋上等高所での作業時は、墜落制止用器具を着用し安全対策を実施すること。

11.高さ10m以上の足場設置（組立～解体60日未満は除く）に伴う設置届を設置の30日前までに労働基準監督署へ届け出ること。機械設備

12.天井取付の機器及び配管等の作業時は、内部仕上足場（脚立足場等）を使用し、安全を確保すること。

13.機器等の調達遅延を含め、受注者の責めによらない事由により、工程に影響が生じる場合には、工事の一時中止や工期延長について発注者と協議すること。なお、工事を全面的に一時中止している期間は、監理技術者等の専任を要しない期間とする。
- |                          |          |     |
|--------------------------|----------|-----|
| 伊敷小学校ほか1校屋内運動場冷暖房その他設備工事 |          |     |
| 特記事項                     | No Scale | 4   |
| 鹿児島市建設局建築部設備課            |          | 全39 |





注記

- 本工事着手前に現地調査を十分に行い、使用中の学校との取り合いを配慮し、学校運営に支障をきたさないように学校管理者と打合せの上工程表を作成し、監督員の承諾を得た後、安全に注意し施工すること。
- 騒音、振動の発生する作業は、事前に学校管理者と協議すること。
- 部分的に使用しながらの工事であり、建物利用者の危害防止等には十分な安全・防災対策を立て学校管理者とも協議すること。また、作業員等に工事作業区域外に立ち入らないように徹底すること。
- 工事施工に先立ち、工事の支障となる機器又は移動すべき機器等が発生した場合は、学校関係者と協議すること。
- 工事期間中は、安全作業に努めるとともに、火気にも十分注意して作業すること。
- 工事期間中に休日及び時間外作業をする場合は、事前に学校管理者に連絡し承諾を得て作業を行うこと。
- 工事現場事務所、材料置場及び作業車両の駐車スペースについては監督員、学校管理者と打合せのこと。
- はつり工事のときは、既設の打込配管等に十分注意して施工すること。はつり等を行った場合には原則として原形復旧すること。
- 工事中に範囲外の部分を破損または汚損した場合は、原形復旧すること。
- 発生材の処理については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「再生資源の利用の促進に関する法律」等関係法規に基づき、適正に処分するとともに、マニフェストシステムを適用して管理を行うこと。
- その他、施工や工程等に問題が発生した場合は速やかに監督員に連絡、協議を行うこと。
- 施工に伴い必要となる手続きは、関係機関と協議の上、適切に届出すること。
- 機器類の搬入・搬出においては、学校管理者と協議を行い、安全面に十分配慮して作業を行うこと。
- 施工において、防水性能に影響があると考えられる場合は、監督員と協議を行うこと。
- 石綿含有建材の有無については、別途分析調査を行う予定であるため、事前の現地調査により、分析調査が必要な箇所を監督員と協議すること。分析調査により含有が認められた場合は、適正に処理するものとし、必要と認められる費用については契約変更できるものとする。

伊敷小学校

機械設備

(有) アイケン設備設計

一級建築士事務所 知事登録第 1-6-123 号

一級建築士登録番号 177376 号

渡口 哲郎

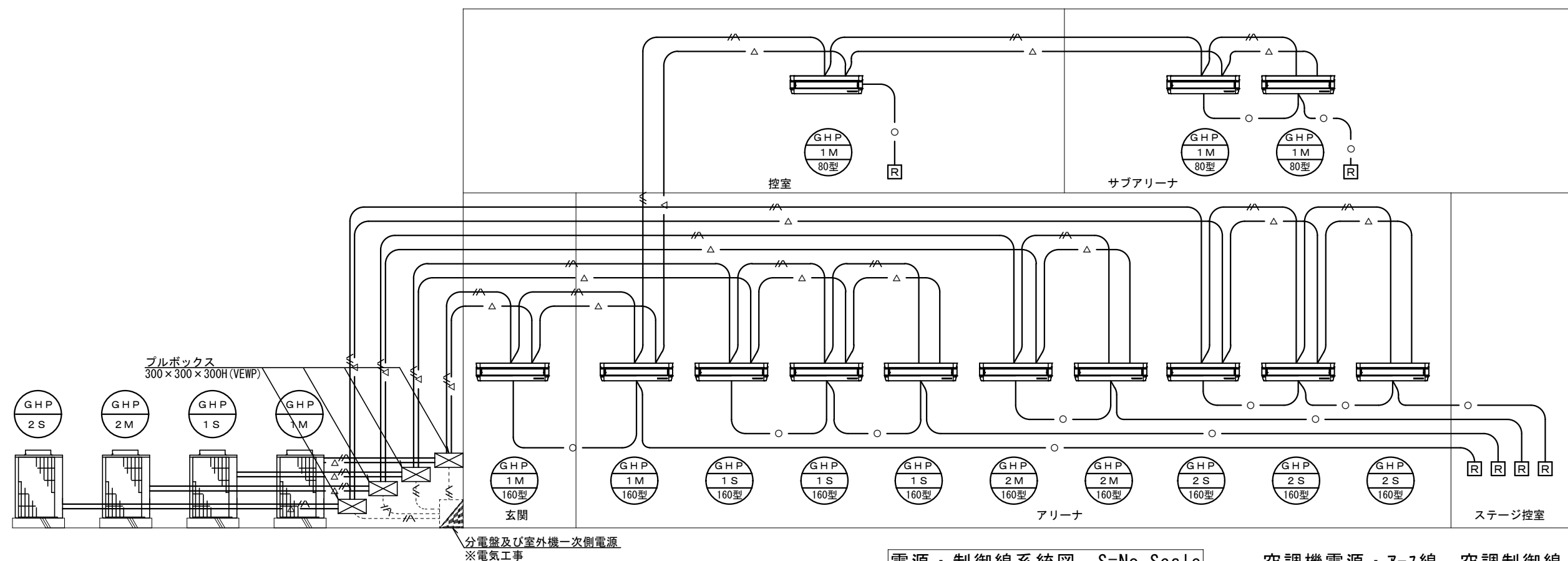
伊敷小学校ほか1校屋内運動場冷暖房その他設備工事

伊敷小学校  
配置図・付近見取り図

A1: 1/400  
A3: 1/800

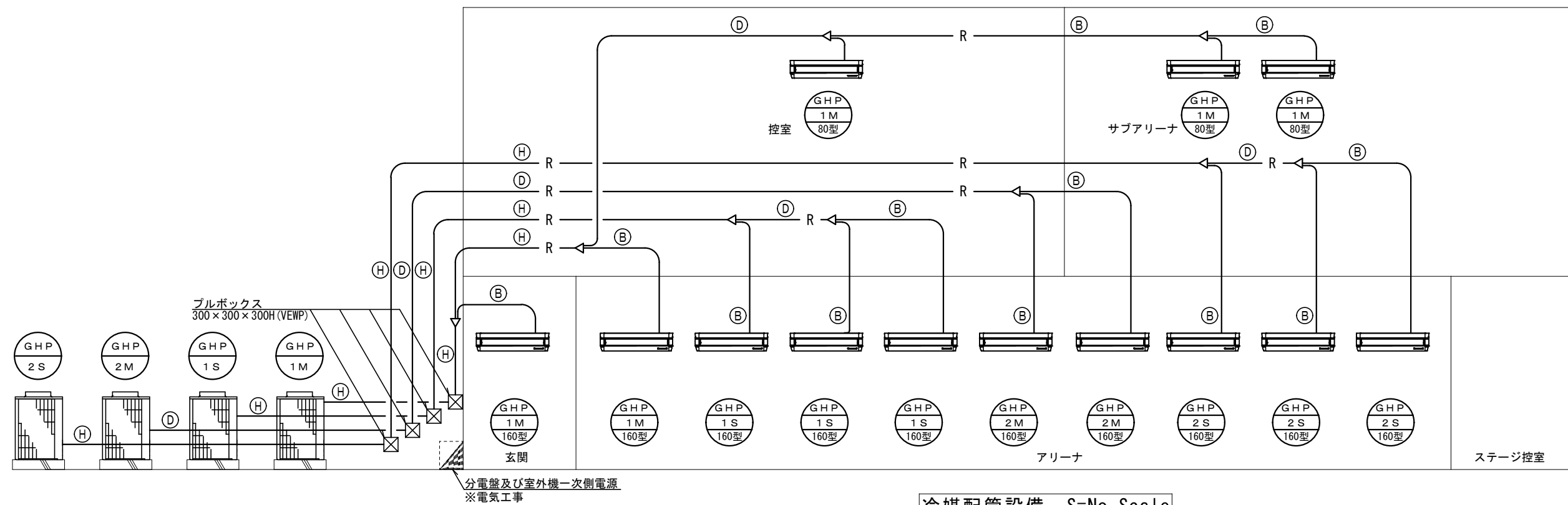
鹿児島市建設局建築部設備課

05/全39



電源・制御線系統図 S=No, Scale

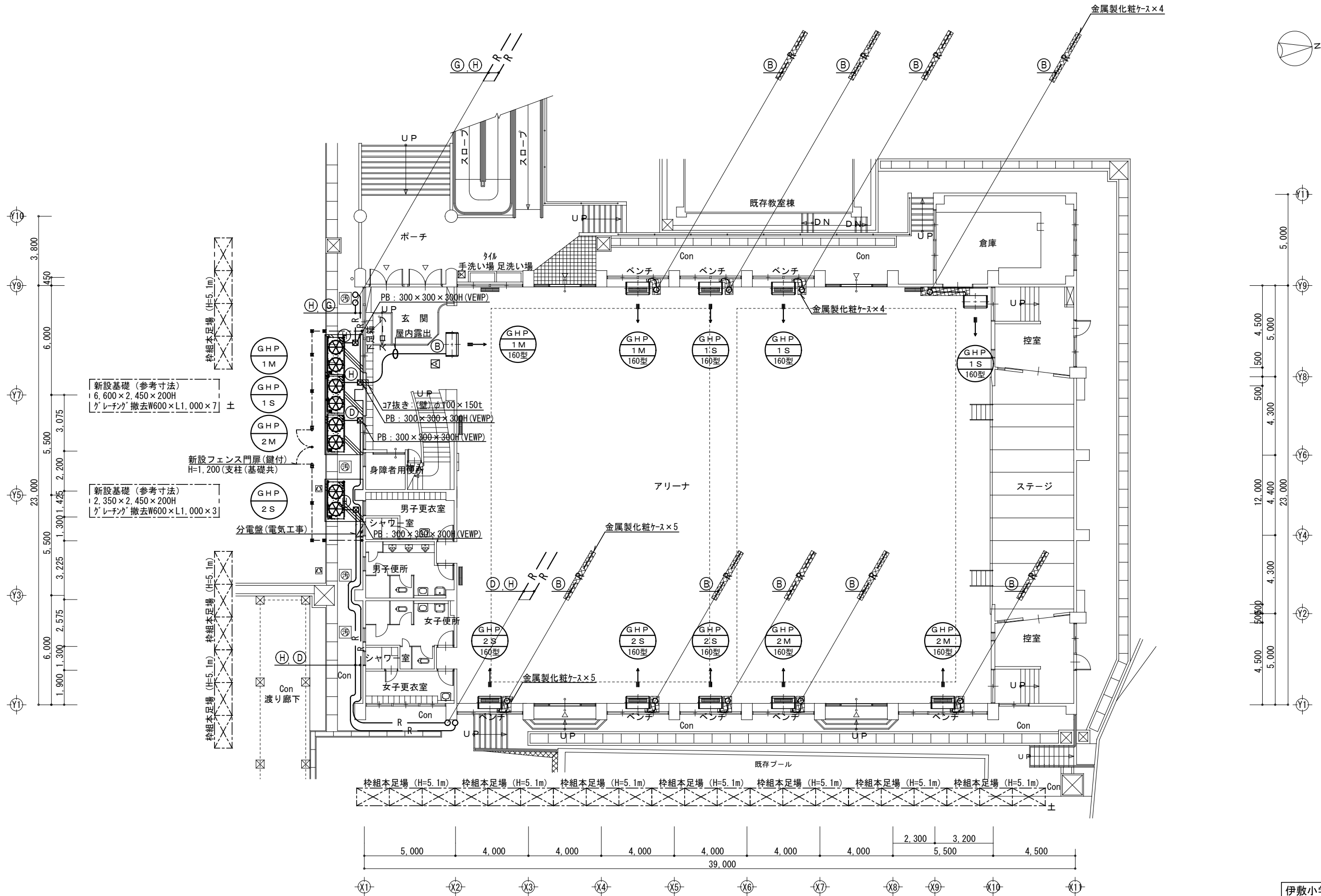
空調機電源・アース線、空調制御線  
は冷媒管同時巻き込みとする。



冷媒配管設備 S=No, Scale

伊敷小学校 機械設備

(有) アイケン設備設計 一級建築士事務所 知事登録第 1-6-123 号 一級建築士登録番号 177376 号 渡口 哲郎	伊敷小学校ほか1校屋内運動場冷暖房その他設備工事	
	伊敷小学校 系統図 (冷媒配管設備、二次電源・制御線設備)	A1: No Scale A3: No Scale
	鹿児島市建設局建築部設備課	



1階平面図 S=1:200

※ 図中の は点検口 (450×450) を示す。

(有) アイケン設備設計

一級建築士事務所 知事登録第 1-6-123 号

一級建築士登録番号 177376 号

渡口 哲郎

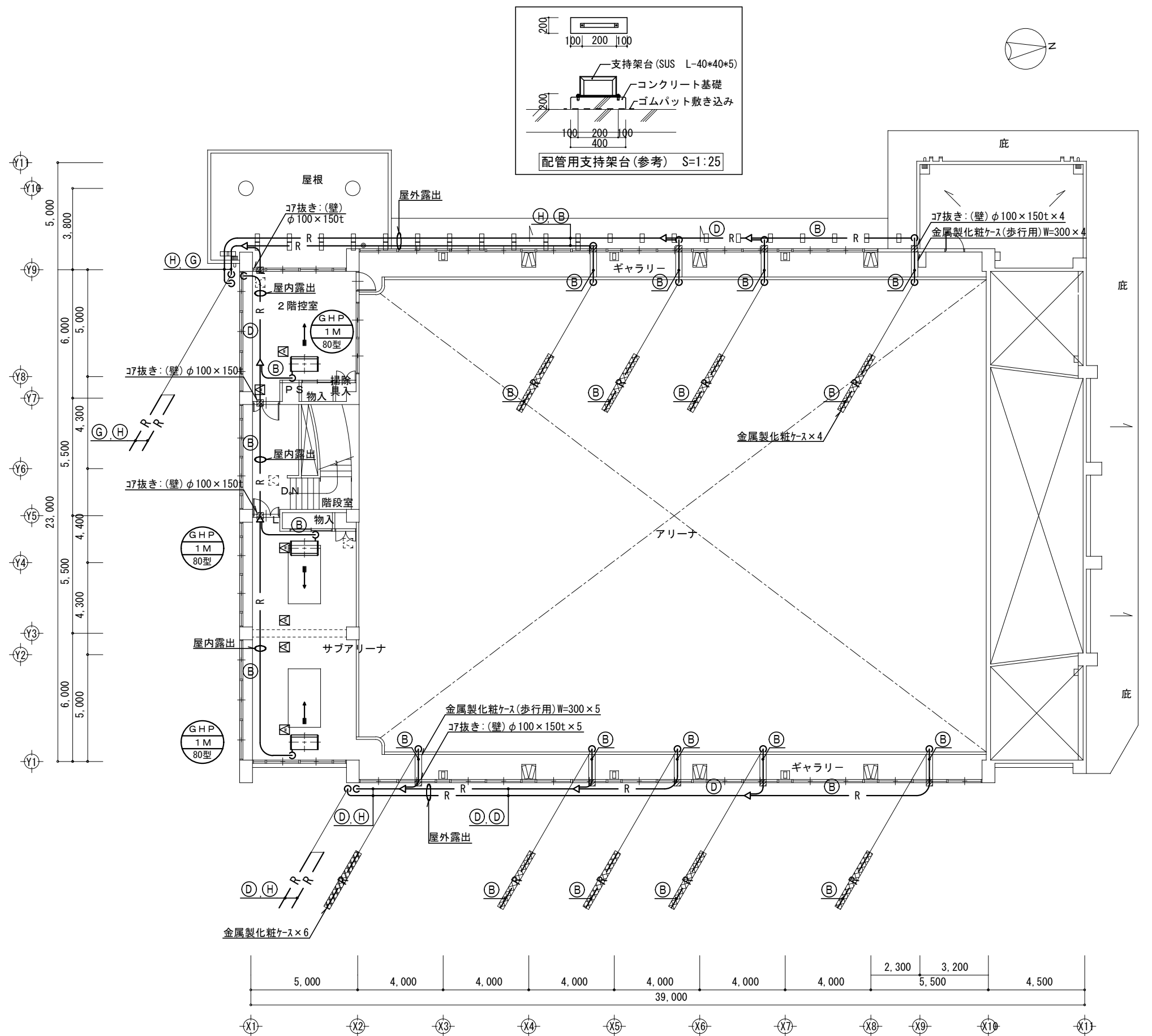
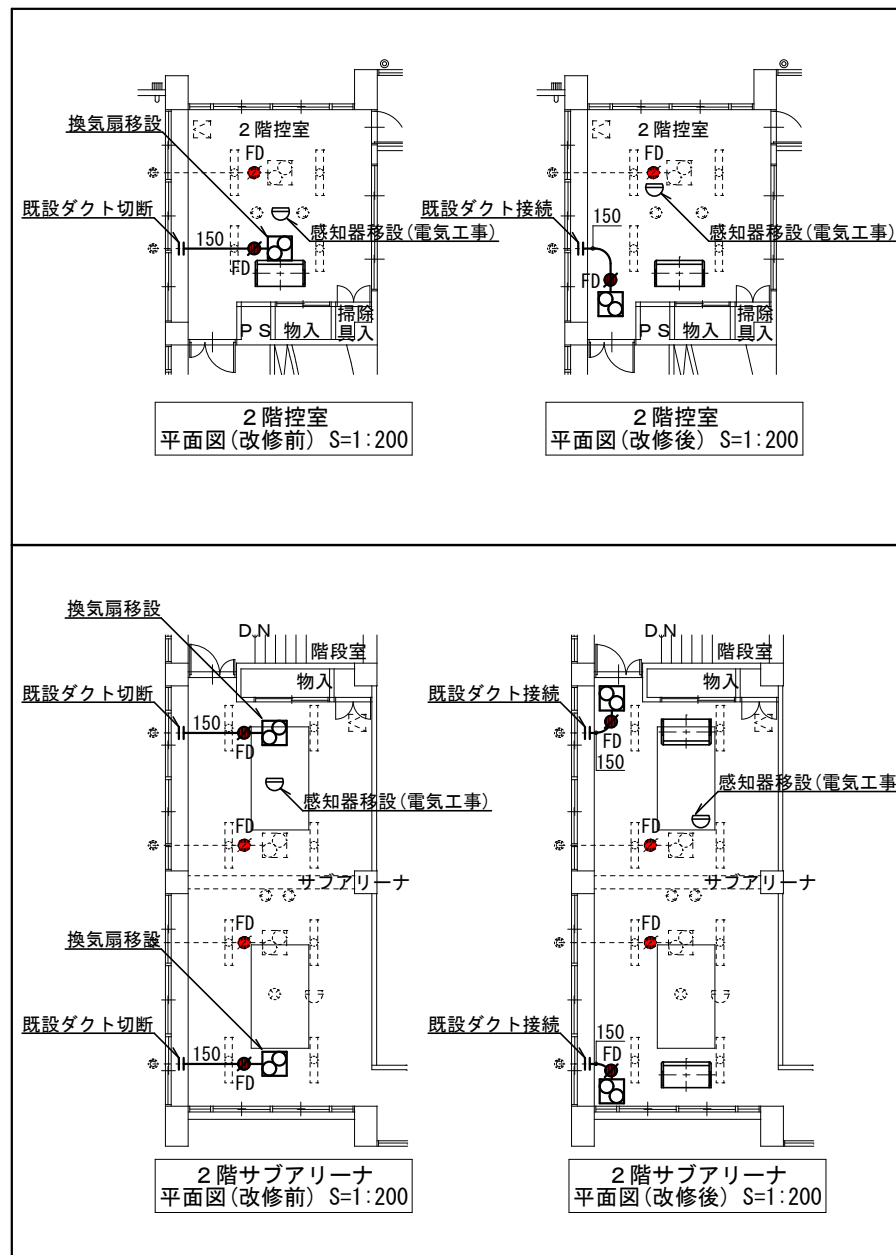
伊敷小学校 機械設備

伊敷小学校ほか1校屋内運動場冷暖房その他設備工事



伊敷小学校 1階平面図  
(冷暖配管設備)

A1: 1/100  
A3: 1/200

鹿児島市建設局建築部設備課



2階平面図 S=1:200

※ 図中の  は点検口 (450×450) を示す。  
 ※ 図中の  は配管用支持架台を示す。

(有) アイケン設備設計

一級建築士事務所 知事登録第 1-6-123 号  
一級建築士登録番号 177376 号  
渡口 哲郎

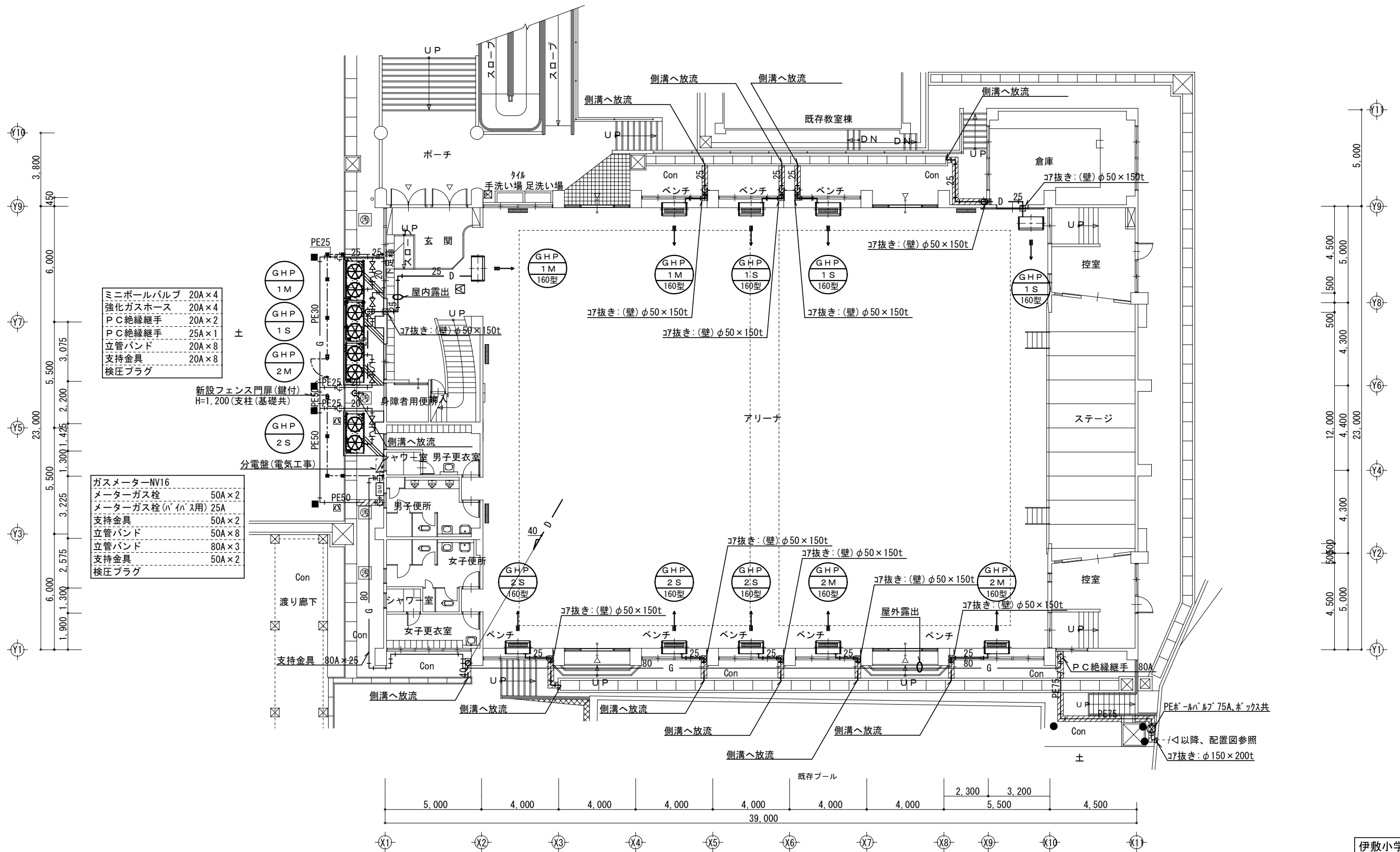
伊敷小学校ほか1校屋内運動場冷暖房その他設備工事

伊敷小学校 2階平面図  
(冷媒配管設備)

A1: 1/100  
A3: 1/200

鹿兒島市建設局建築部設備課








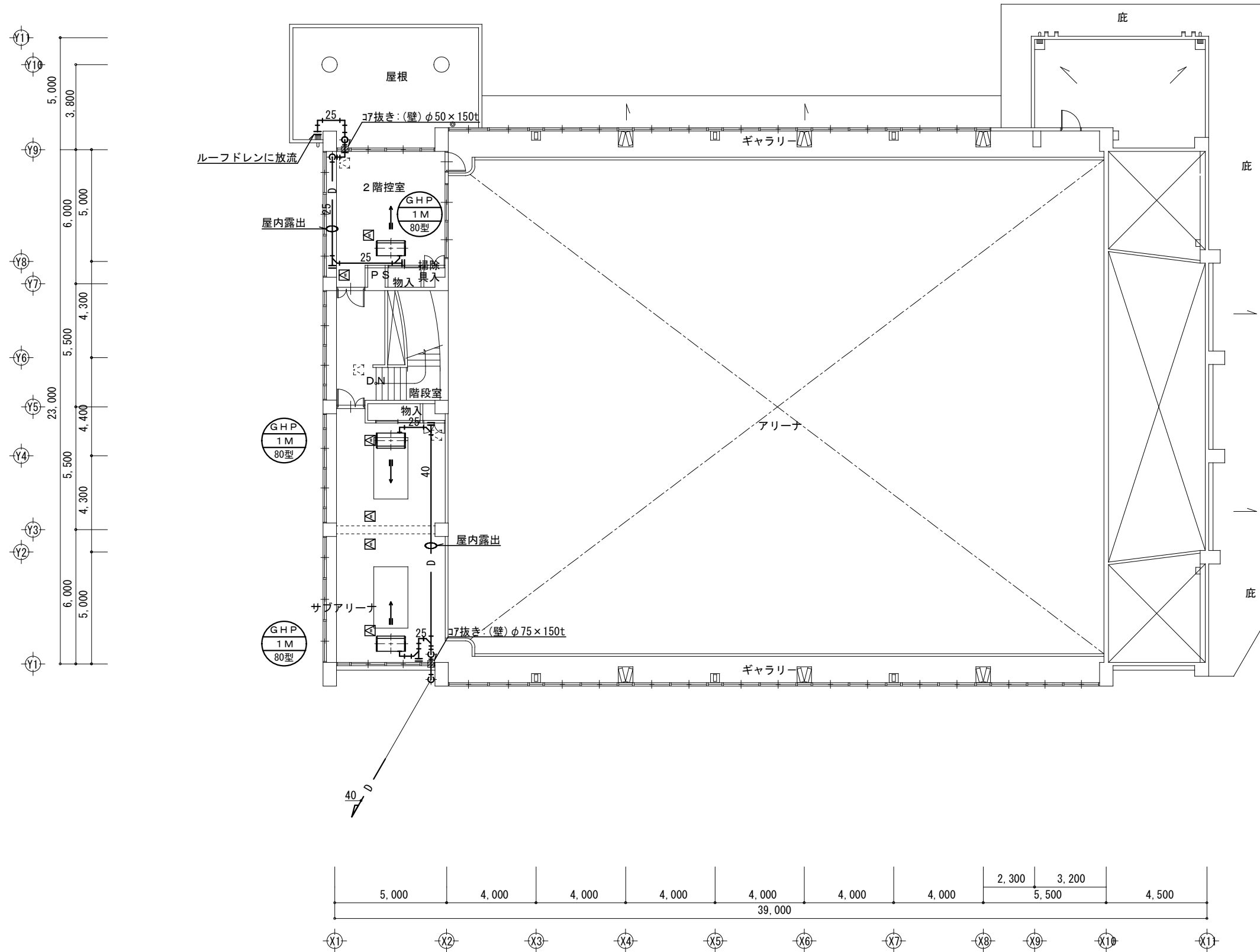
ミニボールバルブ	20A×4
強化ガスホース	20A×4
P C絶縁継手	20A×2
P C絶縁継手	25A×1
立管バンド	20A×8
支持金具	20A×8
検圧プラグ	

ガスメーターNV16	
メーターガス栓	50A×2
メーターガス栓 (ハバノ用)	25A
支持金具	50A×2
立管バンド	50A×8
立管バンド	80A×3
支持金具	50A×2
検圧プラグ	


1 階平面図 S=1:200

- ※ 図中の  はコンクリート新・復旧を示す。
- ※ 図中の  は埋設標部分を示す。
- ※ 図中の  は埋設標柱部分を示す。

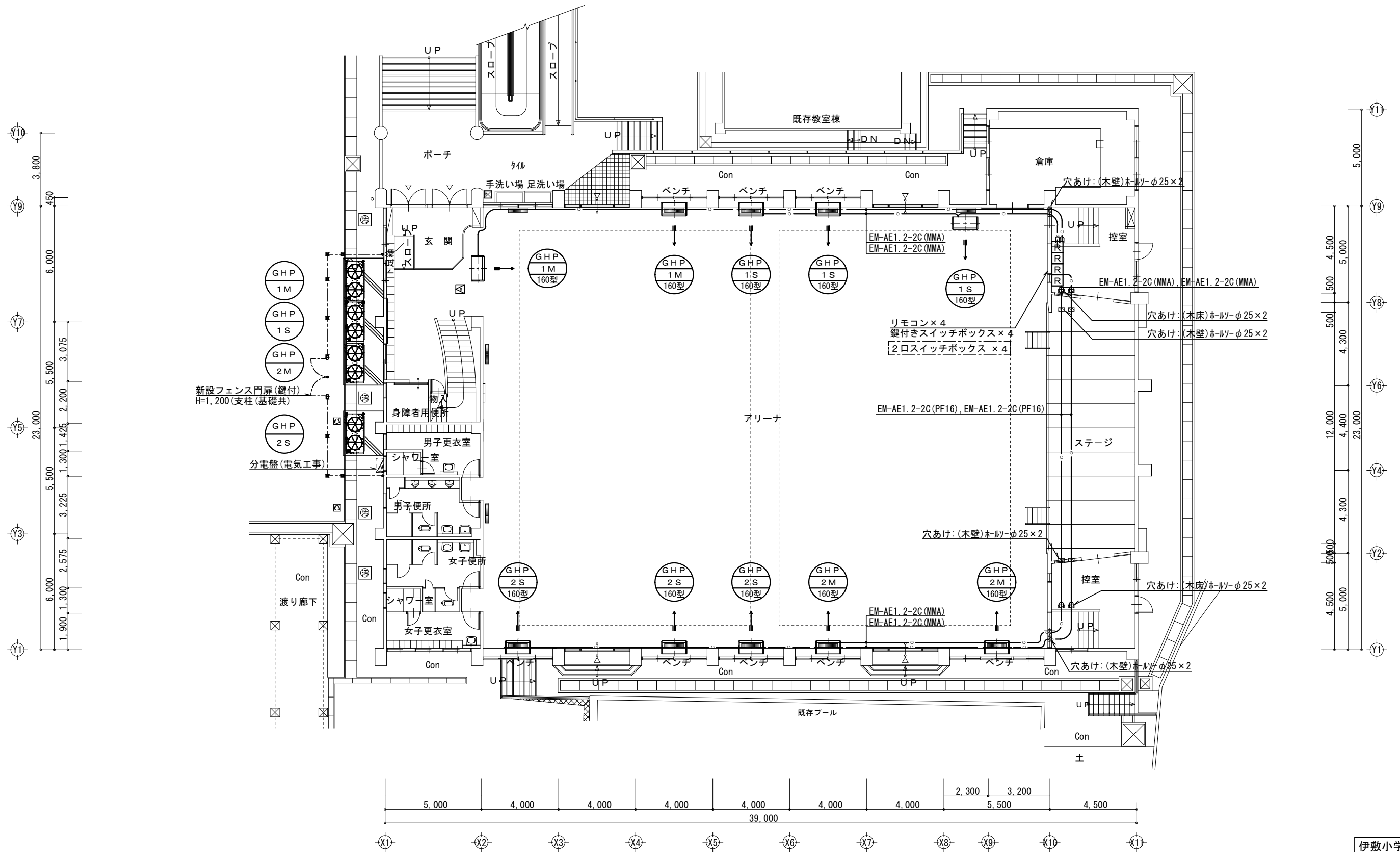
(有) アイケン設備設計  
一級建築士事務所 知事登録第 1-6-123 号  
一級建築士登録番号 177376 号  
渡口 哲郎



2階平面図 S=1:200

※ 図中の  は点検口 (450×450) を示す。

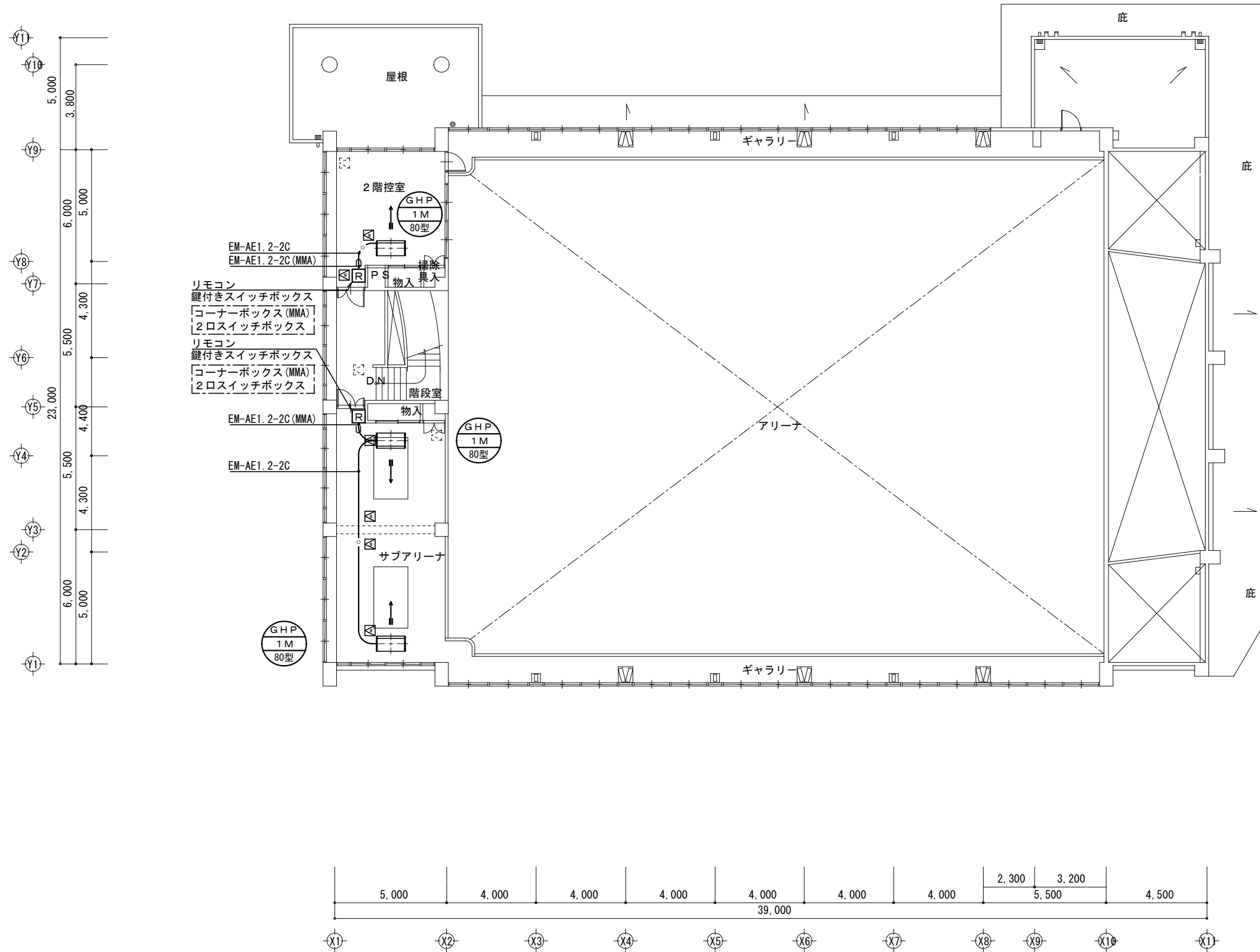
(有) アイケン設備設計 一級建築士事務所 知事登録第 1-6-123 号 一級建築士登録番号 177376 号 渡口 哲郎		伊敷小学校ほか1校屋内運動場冷暖房その他設備工事		10/全39
		伊敷小学校 2階平面図 (ガス・ドレン配管設備)	A1: 1/100 A3: 1/200	
		鹿児島市建設局建築部設備課		




1階平面図 S=1:200

伊敷小学校 機械設備

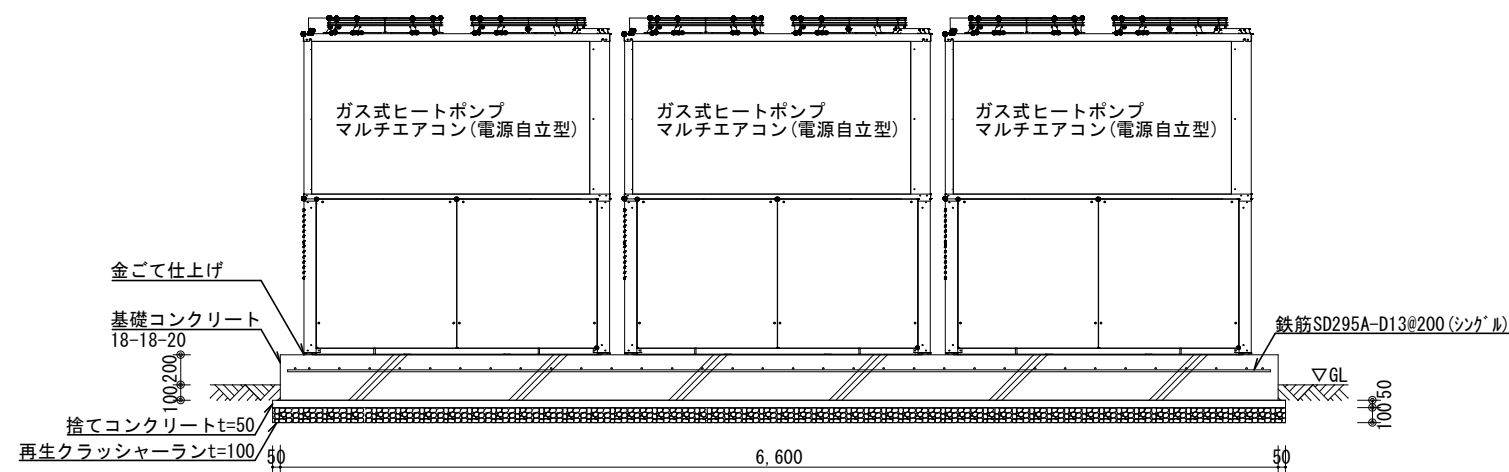
(有) アイケン設備設計		伊敷小学校ほか1校屋内運動場冷暖房その他設備工事		
一級建築士事務所 知事登録第 1-6-123 号 一級建築士登録番号 177376 号 渡口 哲郎	伊敷小学校 1階平面図 (二次電源・制御線設備)	A1: 1/100 A3: 1/200	11/全39	
		鹿児島市建設局建築部設備課		



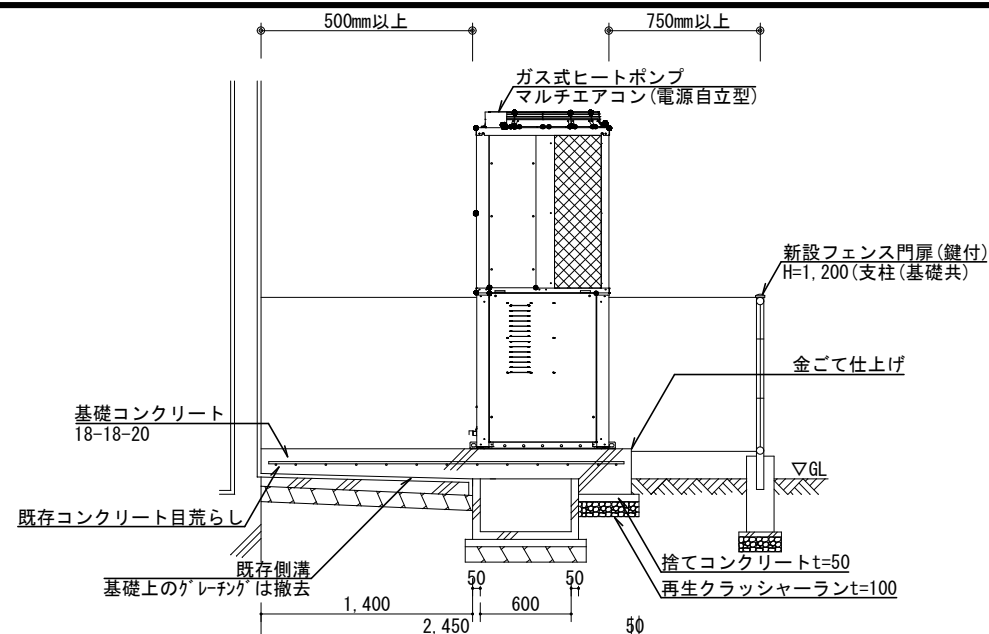
2階平面図 S=1:200

※ 図中の  は点検口 (450×450) を示す。

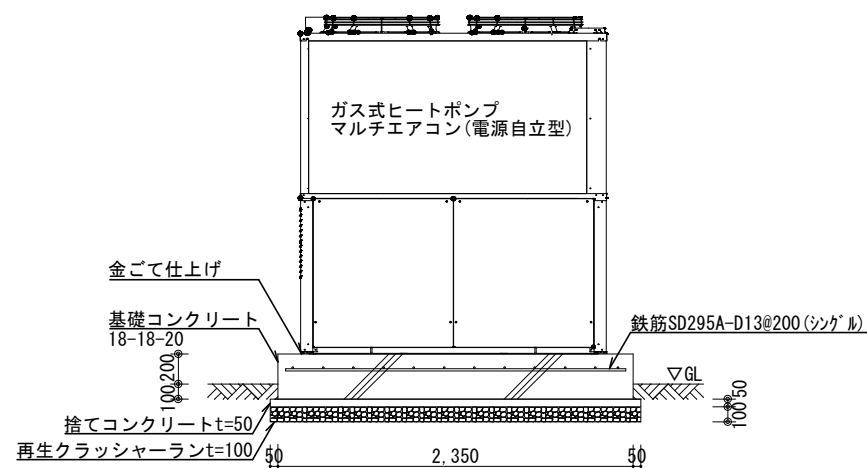
伊敷小学校		機械設備	
(有) アイケン設備設計		伊敷小学校ほか1校屋内運動場冷暖房その他設備工事	
一級建築士事務所 知事登録第 1-6-123 号		伊敷小学校 2階平面図	A1: 1/100
一級建築士登録番号 177376 号		(二次電源・制御線設備)	A3: 1/200
渡口 哲郎		鹿児島市建設局建築部設備課	



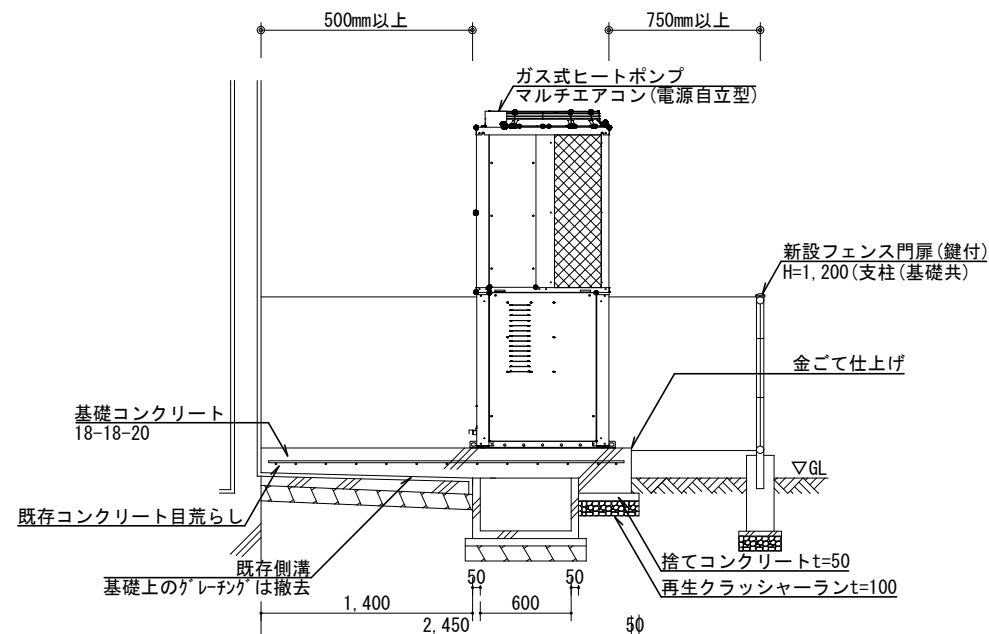
GHP-1M・1S・2M基礎断面詳細図(1) S=1:50



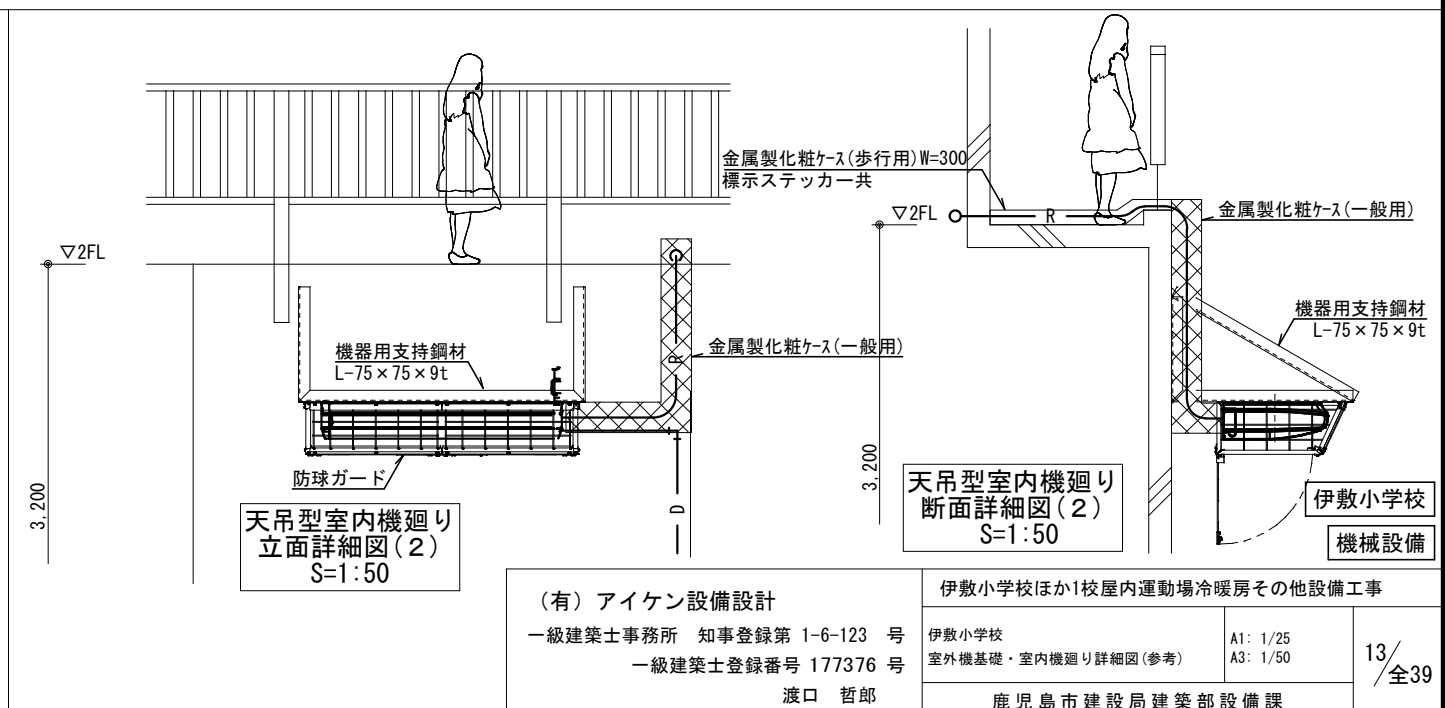
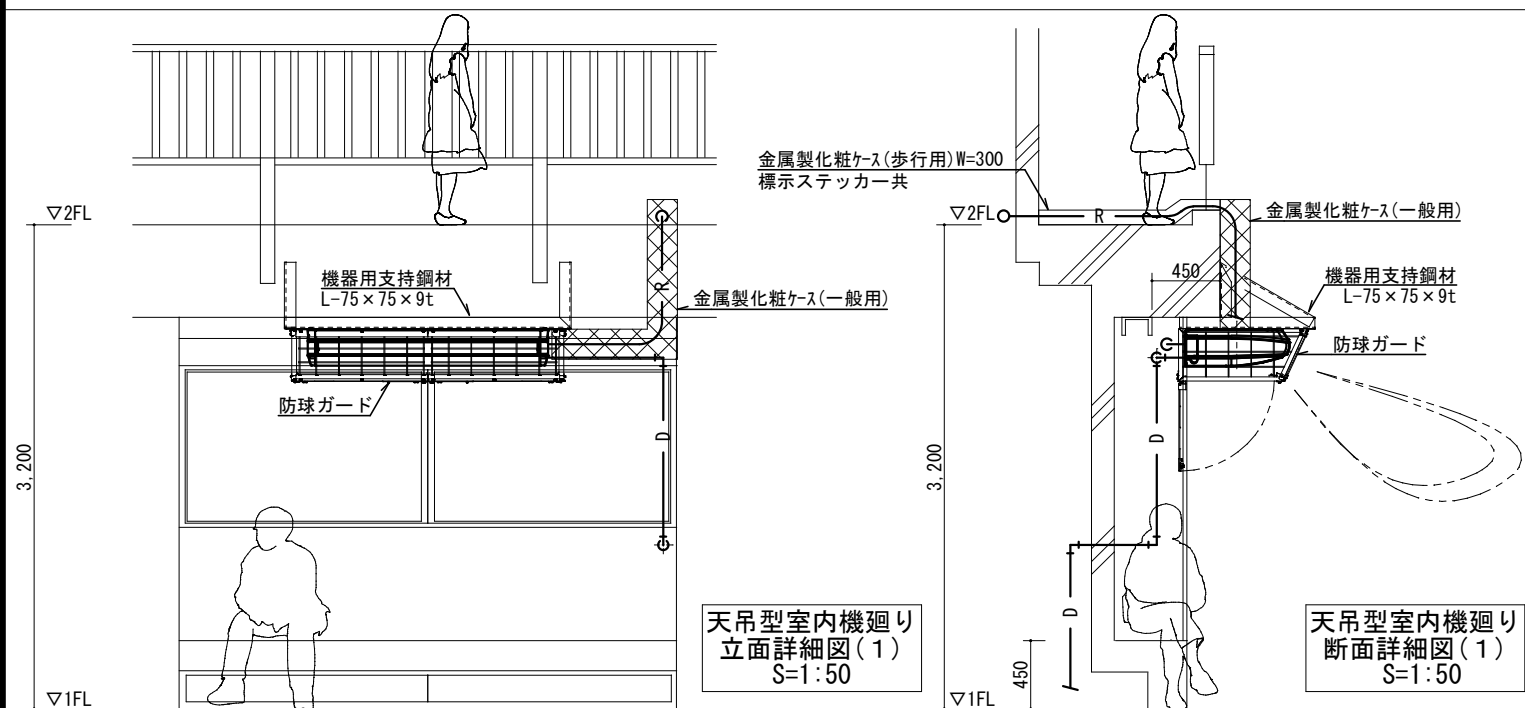
GHP-1M・1S・2M基礎断面詳細図(2) S=1:50



GHP-2S基礎断面詳細図(1) S=1:50



GHP-2S基礎断面詳細図(2) S=1:50





特記事項（令和８年度）

対 象 学 校 名	工 事 場 所	冷 暖 房 面 積
玉江小学校	鹿児島市下伊敷一丁目３５番１号	760m <sup>2</sup>

- I 一般事項
- 本特記事項は、鹿児島市立の小、中学校の屋内運動場における冷暖房設備工事の施工に適用する。
  - 本工事の使用資材の品質、規格、種別等は本特記による。また、監督員に承諾図を提出すること。

- II 区分表
- 本工事における工事区分は、下記の通りとする。

区 分	機械設備	電気設備	備 考
室外機基礎設置及びフェンス工事	○		
空調機分電盤及び一次側配線配管		○	
室外機一次側電源工事		○	一次側端子接続まで（アース線含む）
室外機間（主機～従機）配線配管		○	
室内外機間電源線・操作線	○		冷媒配管に同時巻き
リモコンスイッチ及び配線配管	○		露出部の配管はメタルモールとする。
自立運転スイッチ及び配線配管		○	スイッチは機械設備より支給
非常用コンセント及び配線配管		○	
外部足場・内部足場	○		
天井材撤去及び復旧・天井点検口の設置及び開口補強	○	○	
照明・自火報感知器の移設		○	

2. 凡 例

名 称	記 号	管 種	備 考	
冷 媒 管	— R —	断熱材被覆銅管（ポリエチレンフォーム保温筒２種）		
ド レ ン 管	— D —	硬質ポリ塩化ビニル管 VP	屋内露出、屋内隠蔽	
		配管用炭素鋼鋼管（白） SGP	屋外露出、屋外埋設 屋内露出（アリーナ）	
排 気 ド レ ン 管	— H —	耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 HTVP	屋外露出	
ガ ス 管	— G —	ガス用ポリエチレン管 PE	都市ガス	屋外埋設
		硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS（黒）		屋外露出
		硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS（黒）	プロパン	屋外埋設
		硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS（白）		屋外露出
空調機電源・アース線	— // —	EM-EEF 2.0-3G(1G:E)	冷媒管同時巻き込み	
空 調 機 制 御 線	— △ —	EM-CEES 1.25sq-2G	冷媒管同時巻き込み	
リ モ コ ン 線	— ○ —	EM-AE（メーカー標準品） 1.2-2G		
高 機 能 リ モ コ ン	<span style="border: 1px solid black;">R</span>	ワイヤードリモコン（メーカー品）	鍵付きボックス共	

※リモコン線の冷媒管同時巻き込みについては、電源線と接触させないものとする。

3. 配管・配管保温・塗装仕様

記号	液管	ガス管	保温化粧ケース		
			樹脂製		金属製
			SD	PD	RD
Ⓐ	φ 6.4	φ 12.7	100×70	120φ	150×110
Ⓑ	φ 9.5	φ 15.9			
Ⓒ	φ 9.5	φ 19.1			
Ⓓ	φ 9.5	φ 22.2	140×80		
Ⓔ	φ 9.5	φ 25.4			
Ⓕ	φ 12.7	φ 25.4			
Ⓖ	φ 12.7	φ 28.6			
Ⓗ	φ 15.9	φ 28.6			
Ⓘ	φ 19.1	φ 31.8			

施 工 箇 所	空 調		備 考
	冷媒管	ドレン管	
天井内、PS内、暗渠	A	E	
屋内露出	B	F	
屋内露出（アリーナ）	D	F	
屋外露出	C	G	
屋外埋設	－	H	
保温・塗装仕様詳細	A テープ巻き（1m毎） B 保温化粧ケース・樹脂製（SD） C 保温化粧ケース・樹脂製（PD） D 保温化粧ケース・金属製（RD） E 保温チューブ（ライトカバー） F ポリスチレン（合成樹脂カバー2） G 合成樹脂調合ペイント2回塗 H 防食テープ巻き		

4. GHP異能力マルチ室外機仕様書

名 称	馬 力 HP	冷暖房能力 kW(RT)	電源 V 消費電力 kW	燃料消費量 kW	室外機型式・メーカー名 (参考)	基礎参考寸法（地上） W×L×H
ガス式 ヒートポンプ マルチエアコン （電源自立型）	20.0HP	冷房:56.0kW 暖房:63.0kW (6.30RT)	単相200Vまたは 三相200V 1.33kW以下	49.2kW以下	YBZP560L1DBM(S)	ヤンマー
					YBZP560L1DBM(S)	
					U-GB(X)560U1D	パナソニック
					U-GB(X)560U1D	
					GSHDP560DM(S)	ダイキン
					GSHDP560DM(S)	
					ABGP560F2ND	アイシン
					ABGP560F2PD	

注1) ガス式ヒートポンプマルチエアコン（電源自立型）は、メーカー最上位機種とする。

注2) 表中上段型式は都市ガス（13A）・下段型式はLPガス用

注3) 表中の寸法は参考とする。

5. GHP機器数量表

No.	室 名	設置 階数	室 内 機						室 外 機									
			台数	型式	仕 様	防球 ガード	ドレンアップ		台数	記号	仕 様		塗 装 仕 様			電 源		ガス種別
							要	不要			主機	従機	標準	耐塩	重耐塩	单相	三相	
1	屋内運動場	1	3	160型	天吊	A	○		1	GHP-1M	○		○			○		都市ガス
2	屋内運動場	1	2	160型	天吊	A	○		1	GHP-1S		○	○			○		都市ガス
	卓球室	2	2	112型	天吊	-		○										
3	屋内運動場	1	3	160型	天吊	A	○		1	GHP-2M	○		○			○		都市ガス
合計数量			10						3									

防球ガード仕様詳細	室内機・室外機組合せ確認 (0.5<室内機容量／室外機容量<1.0)
A 天吊形室内機用防球ガード（天井設置）	No.1 : 48.0 ／ 56.0 = 0.857 → OK
B 天吊形室内機用防球ガード（一部天井設置、上部ガード及び架台含む）	No.2 : 54.4 ／ 56.0 = 0.971 → OK
C 天吊形室内機用防球ガード（壁設置、上部ガード及び架台含む）	No.3 : 48.0 ／ 56.0 = 0.857 → OK

- III 特記仕様

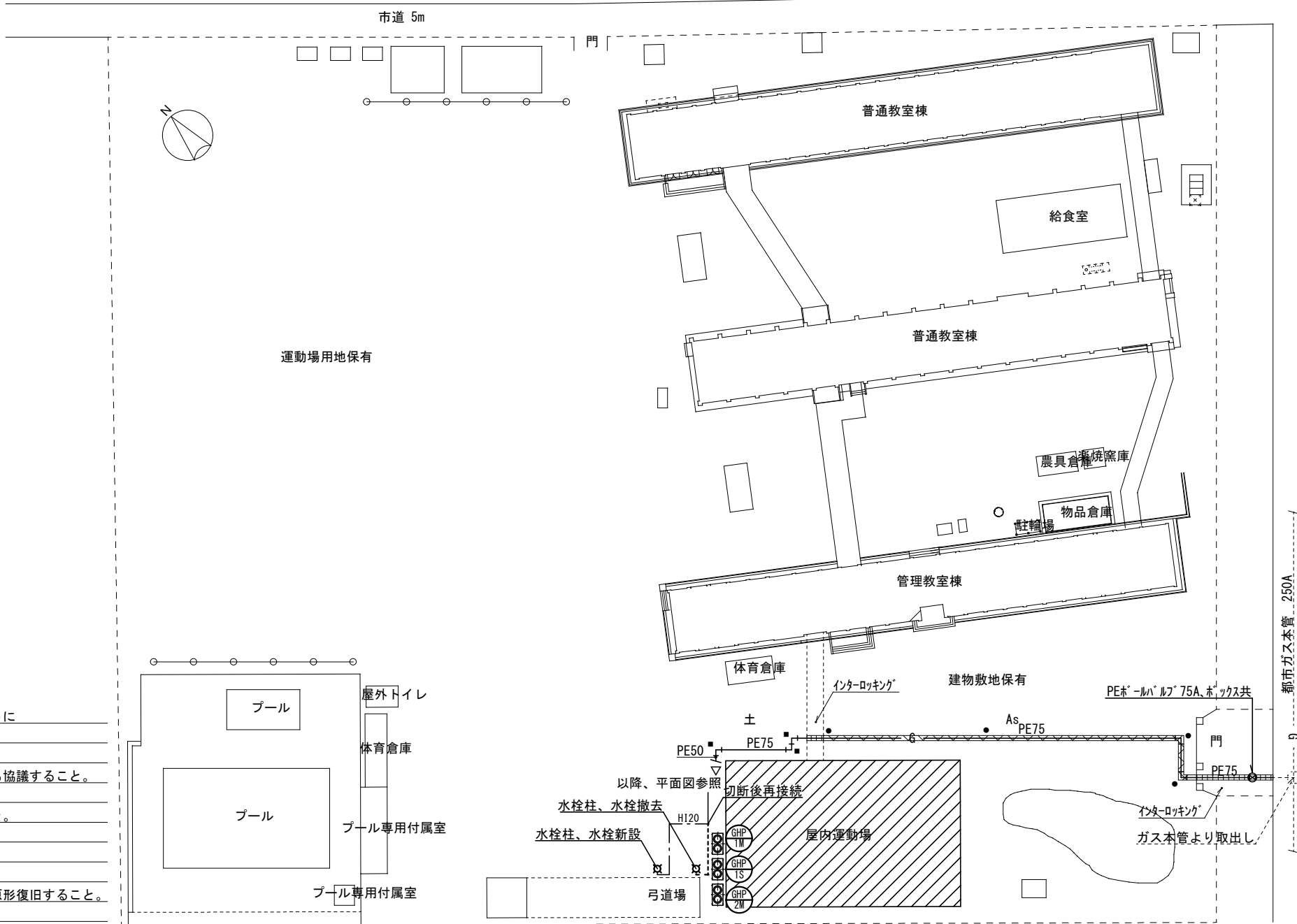
- 本工事の冷暖房方式はガスエンジンヒートポンプ方式（GHP）とする。
- 機器仕様
  - メーカー標準仕様とし、機器仕様一覧表の仕様を満足するものとする。
  - 室内機にドレンアップメカを採用する場合は、原則として室内機内蔵型とする。
  - アリーナ部設置の天吊型室内機には、メンテナンス点検口付き防球ガードを設置すること。
  - 冷媒はR410とする。
  - 室外機は全て、臭気低減機能及び排気ドレン中和装置（ドレンフィルター）付きとする。  
なお、排気口は火山灰流入を低減する対策（SUS製、横向き開放）を行うこと。
  - アンカーボルトはステンレス製とする。
- 室外機は地上設置とし、コンクリート基礎に防振ゴム（t = 15mm）を介して設置する。
- フェンスはメッシュフェンス（H=1,200）同等品以上とし、最低１箇所以上施錠付きのドアを設けること。  
なお、防音フェンスを設ける場合は、図示による。
- ガス工事については、都市ガス供給区域においては日本ガス㈱、ガス小売事業区域についてはガス小売事業所にて施工することとし、それ以外の区域においては、特定液化石油ガス設備工事届を提出している事業所にて施工すること。
- 防火区画貫通処理は国土交通省大臣認定工法とする。
- 配管の外壁貫通箇所等は、確実に補修を行い水密を確保すること。
- 屋内隠蔽配管で、点検口付近の冷媒配管及びドレン管には、その管種を記入すること。
- 外部足場については、手すり先行枠組本足場とする。ネット状養生シート、足場金網等の防護柵を設置すること。
- 屋上等高所での作業時は、墜落制止用器具を着用し安全対策を実施すること。
- 高さ10m以上の足場設置（組立～解体60日未満は除く）に伴う設置届を設置の30日前までに労働基準監督署へ届け出ること。機械設備
- 天井取付の機器及び配管等の作業時は、内部仕上足場（脚立足場等）を使用し、安全を確保すること。
- 機器等の調達遅延を含め、受注者の責めによらない事由により、工程に影響が生じる場合には、工事の一時中止や工期延長について発注者と協議すること。なお、工事を全面的に一時中止している期間は、監理技術者等の専任を要しない期間とする。

伊敷小学校ほか1校屋内運動場冷暖房その他設備工事		
特記事項	No Scale	1 4
鹿児島市建設局建築部設備課		全 3 9



## 注記

- 本工事着手前に現地調査を十分に行い、使用中の学校との取り合いを配慮し、学校運営に支障をきたさないように学校管理者と打合せの上工程表を作成し、監督員の承諾を得た後、安全に注意し施工すること。
- 騒音、振動の発生する作業は、事前に学校管理者と協議すること。
- 部分的に使用しながらの工事であり、建物利用者の危害防止等には十分な安全・防災対策を立て学校管理者とも協議すること。また、作業員等に工事作業区域外に立ち入らないように徹底すること。
- 工事施工に先立ち、工事の支障となる機器又は移動すべき機器等が発生した場合は、学校関係者と協議すること。
- 工事期間中は、安全作業に努めるとともに、火気にも十分注意して作業すること。
- 工事期間中に休日及び時間外作業をする場合は、事前に学校管理者に連絡し承諾を得て作業を行うこと。
- 工事現場事務所、材料置場及び作業車両の駐車スペースについては監督員、学校管理者と打合せのこと。
- はつり工事のときは、既設の打込配管等に十分注意して施工すること。はつり等を行った場合には原則として原形復旧すること。
- 工事中に範囲外の部分を破損または汚損した場合は、原形復旧すること。
- 発生材の処理については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「再生資源の利用の促進に関する法律」等関係法規に基づき、適正に処分するとともに、マニフェストシステムを適用して管理を行うこと。
- その他、施工や工程等に問題が発生した場合は速やかに監督員に連絡、協議を行うこと。
- 施工に伴い必要となる手続きは、関係機関と協議の上、適切に届出すること。
- 機器類の搬入・搬出においては、学校管理者と協議を行い、安全面に十分配慮して作業を行うこと。
- 施工において、防水性能に影響があると考えられる場合は、監督員と協議を行うこと。
- 石綿含有建材の有無については、別途分析調査を行う予定であるため、事前の現地調査により、分析調査が必要な箇所を監督員と協議すること。分析調査により含有が認められた場合は、適正に処理するものとし、必要と認められる費用については契約変更できるものとする。



配置図 S=1:800

- ※ 図中の はアスファルト取壊し・復旧を示す。
- ※ 図中の はインターロッキング取外し・復旧を示す。
- ※ 図中の は埋設標部分を示す。
- ※ 図中の は埋設標柱部分を示す。

(有) アイケン設備設計

一級建築士事務所 知事登録第 1-6-123 号

一級建築士登録番号 177376 号

渡口 哲郎

伊敷小学校ほか1校屋内運動場冷暖房その他設備工事

玉江小学校  
配置図・付近見取り図

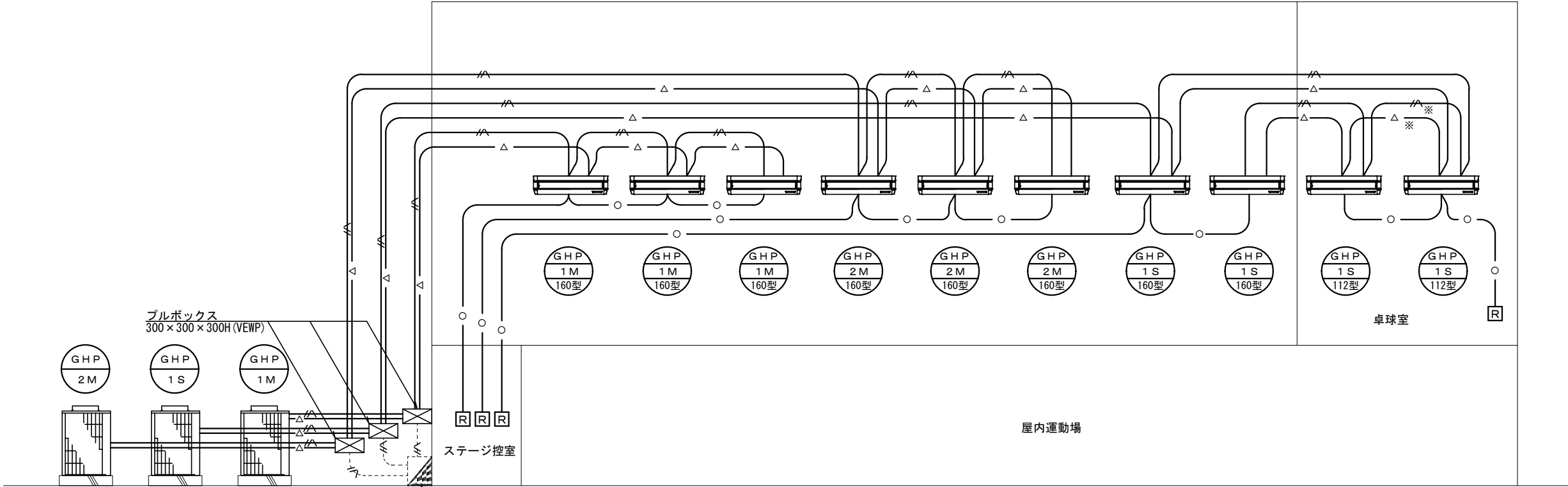
A1: 1/400  
A3: 1/800

鹿児島市建設局建築部設備課

15/全39

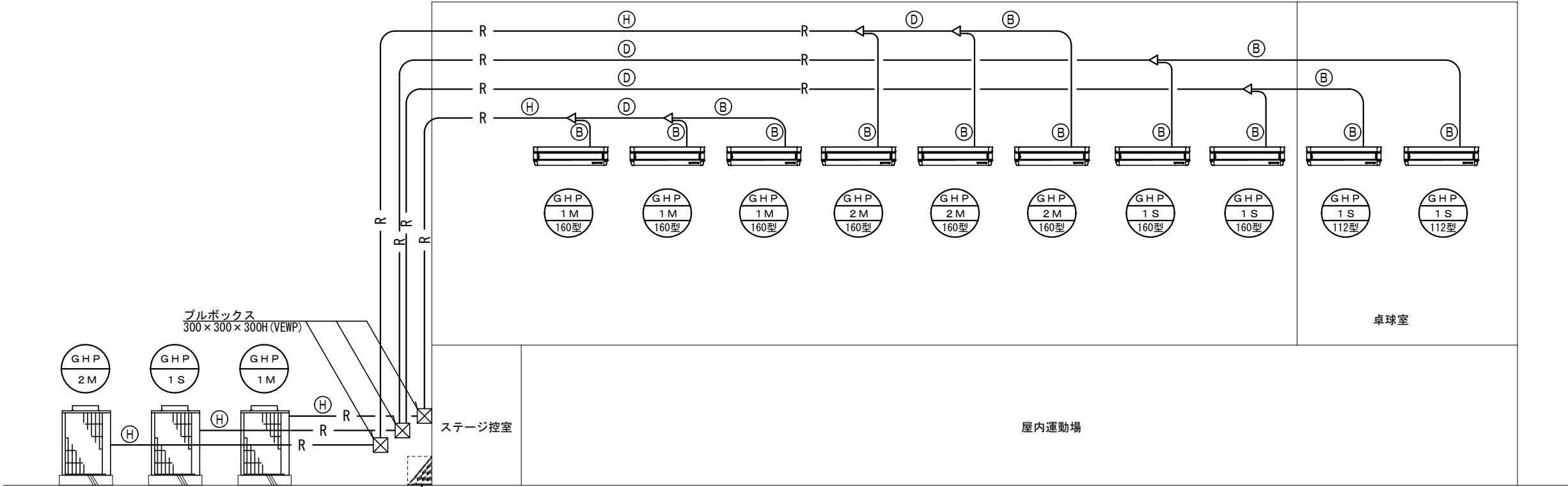
玉江小学校

機械設備

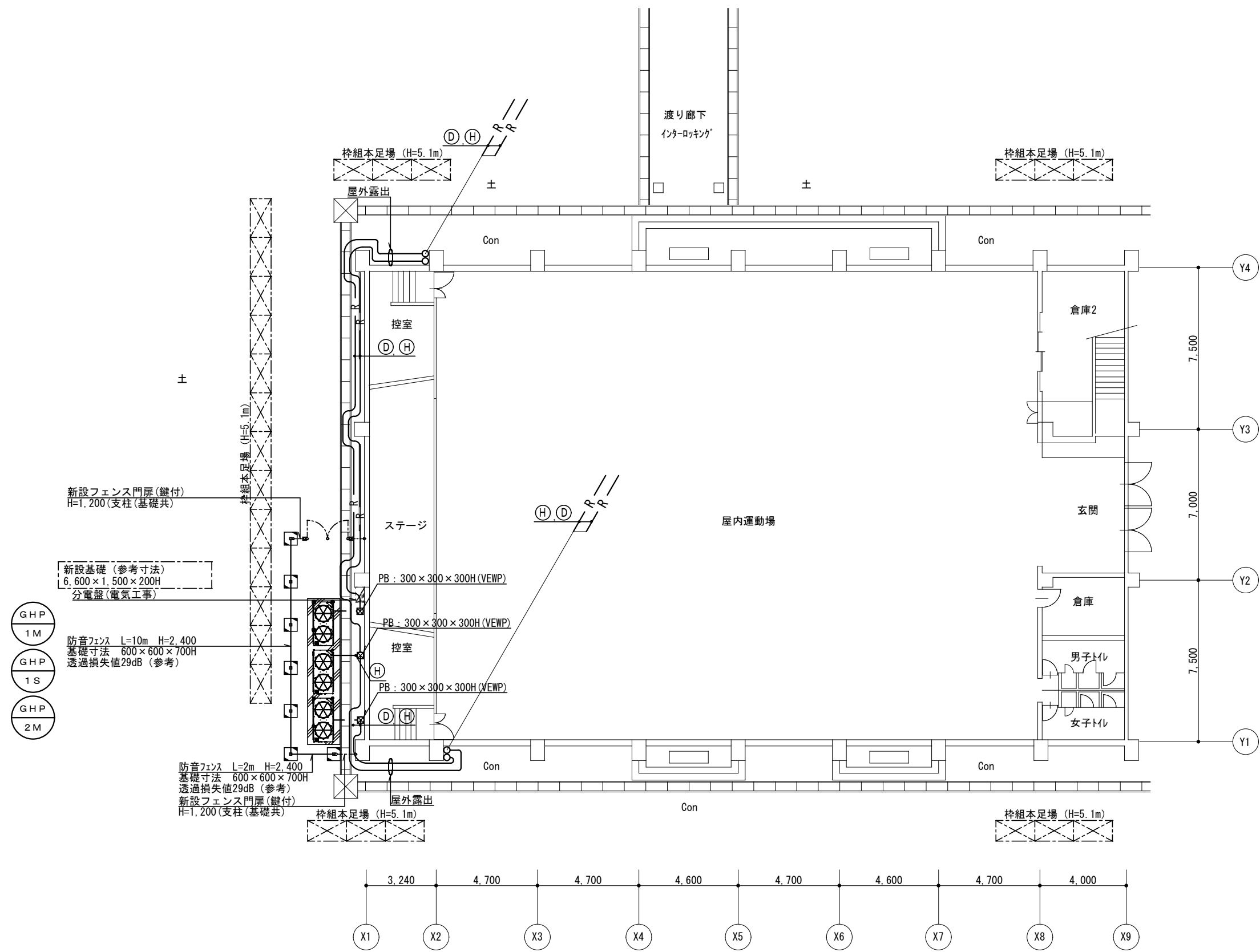


電源・制御線系統図 S=No, Scale

空調機電源・7-λ線、空調制御線は冷媒管同時巻き込みとする。  
注)※は除く。

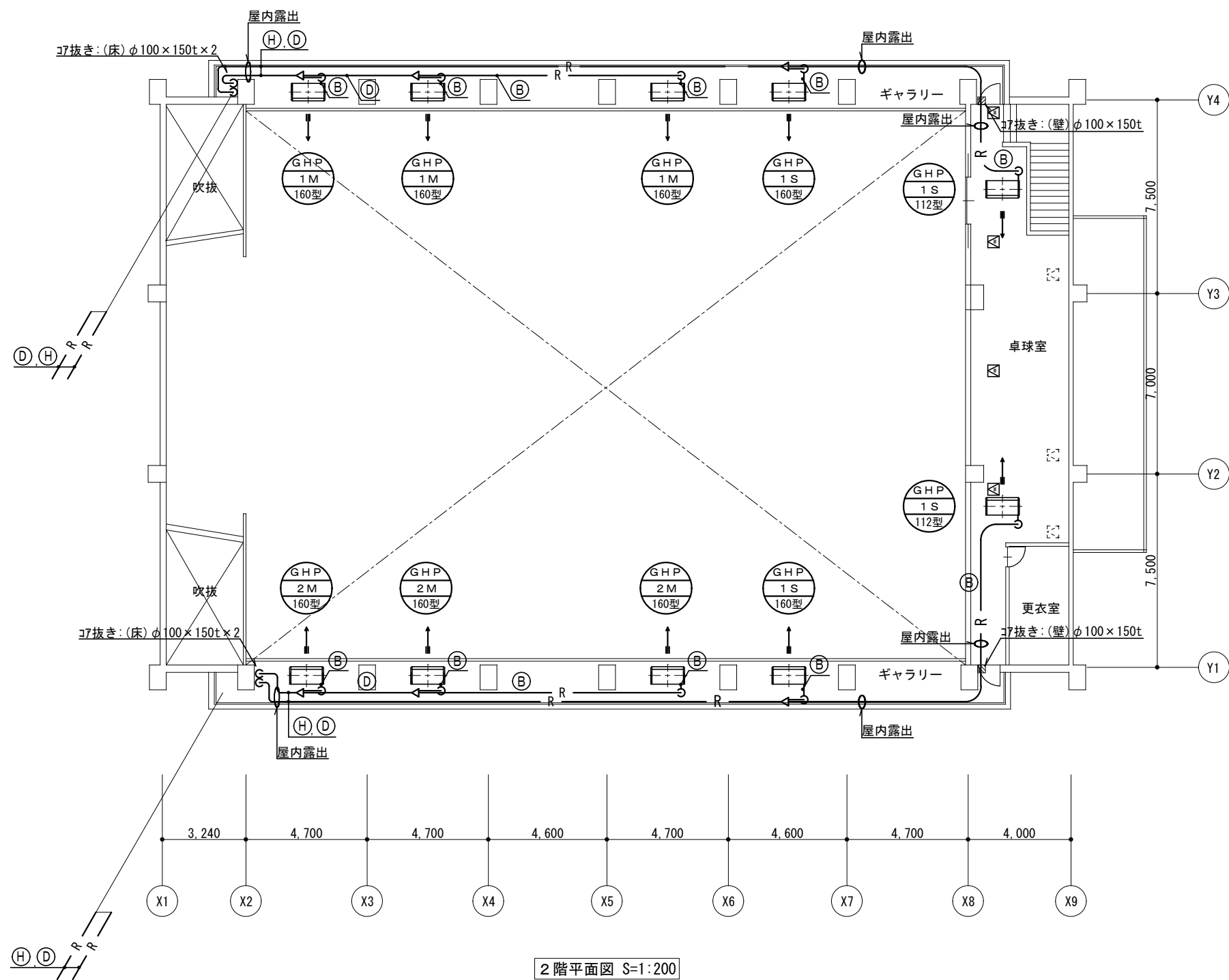


冷媒配管設備 S=No, Scale



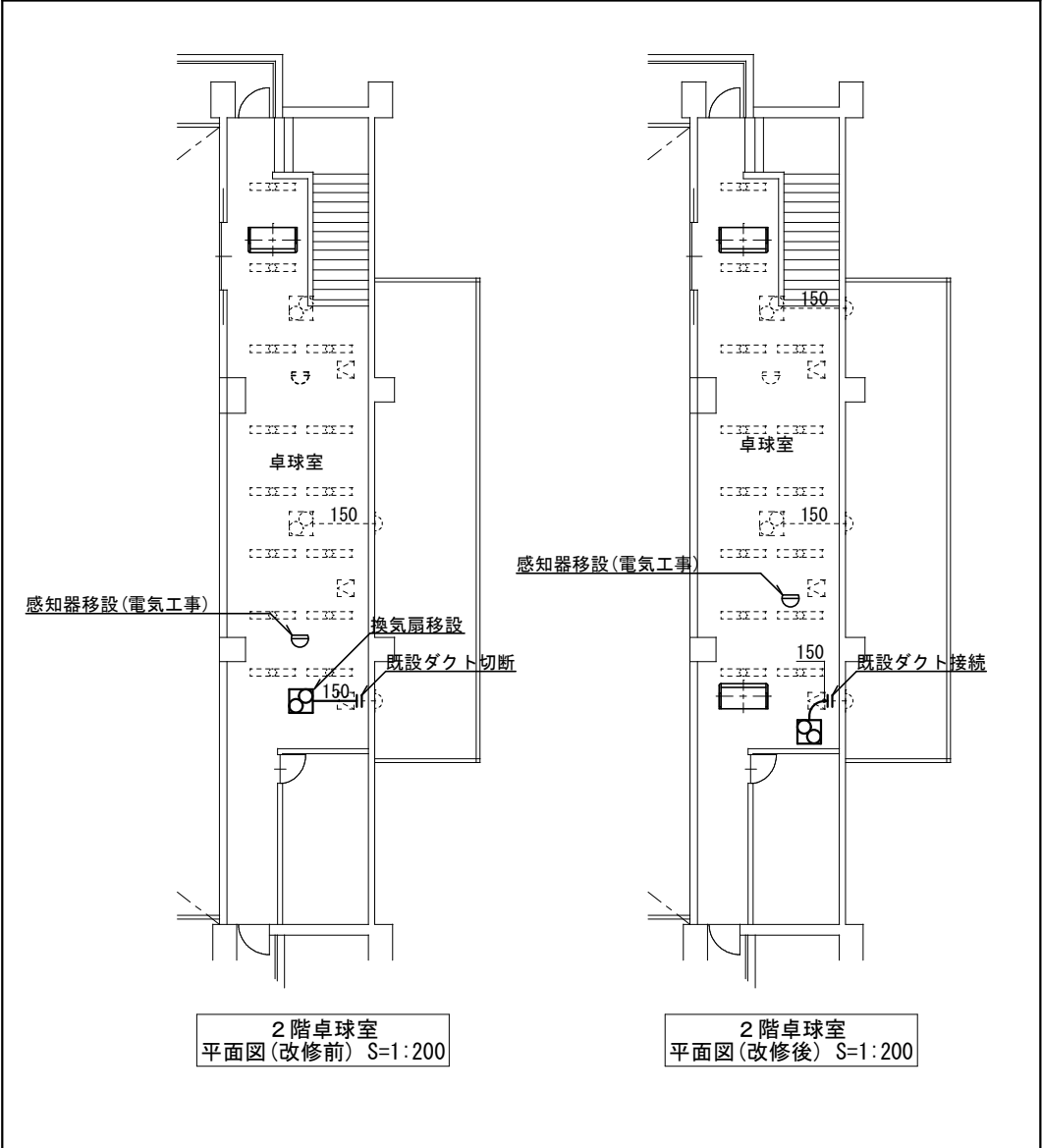
1 階平面図 S=1:200

(有) アイケン設備設計 一級建築士事務所 知事登録第 1-6-123 号 一級建築士登録番号 177376 号 渡口 哲郎		伊敷小学校ほか1校屋内運動場冷暖房その他設備工事 玉江小学校 1 階平面図 (冷媒配管設備)		A1: 1/100 A3: 1/200	17/ 全39
		鹿児島市建設局建築部設備課			

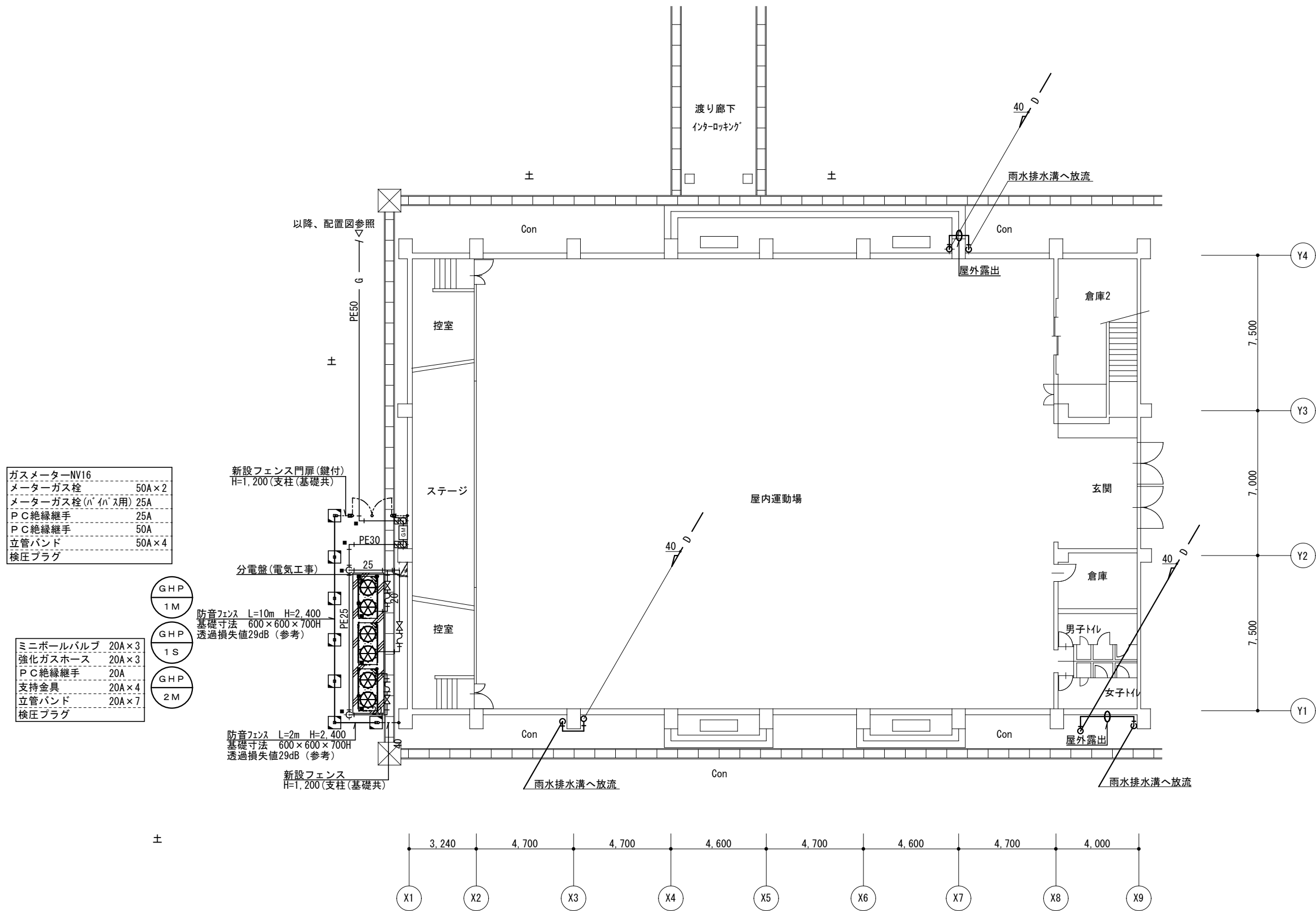


2階平面図 S=1:200

※ 図中の は点検口 (450×450) を示す。









ガスメーターNV16	
メーターガス栓	50A×2
メーターガス栓 (パイプ用) 25A	
P C 絶縁継手	25A
P C 絶縁継手	50A
立管バンド	50A×4
検圧プラグ	

ミニボールバルブ	20A×3
強化ガスホース	20A×3
P C 絶縁継手	20A
支持金具	20A×4
立管バンド	20A×7
検圧プラグ	

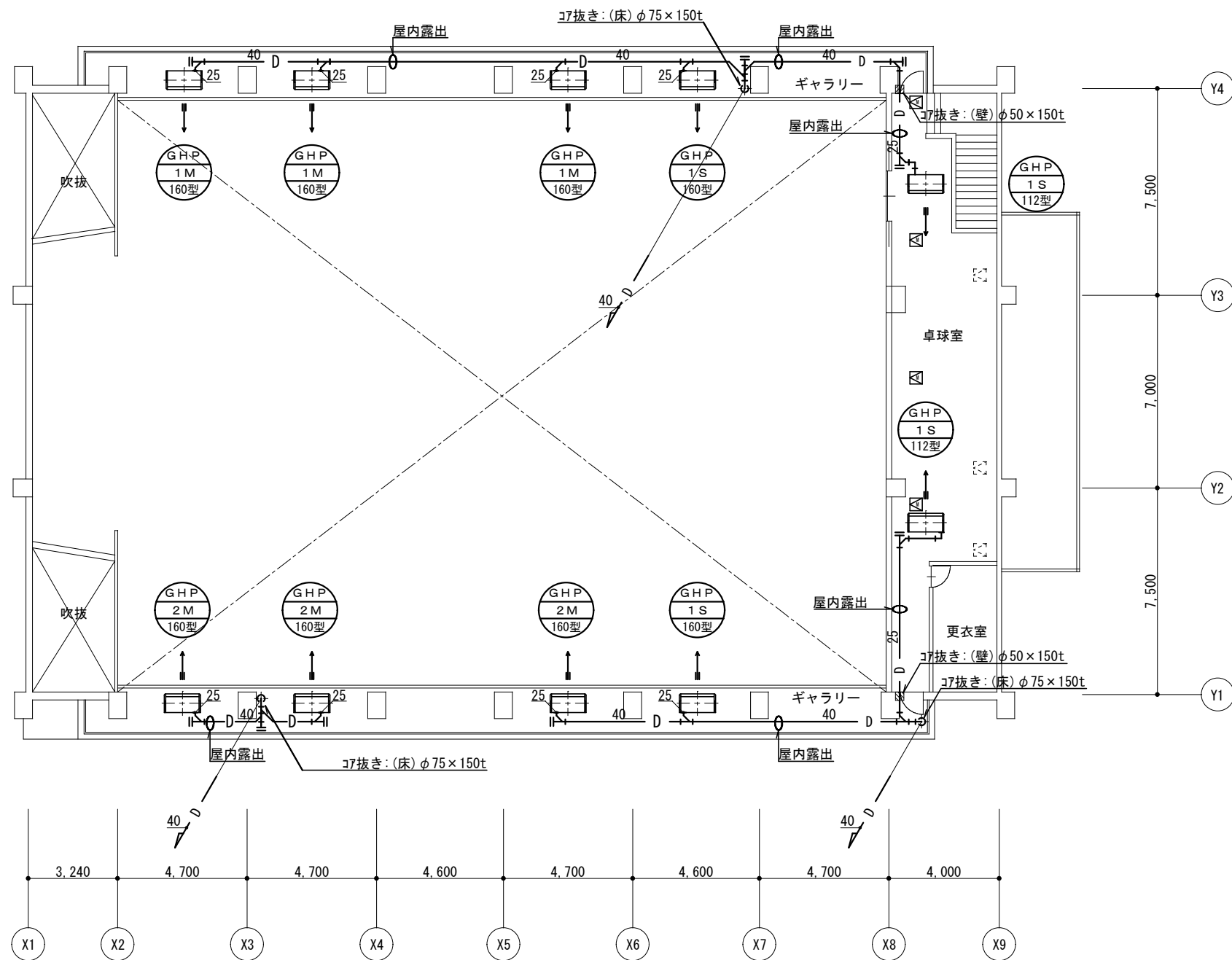
GHP	1M
GHP	1S
GHP	2M

1 階平面図 S=1:200


- ※ 図中の  はコンクリート新・復旧を示す。  
※ 図中の  は埋設標柱部分を示す。

玉江小学校 機械設備

(有) アイケン設備設計 一級建築士事務所 知事登録第 1-6-123 号 一級建築士登録番号 177376 号 渡口 哲郎	伊敷小学校ほか1校屋内運動場冷暖房その他設備工事		
	玉江小学校 1 階平面図 (ガス・ドレン配管設備)	A1: 1/100 A3: 1/200	19/全39
	鹿児島市建設局建築部設備課		

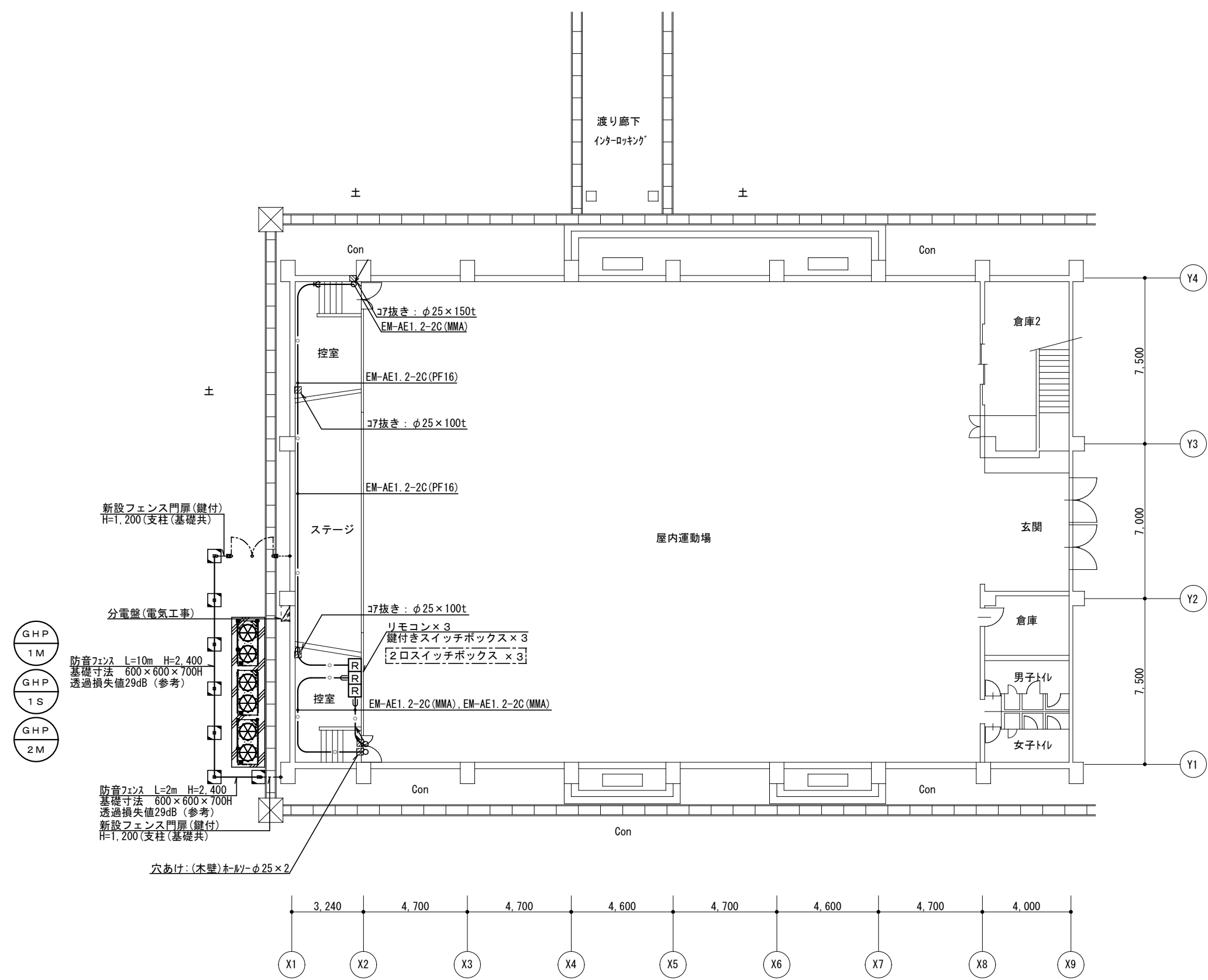


2 階平面図 S=1:200

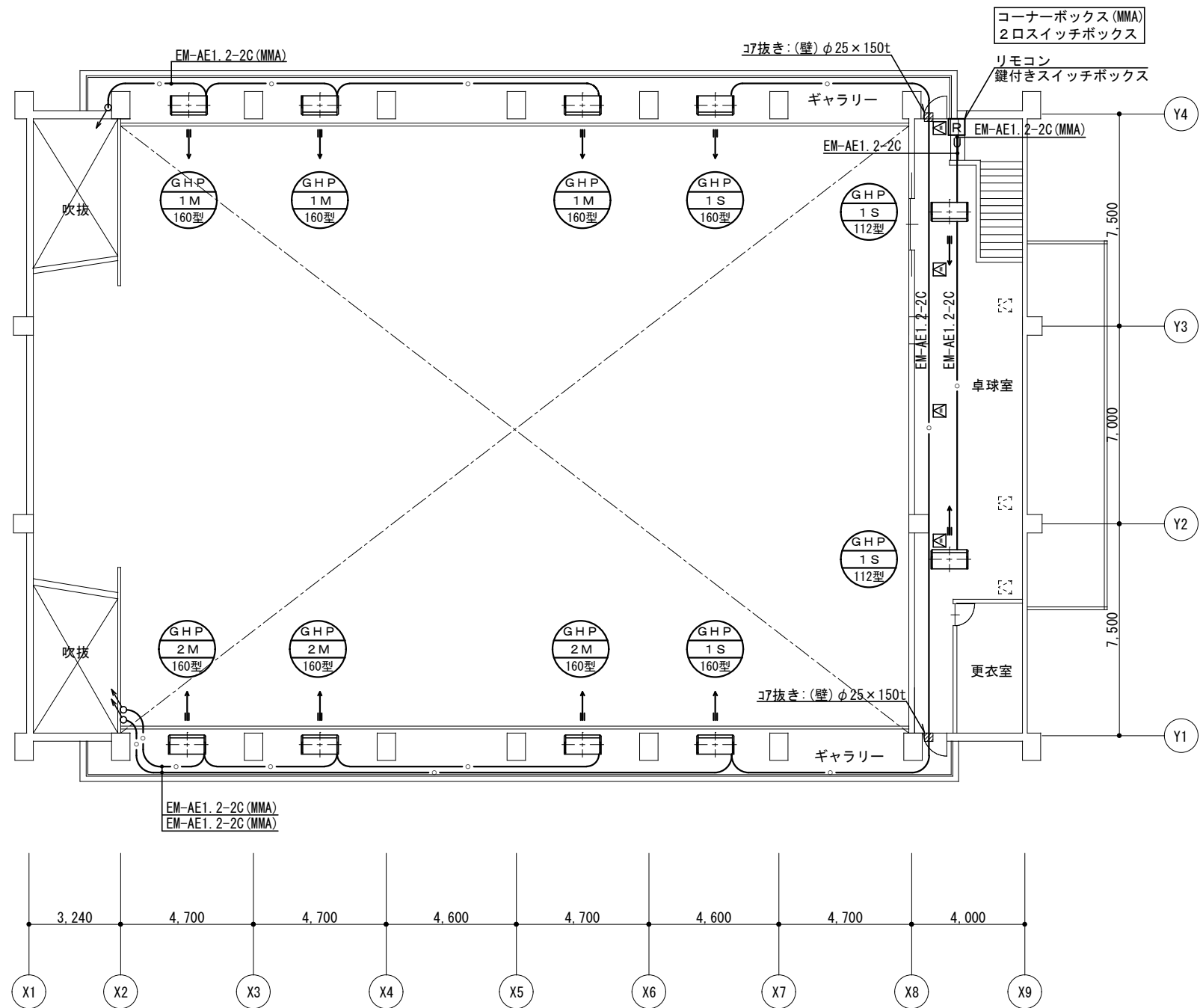
※ 図中の  は点検口 (450×450) を示す。

玉江小学校 機械設備

(有) アイケン設備設計 一級建築士事務所 知事登録第 1-6-123 号 一級建築士登録番号 177376 号 渡口 哲郎	伊敷小学校ほか1校屋内運動場冷暖房その他設備工事		
	玉江小学校 2階平面図 (ガス・ドレン配管設備)	A1: 1/100 A3: 1/200	20/全39
	鹿児島市建設局建築部設備課		



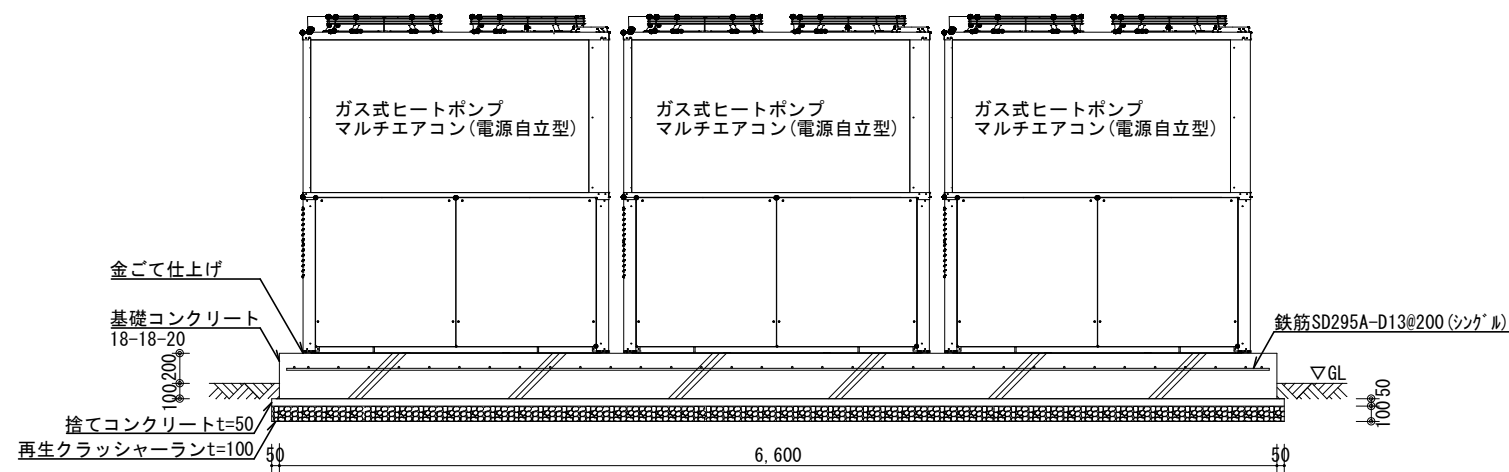
1 階平面図 S=1:200



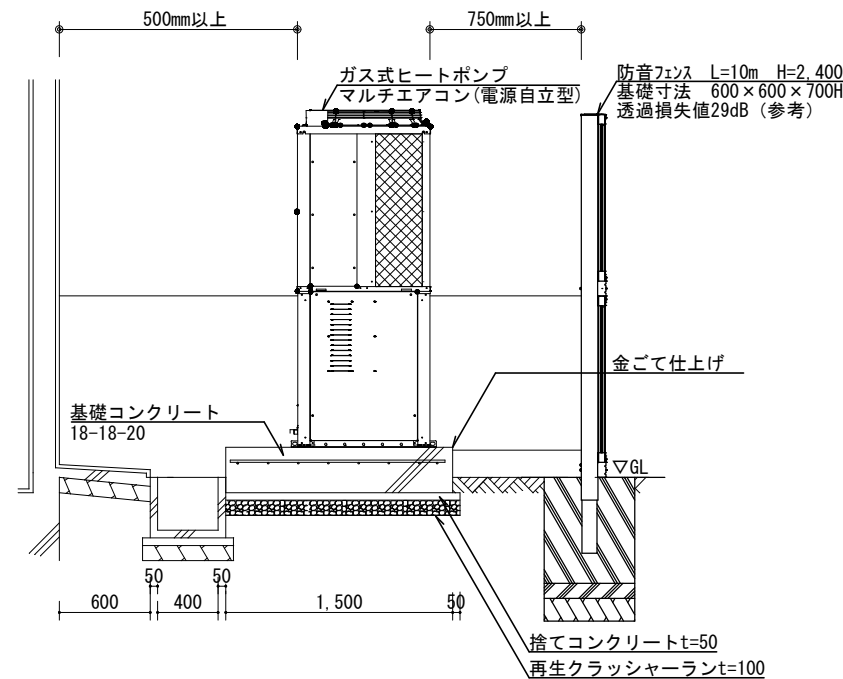
2 階平面図 S=1:200

※ 図中の は点検口 (450×450) を示す。

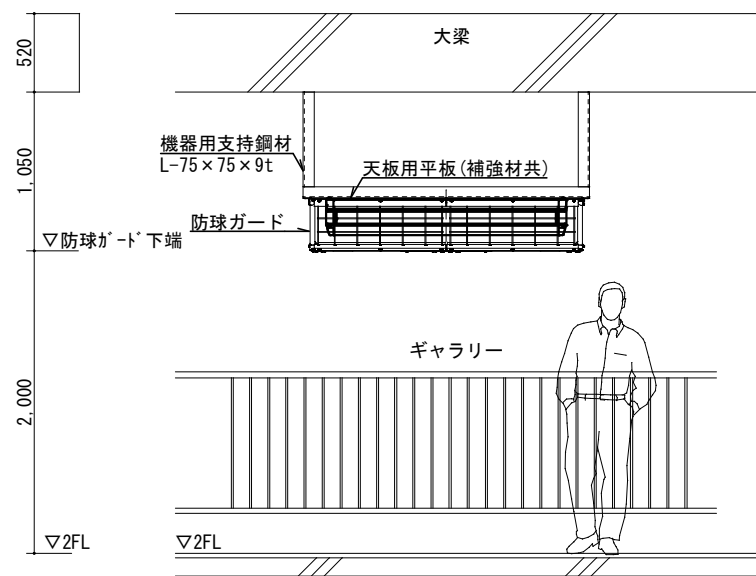
(有) アイケン設備設計 一級建築士事務所 知事登録第 1-6-123 号 一級建築士登録番号 177376 号 渡口 哲郎	伊敷小学校ほか1校屋内運動場冷暖房その他設備工事		
	玉江小学校 2階平面図 (二次電源・制御線設備)	A1: 1/100 A3: 1/200	22/全39
	鹿児島市建設局建築部設備課		



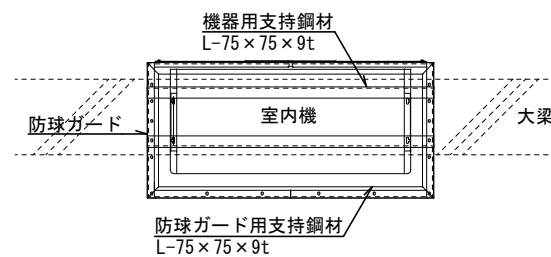
GHP-1M・1S・2M基礎断面詳細図(1) S=1:50



GHP-1M・1S・2M基礎断面詳細図(2) S=1:50



天吊型室内機廻り立面詳細図 S=1:50



天吊型室内機廻り平面詳細図 S=1:50



<div data-bbox="160 113 359 142" data-label="Caption"> <p>室内機施工要領図</p> </div> <div data-bbox="160 163 1970 651" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="160 615 1427 699" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 吊り長さが250mm以上の場合は、斜材による耐震支持をとること。</li> <li>※ ① + ② が250mm以内になる様、斜材を設定すること。</li> <li>※ 斜材の取付角度がとれない等の場合は監督員と協議すること。</li> <li>※ ③ が250mm以内になる様、斜材を設定すること。</li> </ul> </div>	<div data-bbox="2062 113 2335 142" data-label="Caption"> <p>室外機アンカー施工要領</p> </div> <div data-bbox="2062 163 2801 569" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="2062 667 2653 699" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ アンカーボルト仕様は、耐震計算を行い決定すること。</li> </ul> </div>
<div data-bbox="160 718 433 747" data-label="Caption"> <p>アルミパネル施工要領図</p> </div> <div data-bbox="160 768 1359 1423" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="160 1423 792 1507" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ アルミパネル取付箇所は、窓開閉ストッパーを取付のこと。</li> <li>※ アルミパネルの開口は最小寸法とする。</li> <li>※ アルミパネルの寸法は取り付ける窓を確認し決定のこと。</li> </ul> </div>	<div data-bbox="1427 718 1754 747" data-label="Caption"> <p>冷媒配管施工要領：屋内隠蔽</p> </div> <div data-bbox="1427 768 2003 1199" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1427 1245 1828 1274" data-label="Caption"> <p>冷媒配管施工要領：屋内・屋外露出</p> </div> <div data-bbox="1427 1295 1979 1774" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="2062 718 2285 747" data-label="Caption"> <p>室外機廻り施工要領</p> </div> <div data-bbox="2062 768 2801 1612" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="2062 1633 2632 1774" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ フェンス扉は鍵付きとする。</li> <li>※ フェンス支柱の寸法は、180×180×450Hとする。</li> <li>※ フェンス門扉支柱の寸法は、300×300×500Hとする。</li> <li>※ 鉄筋の種類は、異形棒鋼SD295Aとする。</li> <li>※ コンクリート強度はFC18とする。</li> </ul> </div>
<div data-bbox="160 1524 457 1554" data-label="Caption"> <p>リモコンスイッチ取付要領</p> </div> <div data-bbox="160 1575 652 1902" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="160 1927 641 1984" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ リモコン取付位置は照明スイッチ付近とし、</li> <li>※ 取付高さは1,300Hを標準とする。</li> </ul> </div>	<div data-bbox="724 1524 1071 1554" data-label="Caption"> <p>冷媒配管屋内隠蔽部施工要領図</p> </div> <div data-bbox="724 1575 1347 1940" data-label="Image"> </div>

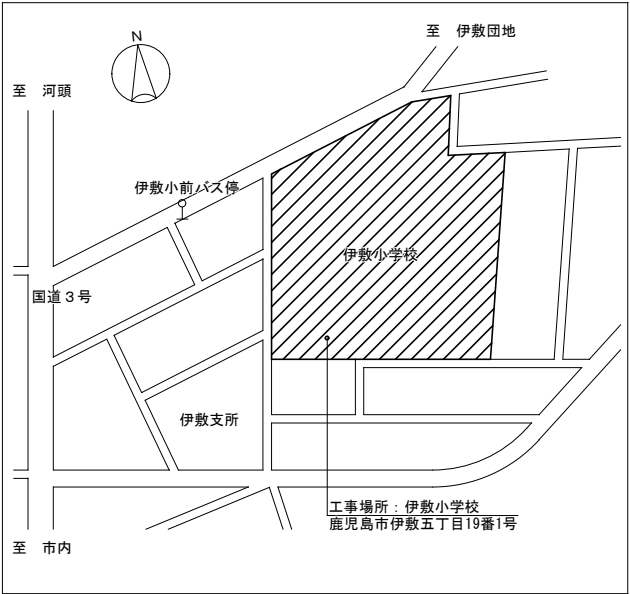
機械設備

伊敷小学校ほか1校屋内運動場冷暖房その他設備工事

施工要領図	No Scale	24
-------	----------	----

鹿児島市建設局建築部設備課	全39
---------------	-----

付近見取図 S=No Scale

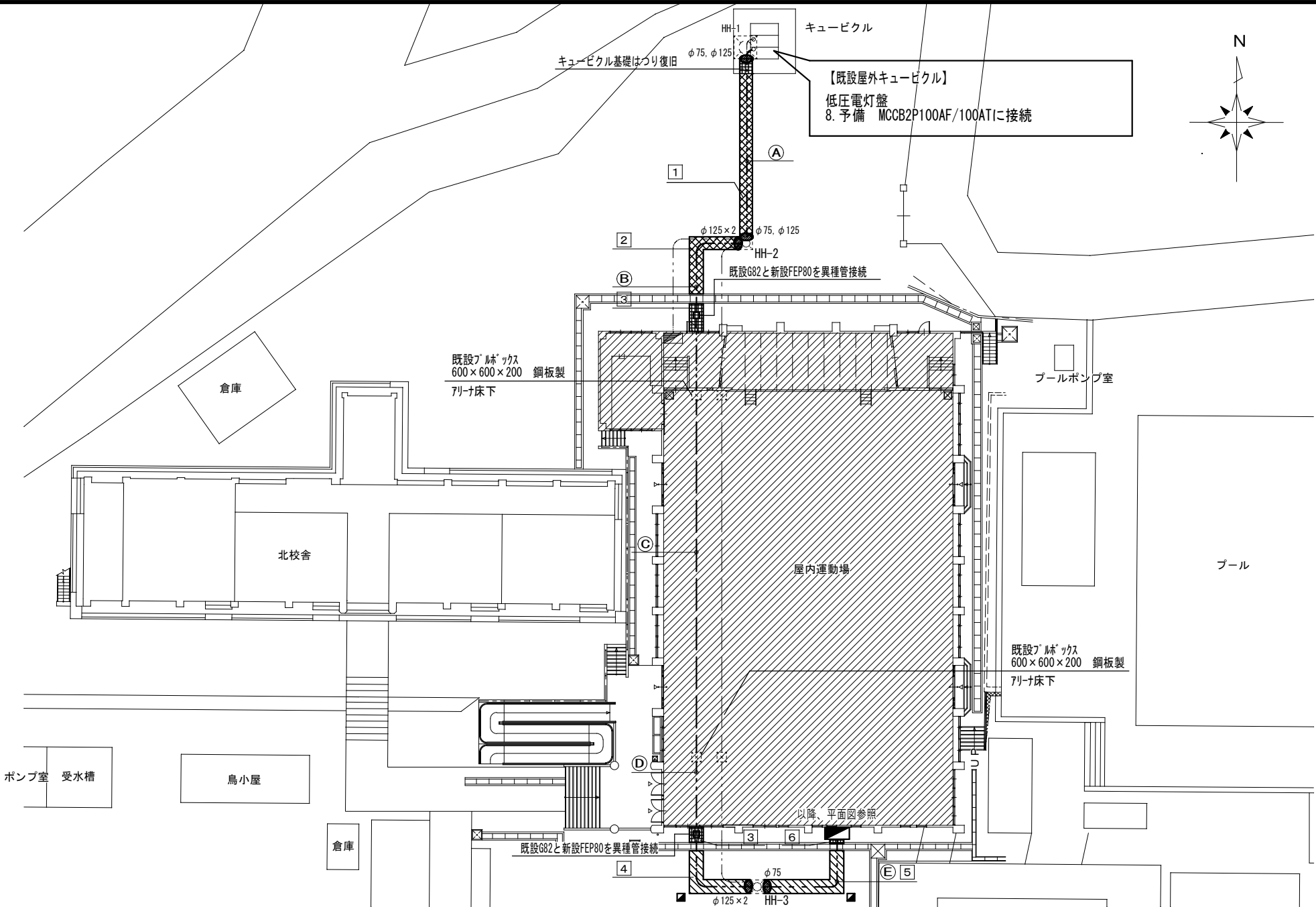


電気設備工事 特記事項

項 目	事 項
① 適 用	(1) 本特記仕様規定する事項は、別の定めがある場合を除き、受注者の責任に於いて履行すべきものとする。 (2) すべての設計図書は、相互に補完するものとする。ただし、設計図書間に相違がある場合の優先順位は、次のとおりとし、これにより難い場合は「疑義に対する協議等」による手続きによる。 ア 設計図書等に関する質疑応答書 イ 特記仕様書 ウ 図面 エ 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編） 令和7年版 及び 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編） 令和7年版（改修及び修繕に限る）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） オ 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編） 令和7年版（国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修）
② 遵守事項	工事は、電気設備技術基準、内線規程及び小売電気事業者の規程に従い施工する。 なお、図面その他が諸規程と相違するときは、監督員の指示による。
③ 特殊な材料・工法	設計図書に記載されていない特殊な材料により施工する場合は、監督員の承諾を得る。 なお、特殊な材料による施工は、当該製品の指定工法による。
④ 電気工作物の種類	○事業用電気工作物      ・一般電気工作物

注 記

- ・工事に際しては、学校関係者、電気主任技術者及び監督員と十分打ち合わせを行い、学校運営に支障のないようにすること。
- ・工事現場における学校関係者及び周辺住民への安全対策は、受注者が十分な誠意を持って行い、事故防止に万全を期すこと。
- ・工事に関しては、騒音等により学校運営に支障をきたすことのないように留意すること。
- ・工事期間中に休日及び時間外作業をする場合は、事前に監督員及び学校関係者に連絡し承諾を得た後に作業すること。
- ・工事期間中は、火気、粉塵等の発生に十分留意し、養生を確実にを行い作業するとともに、作業後は清掃を行うこと。
- ・工事期間中は、防災、防犯関係が無警戒とならないよう必要に応じて措置すること。
- ・工事施工に先立ち支障となる機器又は移動すべき機器等が発生した場合は、事前に協議し施設側にて移動してもらった後に、養生し作業に着手すること。
- ・既設物に損傷を与えた場合は速やかに監督員に報告し、受注者の負担にて原形復旧すること。
- ・図面に記載がないものでも機能上必要になるものについては、監督員と協議し本工事内で施工を行うこと。
- ・官公署等への必要な書類の提出は、受注者にて速やかに行うこと。
- ・機器等の調達遅延を含め、受注者の責めによらない事由により工程に影響が生じる場合には、工事の一時中止や工期延長について発注者と協議すること。なお、工事を全面的に一時中止している期間は、監理技術者等の専任を要しない期間とする。
- ・停電作業を行う際は、学校及び電気主任技術者と事前に入念な打ち合わせを行うこと。
- ・停電作業中、関係者以外の者が容易に操作しないよう処置を施し、停電作業中の表示を行うこと。
- ・配管の支持金物（ボルト、ナット類共）は原則ステンレス製又は溶融亜鉛メッキ仕上のものを使用すること。



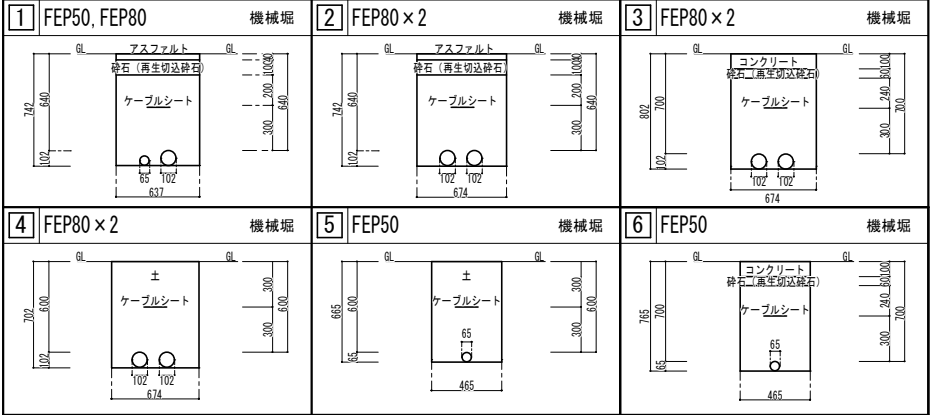
配線リスト

記号	配線	配管	方式	用途	備考
①	CE38□-2C	FEP50	1φ2W	新設GHP盤	配線、配管ともに新設
	予備配管	FEP80		配管新設	
②	CE38□-2C	FEP80～既設G82	1φ2W	新設GHP盤	配線、配管ともに新設
	予備配管	FEP80～既設G82		配管新設	
③	CE38□-2C	FEP50	1φ2W	新設GHP盤	配線、配管ともに新設
				アリーナ床下	
④	CE38□-2C	既設G82～FEP80	1φ2W	新設GHP盤	配線、配管ともに新設
	予備配管	既設G82～FEP80		配管新設	
⑤	CE38□-2C	FEP50	1φ2W	新設GHP盤	配線、配管ともに新設

工事区分表

施工項目	電気設備	機械設備	備 考
室外機基礎設置及びフェンス工事		○	
室調機分電盤及び一次側配線配管	●		
室外機電源工事	●		一次側端子接続まで（アース線含む）
室内外機間（主機～従機）配線配管	●		
室内外機間電源線・操作線		○	冷媒配管に同時巻き
リモコンスイッチ及び配線配管		○	露出部の配管はメタルモールとする
自立運転スイッチ及び配線配管	●		スイッチは機械設備より支給
非常用コンセント及び配線配管	●		
外部足場・内部足場	●	○	
天井材撤去及び復旧並びに天井点検口の設置及び開口補強	●	○	
照明・自火報感知器の移設	●		

掘削断面図（参考図）



伊敷小学校 電気設備

(有) アイケン設備設計 一級建築士事務所 知事登録第 1-6-123 号 一級建築士登録番号 177376 号 渡口 哲郎	伊敷小学校ほか1校屋内運動場冷暖房その他設備工事 伊敷小学校 配置図・付近見取図 特記事項・配線配管表・工事区分表 鹿児島市建設局建築部設備課	A1: 1/200 A3: 1/400 25/全39
---	---	----------------------------------

- ・本系統図は参考とし、機器構成、配線種別等はメーカー標準仕様による。
- ・配線、配管、プルボックス等についても、詳細は別図による。

[illegible]

#### 配線配管表（参考）

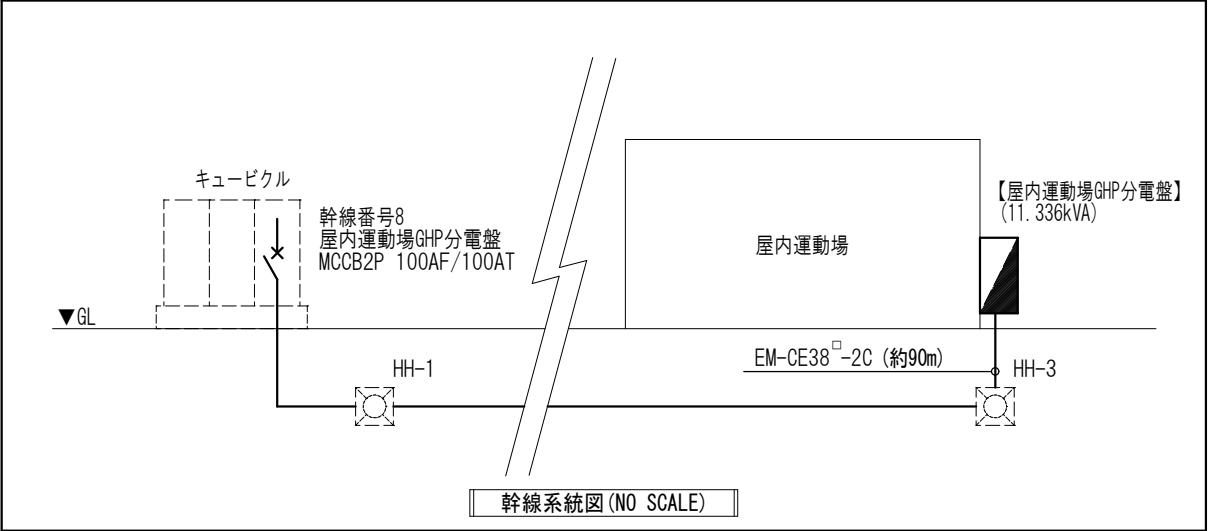
記号	配 線	配 管	備 考
①	EM-CE 3. 5sq-2C, E2. 0×2	Z nGP28～F2WP30	室外機電源
	EM-CE 3. 5sq-2C		室内機電源
②	EM-CE 3. 5sq-2C, E2. 0×2	Z nGP22～F2WP24	室外機電源
③	EM-CE 3. 5sq-2C	Z nGP22～F2WP24	室内機電源
④	EM-CE 3. 5sq-2C, E2. 0	Z nGP22～F2WP24	室外機電源
⑤	EM-CE 3. 5sq-2C×2, E2. 0×2	Z nGP36～F2WP38	室外機電源
	EM-CE 3. 5sq-2C		室内機電源
⑥	EM-IE 2. 0mm	HIVE16	接地
Ⓐ	EM-CE 14sq-2C, E2. 0×2	Z nGP28～F2WP30	非常用コンセント
Ⓑ	EM-EEF 2. 0-3C	冷媒管共巻き	室内機電源（機械設備施工）
Ⓒ	EM-CEE 1. 25sq-4C	Z nGP28～F2WP30	自立運転スイッチ
	EM-CEE 1. 25sq-2C		
Ⓓ	EM-CEE 1. 25sq-4C	Z nGP28～F2WP30	自立運転スイッチ
	EM-CEE 1. 25sq-3C		
Ⓔ	EM-CEE 1. 25sq-3C	Z nGP22～F2WP24	自立運転スイッチ
Ⓕ	EM-CEE 1. 25sq-4C	Z nGP36～F2WP38	自立運転スイッチ
	EM-CEE 1. 25sq-3C×2		
Ⓖ	EM-CEE-S 1. 25sq-2C	Z nGP28～F2WP30	インバータ通信
	EM-CEE-S 1. 25sq-2C		インバータ同期信号
Ⓑ	EM-CE 22sq-2C	Z nGP54～F2WP63	エンジン始動電源
	EM-CE 2sq-2C		制御電源
	EM-CE 2sq-2C		インバータ出力
	EM-EEF 2. 0-3C		室内機電源（機械設備施工）

Figure 1 illustrates the mounting position of the power supply unit. It includes three views: a side view (側面) showing the unit's profile, a front view (正面) showing the unit's face with labels N, P, ④, ③, and a callout for the emergency stop switch, and an internal view (内部) showing the terminal block with labels ②, ED, and ED (ELB).

自立運転機器収納箱の表面に、左記文言を記した  
 アクリルプレート（白地赤文字、W300×H200程度）  
 を貼付すること。

名 称	停電時空調運転スイッチ（自立運転機器収納箱）		
構 造	屋内鋼板製 壁掛型		
参考寸法	W500×H900×D300程度		
	※内部収納機器の数に応じ適切な寸法とする。		
内部機器	名 称	仕 様	数量
	① 自立運転スイッチ ※支給品	W210×H190×D85程度	2 個
	② 漏電遮断器	ELCB2P 30AF/10AT	2 個
	③ 非常用コンセント（赤色）	2P15A×2、E付、SUS.P、「非常用」赤文字刻印	2 個
	④ アクリルプレート	W300×H200程度、白地赤文字	1 個
その他	扉面に小扉（鍵付）を設けるなど、非常用コンセント使用時の利便性と安全に配慮した構造とする。		
	安全のため、自立運転スイッチの形状や機器の配置に合わせた中扉を設けること。 漏電遮断器は、一次側漏電遮断器との保護協調をとること。		

電源自立型 GHP 電源系統図 (参考)	No Scale	2 6
自立運転機器収納箱 参考姿図・仕様表		全 3 9
鹿児島市建設局建築部設備課		



空調機電気特性表

	室外機		室内機（天吊形）			室内機（天力セ形）		
	単相	三相	080型	140型	160型	112型	140型	160型
消費電力 [kW]	1.330	1.330	0.113	0.182	0.287	0.187	0.209	0.217
運転電流 [A]	9.72	4.80	0.60	1.00	1.60	1.10	1.20	1.30
負荷容量 [kVA]	1.944	0.960	0.120	0.200	0.320	0.220	0.240	0.260

負荷容量表

GHP-1M	室外機		室内機（天吊形）			室内機（天力セ形）			室内機 合計
	単相	三相	080型	140型	160型	112型	140型	160型	
台数 [台]	1		3		2				5
消費電力 [kW]	1.330		0.339		0.574				0.913
運転電流 [A]	9.72		1.80		3.20				5.00
負荷容量 [kVA]	1.944		0.36		0.64				1.00

GHP-1S	室外機		室内機（天吊形）			室内機（天力セ形）			室内機 合計
	単相	三相	080型	140型	160型	112型	140型	160型	
台数 [台]	1				3				3
消費電力 [kW]	1.330				0.861				0.861
運転電流 [A]	9.72				4.80				4.80
負荷容量 [kVA]	1.944				0.96				0.96

GHP-2M	室外機		室内機（天吊形）			室内機（天力セ形）			室内機 合計
	単相	三相	080型	140型	160型	112型	140型	160型	
台数 [台]	1				2				2
消費電力 [kW]	1.330				0.574				0.574
運転電流 [A]	9.72				3.20				3.20
負荷容量 [kVA]	1.944				0.64				0.64

GHP-2S	室外機		室内機（天吊形）			室内機（天力セ形）			室内機 合計
	単相	三相	080型	140型	160型	112型	140型	160型	
台数 [台]	1				3				3
消費電力 [kW]	1.330				0.861				0.861
運転電流 [A]	9.72				4.80				4.80
負荷容量 [kVA]	1.944				0.96				0.96

許容電圧降下(%)

こう長	幹線部分	分岐部分	幹線部分
60m以下	3	2	5
60m超え120m以下	3	2	5
120m超え200m以下	4	2	6
200m以下	5	2	7

単線3線式

$$e = \frac{17.8 \times L \times I}{1,000 \times S} \text{ [V]}$$

単線2線式

$$e = \frac{35.6 \times L \times I}{1,000 \times S} \text{ [V]}$$

e : 電圧降下 [V]  
L : こう長 [m]  
I : 電流 [A]  
S : 電線の断面積 [mm2]

電圧降下計算表

記号	区間	負荷名称	こう長 m	電気方式	負荷容量 kVA	需要率 %	需要率換算 負荷容量 kVA	1線当たりの 設計負荷電流 A	電線・ケーブル 種別	ケーブル 許容電流 A	区間電圧降下 V	電圧降下率 %	許容電圧降下率 %	電圧降下率判定	幹線保護用 開閉器定格電流 ケーブル許容電流判定
A	キュービクル～新設GHP盤	新設GHP盤	90	1φ2W 200V	11.336	100	11.336	56.680							
		合計	90		11.336		11.336	56.680	CE-2C 38mm2	135	4.779	2.390	3%	OK	100AF/100AT OK



電圧降下計算表

記号	区間	負荷名称	こう長 m	電気方式	負荷容量 kVA	需要率 %	需要率換算 負荷容量 kVA	1線当たりの 設計負荷電流 A	電線・ケーブル 種別	ケーブル 許容電流 A	区間電圧降下 V	電圧降下率 %	許容電圧降下率 %	電圧降下率判定	幹線保護用 開閉器定格電流 ケーブル許容電流判定
1M	GHP-1M～非常コンセント	非常コンセント1	65	1φ2W 100V	1.000	100	1.000	10.000	CE-2C 14mm2	70	1.653	1.653	2%	OK	30AF/20AT OK
2M	GHP-2M～非常コンセント	非常コンセント2	65	1φ2W 100V	1.000	100	1.000	10.000	CE-2C 14mm2	70	1.653	1.653	2%	OK	30AF/20AT OK

伊敷小学校 電気設備

キュービクル単相負荷リスト表

変圧器	配 線 用 遮 断 器 ( M C C B )							備 考	
	番号	定格			SHT	負荷名称	負荷容量 (KVA・KW)		接続ケーブル(既設)
		極数	フレーム	トリップ					
(A) 単 相 7.5KVA	1	3	225	200		南校舎(1AL)	43.6	CV100□-3C	GHP負荷有り
	2	3	225	200		南校舎(1BL)	44.1	CVT100□	GHP負荷有り
	3	3	225	175	②	屋内運動場(LE-1)	33.9	CVT100□	
	4	3	100	100		北校舎(LB-1)	23.2	CVT60□	GHP負荷有り
	5	3	100	100		東校舎(LC-1)	11.1	CVT60□	GHP負荷有り
	6	3	100	75		給食室	4.1	CVT38□	
	7	3	100	100	①	地区公民館	7.0	CVT60□	
	8	2	100	100		屋内運動場GHP分電盤	11.336	CE38□-2C	GHP負荷有り
									※予備ブレーカーに接続
	所内	2	50	20		警報電源			
	所内	2	50	20		所内電源			

凡 例 表

記号	名称	仕様	備考
	屋内運動場GHP分電盤	盤結線図参照	
	既設電灯分電盤	屋内鋼板製 自立型	
	ブルボックス	屋外防水・SUS製 500 x 500 x 400	
	ブルボックス	屋外防水・SUS製 500 x 500 x 300	
	ブルボックス	屋外防水・SUS製 400 x 400 x 300	
	自立運転機器収納箱	仕様表のとおり	
	空調室外機		別途機械工事
	異種管接続材		
	管枕	L=300	ゴムパッド付
	埋設標柱	コンクリート製	
	コア抜き	t=150 サイズは傍記参照	
	床下点検口	600×600 アルミ製枠	アリーナ床
	立上・立下		
	地下埋設配管配線		
	天井内ころがし配線		
	露出配管配線		
	床隠ぺい配管配線		

■キュービクル～屋内運動場GHP分電盤

記号	配 線	配 管	用 途
⑤	EM-CE38□-2C	(FEP50)	屋内運動場GHP分電盤
		※フェンス内立上げ	

■屋内運動場GHP分電盤～室外機

記号	配 線	配 管	用 途
A	EM-CE3. 5□-2C, E2. 0x2	(ZnGP36～F2WP38)	室外機電源 GHP-1M
	EM-CE3. 5□-2C		室外機電源 GHP-1S
	EM-CE3. 5□-2C		室内機電源 GHP-1M・S
	EM-CE3. 5□-2C	(ZnGP36～F2WP38)	室外機電源 GHP-2M
B	EM-CE3. 5□-2C		室外機電源 GHP-2S
	EM-CE3. 5□-2C		室内機電源 GHP-2M・S
C	EM-CE3. 5□-2C, E2. 0x2	(ZnGP22～F2WP24)	室外機電源 GHP-1M
	EM-CE3. 5□-2C	(ZnGP22～F2WP24)	室内機電源 GHP-1M・S
D	EM-CE3. 5□-2C, E2. 0	(ZnGP22～F2WP24)	室外機電源 GHP-1S
E	EM-CE3. 5□-2C, E2. 0	(ZnGP22～F2WP24)	室外機電源 GHP-2S

■室外機（主機）～室外機（従機）

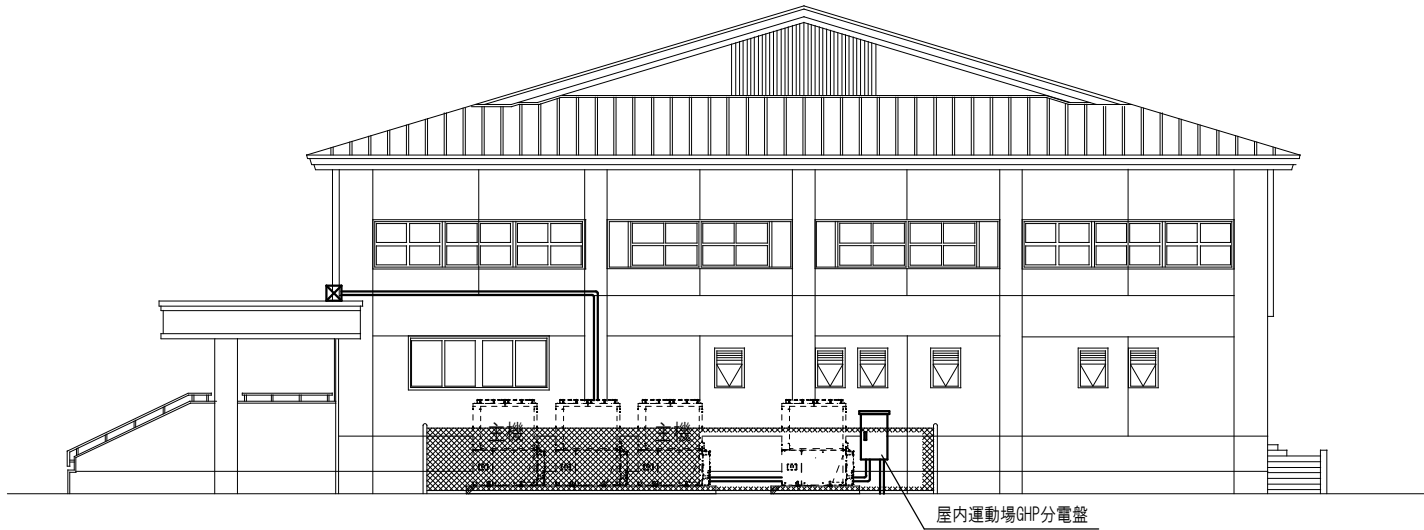
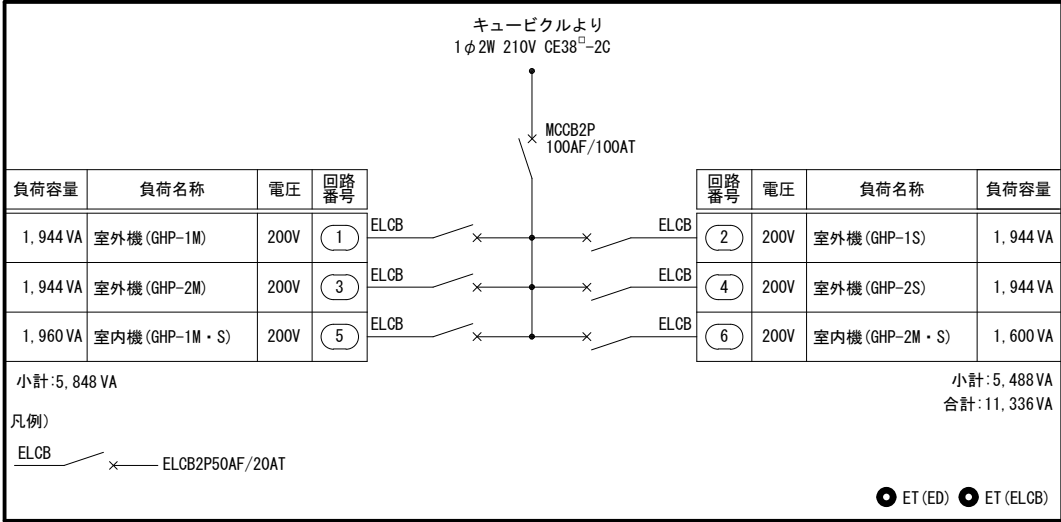
記号	配 線	配 管	用 途
⑥	EM-CE22□-2C	(ZnGP54～F2WP63)	エンジン始動電源
	EM-CE2□-2C		インバータ出力
	EM-CE2□-2C		制御電源
	EM-EEF2. 0 -3C		室内機電源（機械工事施工）
	EM-CEES1. 25□-2C	(ZnGP28～F2WP30)	インバータ通信
	EM-CEES1. 25□-2C		インバータ同期信号

■室外機～自立運転機器収納箱

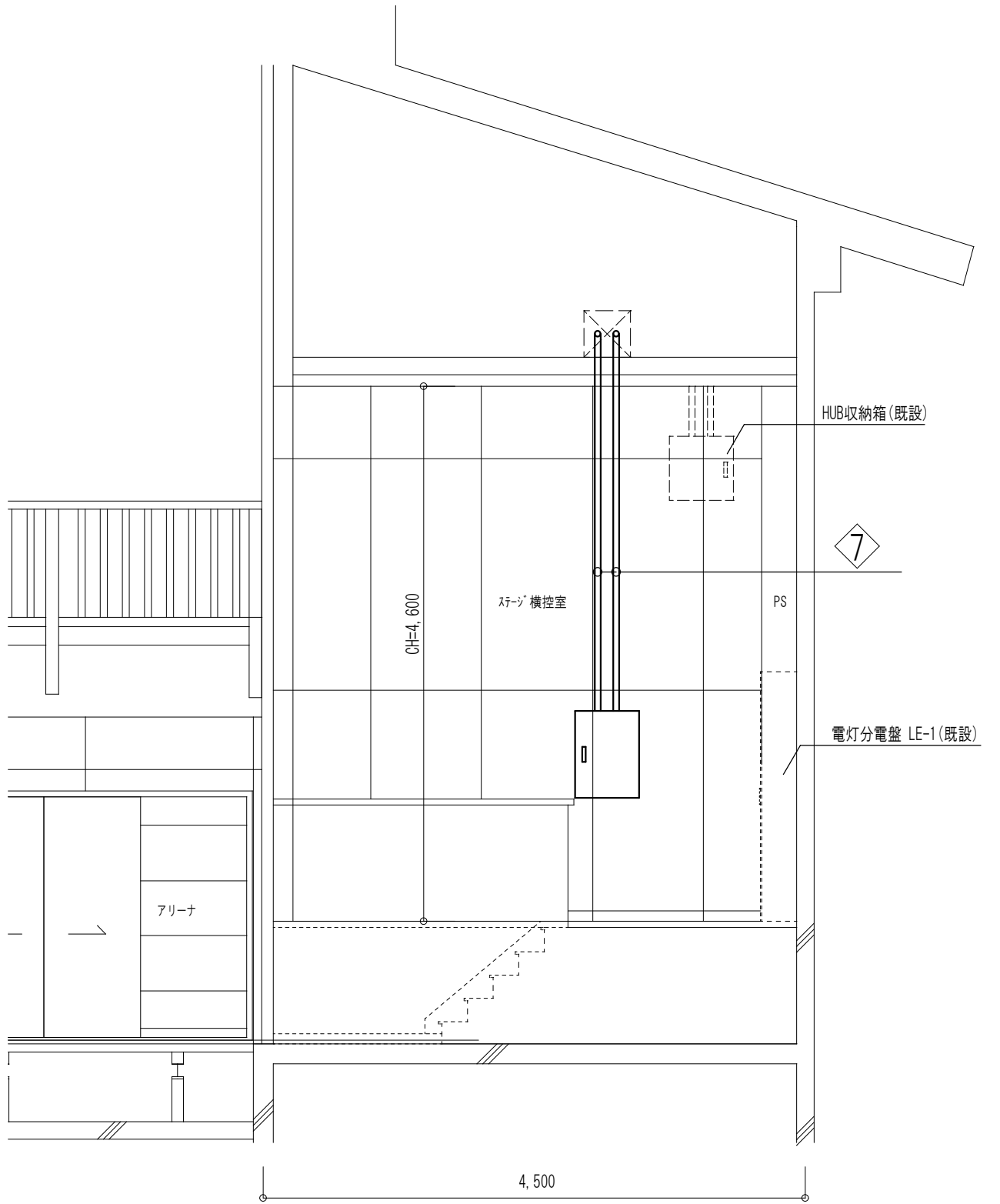
記号	配 線	配 管	用 途
①	EM-CEE1. 25□-4C	(ZnGP28～F2WP30)	自立運転スイッチ1M
	EM-CEE1. 25□-3C		
	EM-CE14□-2C, E2. 0×2		非常コンセント1
②	EM-CEE1. 25□-3C	(ZnGP22～F2WP24)	自立運転スイッチ1S
③	EM-CEE1. 25□-4C	(ZnGP28～F2WP30)	自立運転スイッチ2M
	EM-CEE1. 25□-3C		
	EM-CE14□-2C		非常コンセント2
④	EM-CEE1. 25□-3C	(ZnGP22～F2WP24)	自立運転スイッチ2S
⑤	EM-CEE1. 25□-4C+3C	(ZnGP54)	自立運転スイッチ
	EM-CEE1. 25□-4C+3C		
	EM-CEE1. 25□-3C		
	EM-CEE1. 25□-3C		
	EM-CE14□-2C×2, E2. 0×2	(ZnGP54)	非常コンセント1・2
⑥	EM-CEE1. 25□-4C+3C	(ZnGP54)	自立運転スイッチ
	EM-CEE1. 25□-4C+3C		
	EM-CEE1. 25□-3C		
	EM-CEE1. 25□-3C		
⑦	EM-CE14□-2C×2, E2. 0×2	(ZnGP54)	非常コンセント1・2
⑧	EM-CEE1. 25□-4C+3C	(E51)	配管塗装 自立運転スイッチ
	EM-CEE1. 25□-4C+3C		
	EM-CEE1. 25□-3C		
	EM-CEE1. 25□-3C		
	EM-CE14□-2C×2, E2. 0×2	(E51)	配管塗装 非常コンセント1・2



屋内運動場GHP分電盤（屋外・SUS製・壁掛型） ※新設



南面立面図 S=1:200



ステージ横控室 施工参考図 (NO SCALE)

伊敷小学校

電気設備

(有) アイケン設備設計

一級建築士事務所 知事登録第 1-6-123 号

一級建築士登録番号 177376 号

渡口 哲郎

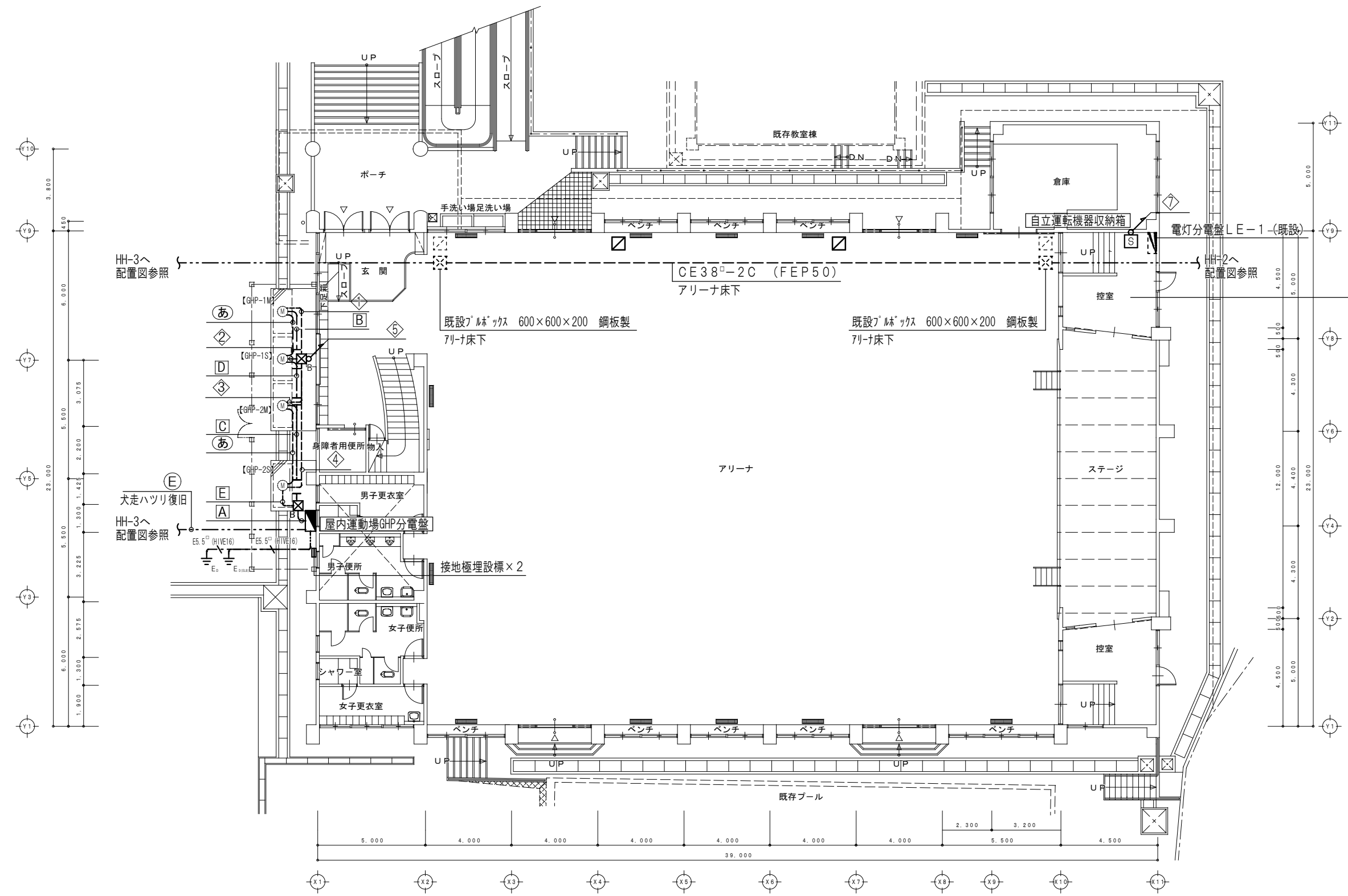
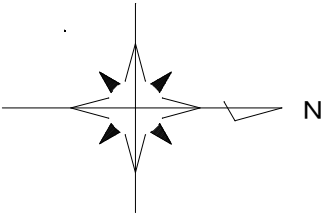
伊敷小学校ほか 1校屋内運動場冷暖房その他設備工事

伊敷小学校  
盤結線図・立面図・施工参考図

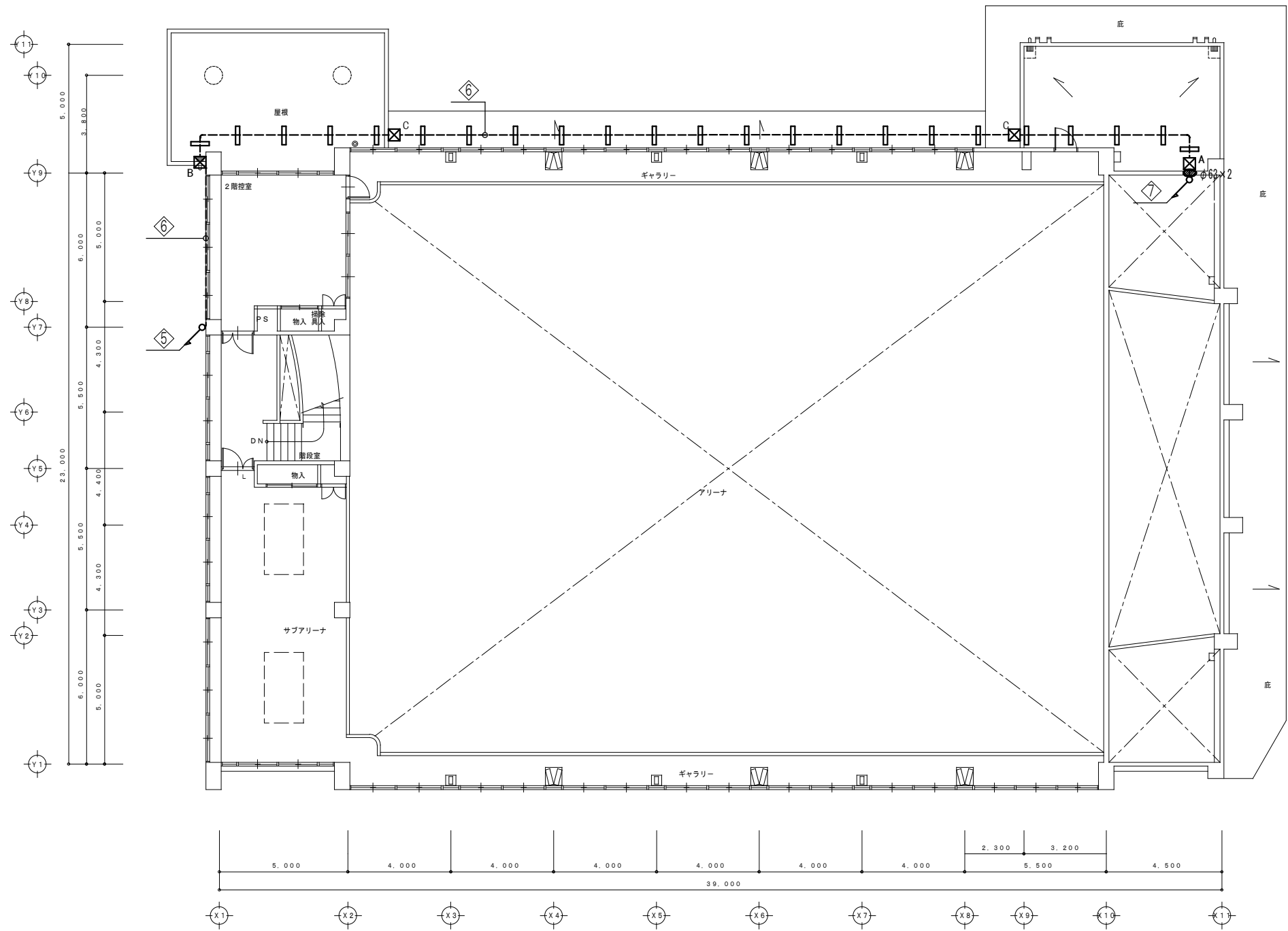
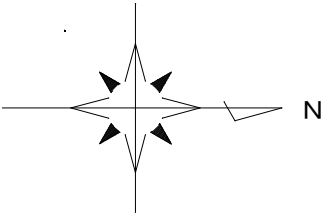
A1: 1/100  
A3: 1/200

鹿児島市建設局建築部設備課

29/  
全39



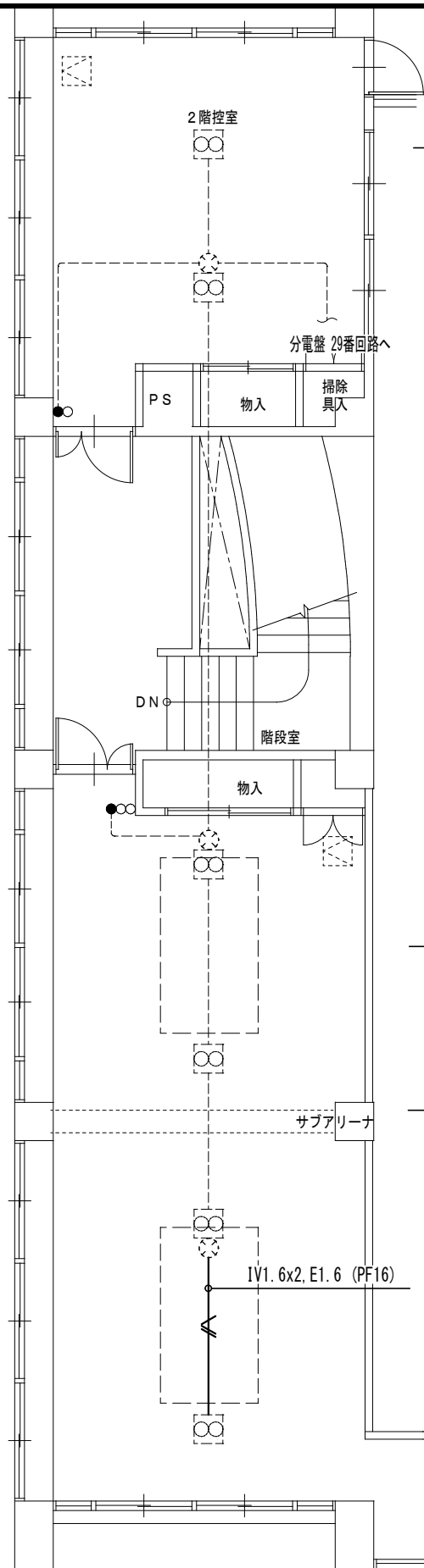
1階平面図 S=1/200



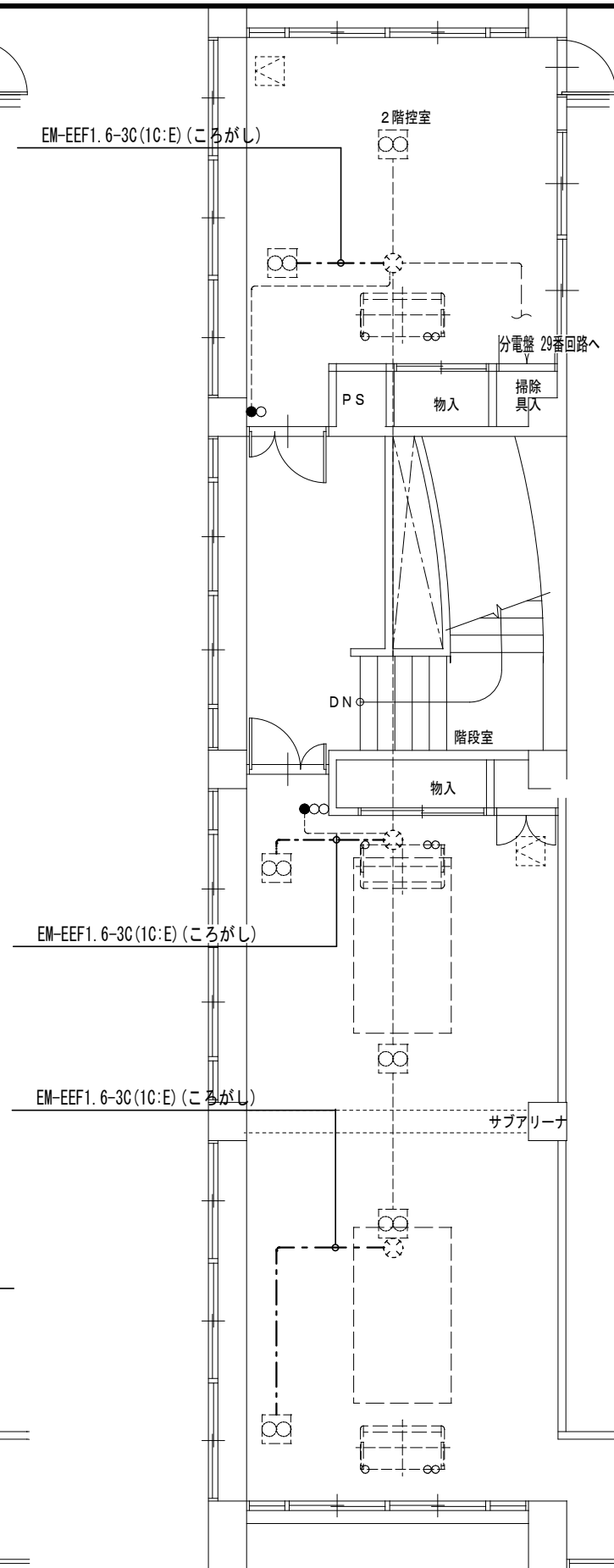
2階平面図 S=1/200

伊敷小学校 電気設備

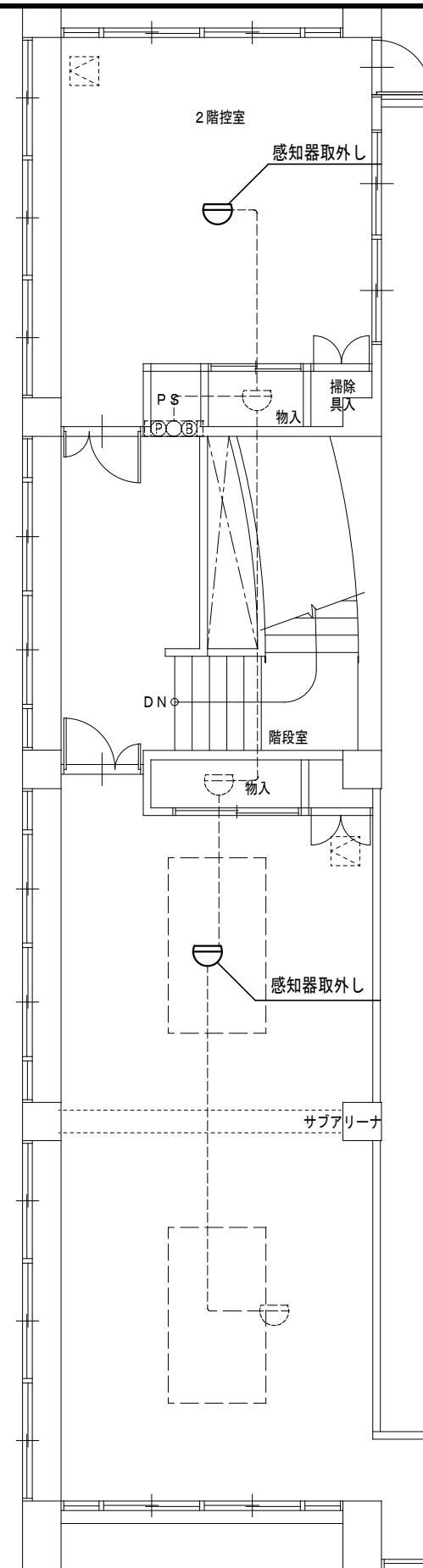
(有) アイケン設備設計		伊敷小学校ほか1校屋内運動場冷暖房その他設備工事	
一級建築士事務所 知事登録第 1-6-123 号 一級建築士登録番号 177376 号 渡口 哲郎	伊敷小学校 冷暖房電源設備 2階平面図	A1: 1/100 A3: 1/200	31/全39
		鹿児島市建設局建築部設備課	



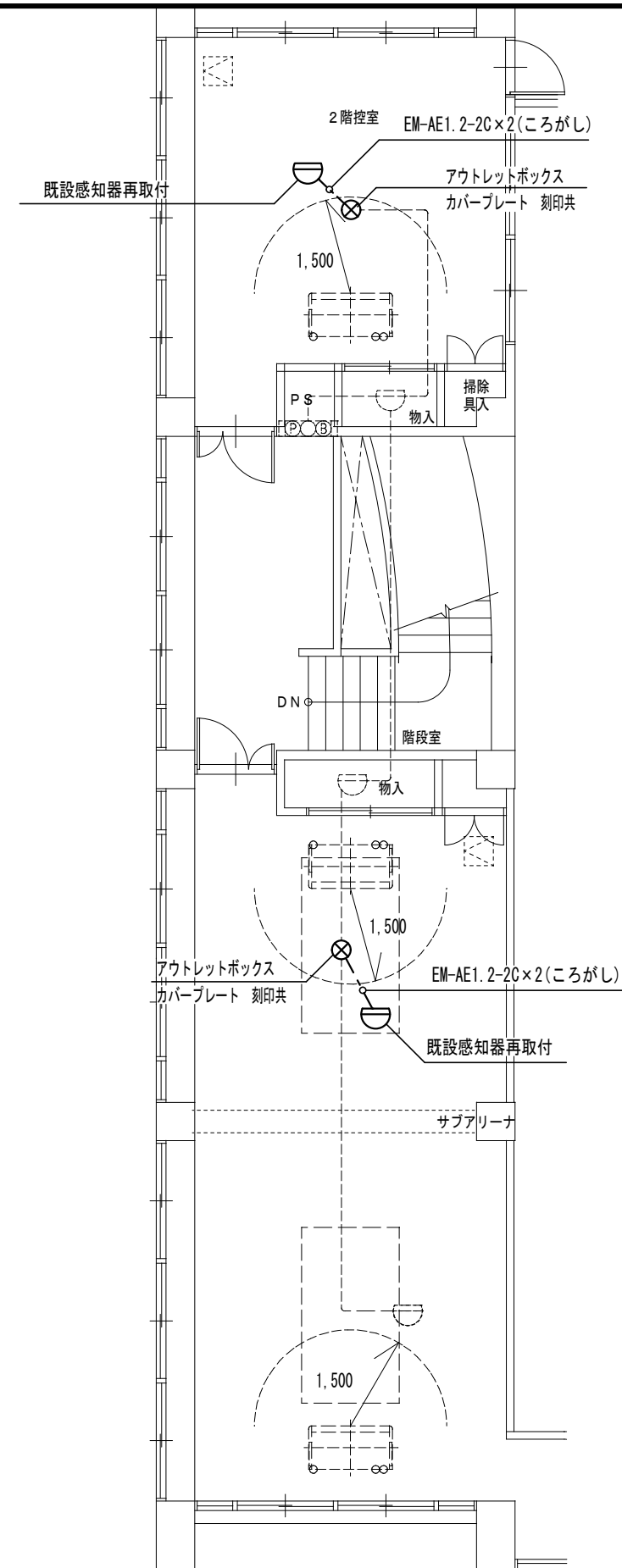
2階平面図 (改修前)  
換気設備 S=1:100



2階平面図 (改修後)  
換気設備 S=1:100



2階平面図 (改修前)  
自動火災報知設備 S=1:100



2階平面図 (改修後)  
自動火災報知設備 S=1:100

伊敷小学校

電気設備

(有) アイケン設備設計

一級建築士事務所 知事登録第 1-6-123 号

一級建築士登録番号 177376 号

渡口 哲郎

伊敷小学校ほか 1校屋内運動場冷暖房その他設備工事

伊敷小学校

換気設備 2階平面図(改修前・改修後)

自動火災報知設備 2階平面図(改修前・改修後)

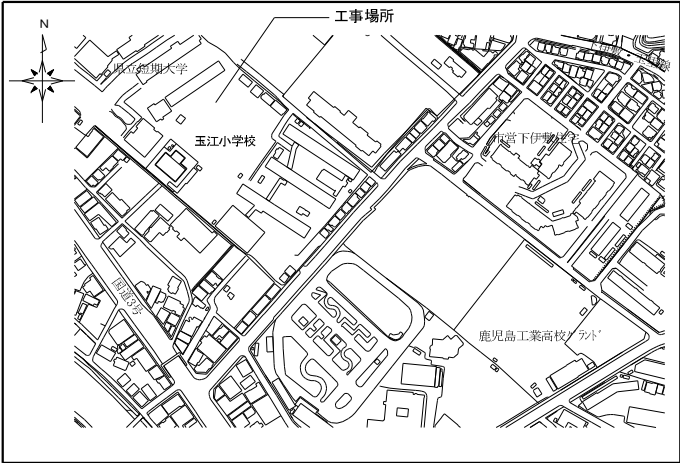
A1: 1/50

A3: 1/100

鹿児島市建設局建築部設備課

32/全39

附近見取図 NO. SCALE

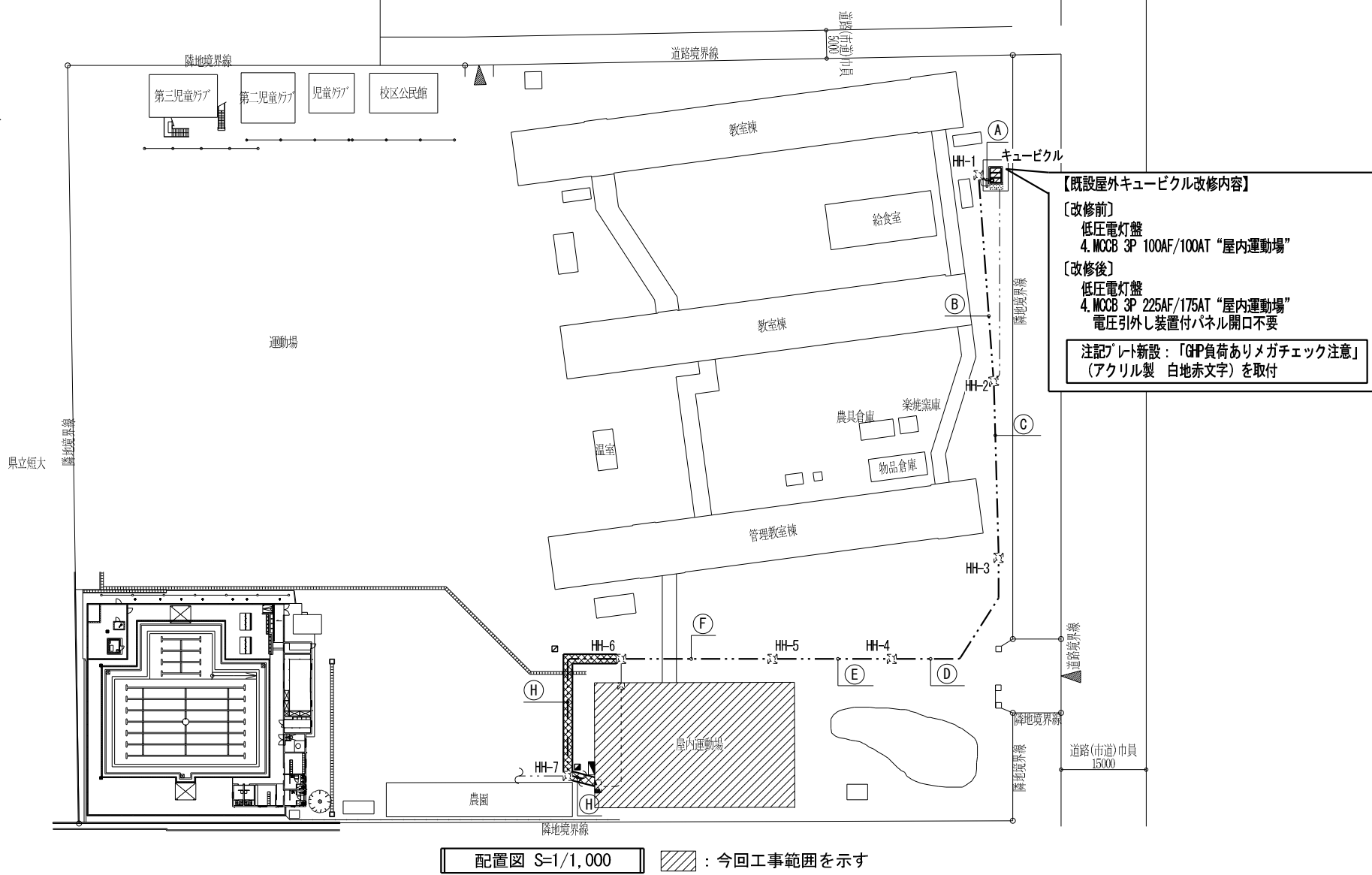
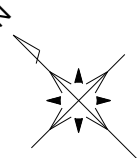


電気設備工事 特記事項

項 目	事 項
① 適 用	(1) 本特記仕様に規定する事項は、別の定めがある場合を除き、受注者の責任に於いて履行すべきものとする。 (2) すべての設計図書は、相互に補完するものとする。ただし、設計図書間に相違がある場合の優先順位は、次のとおりとし、これにより難い場合は「疑義に対する協議等」による手続きによる。 ア 設計図書等に関する質疑応答書 イ 特記仕様書 ウ 図面 エ 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編） 令和7年版 及び 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編） 令和7年版（改修及び修繕に限る） （国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） オ 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編） 令和7年版（国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修）
② 遵守事項	工事は、電気設備技術基準、内線規程及び小売電気事業者の規程に従い施工する。 なお、図面その他が諸規程と相違するときは、監督員の指示による。
③ 特殊な材料・工法	設計図書に記載されていない特殊な材料により施工する場合は、監督員の承諾を得る。 なお、特殊な材料による施工は、当該製品の指定工法による。
④ 電気工作物の種類	・事業用電気工作物      ・一般電気工作物

注 記

- ・工事に際しては、学校関係者、電気主任技術者及び監督員と十分打ち合わせを行い、学校運営に支障のないようにすること。
- ・工事現場における学校関係者及び周辺住民への安全対策は、受注者が十分な誠意を持って行い、事故防止に万全を期すこと。
- ・工事に関しては、騒音等により学校運営に支障をきたすことのないように留意すること。
- ・工事期間中に休日及び時間外作業をする場合は、事前に監督員及び学校関係者に連絡し承諾を得た後に作業すること。
- ・工事期間中は、火気、粉塵等の発生に十分留意し、養生を確実に行い作業するとともに、作業後は清掃を行うこと。
- ・工事期間中は、防災、防犯関係が無警戒とならないよう必要に応じて措置すること。
- ・工事施工に先立ち支障となる機器又は移動すべき機器等が発生した場合は、事前に協議し施設側にて移動してもらった後に、養生し作業に着手すること。
- ・既設物に損傷を与えた場合は速やかに監督員に報告し、受注者の負担にて原形復旧すること。
- ・図面に記載がないものでも機能上必要になるものについては、監督員と協議し本工事で施工を行うこと。
- ・官公署等への必要な書類の提出は、受注者にて速やかに行うこと。
- ・機器等の調達遅延を含め、受注者の責めによらない事由により工程に影響が生じる場合には、工事の一時中止や工期延長について発注者と協議すること。なお、工事を全面的に一時中止している期間は、監理技術者等の専任を要しない期間とする。
- ・停電作業を行う際は、学校及び電気主任技術者と事前に入念な打合せを行うこと。
- ・停電作業中、関係者以外の者が容易に操作しないよう処置を施し、停電作業中の表示を行うこと。
- ・配管の支持金物（ボルト、ナット類共）は原則ステンレス製又は溶融亜鉛メッキ仕上のものを使用すること。



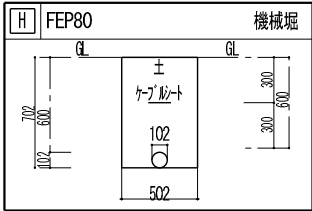
配線配管表

記号	配 線	配 管	用 途	備 考
①	CET150sq	PRP70	屋内運動場電灯	配線のみ更新(既設配管流用)
②	CET150sq	HIVP75	屋内運動場電灯	配線のみ更新(既設配管流用)
③	CET150sq	FEP80	屋内運動場電灯	配線のみ更新(既設配管流用)
④	CET150sq	FEP80	屋内運動場電灯	配線のみ更新(既設配管流用)
⑤	CET150sq	FEP80	屋内運動場電灯	配線のみ更新(既設配管流用)
⑥	CET150sq	FEP80	屋内運動場電灯	配線のみ更新(既設配管流用)
⑧	CET150sq	FEP80	屋内運動場電灯	配管配線新設 掘削 HHコア抜き φ125×3 大走コア抜き φ175×1 配管立上部 SGP125保護

工事区分表

施工項目	電気工事	機械工事	備 考
室外機基礎設置及びフェンス工事		○	
室調機分電盤及び一次側配線配管	●		
室外機電源工事	●		一次側端子接続まで（アース線含む）
室内外機間(主機～従機)配線配管	●		
室内外機間電源線・操作線		○	冷媒配管に同時巻き
リモコンスイッチ及び配線配管		○	露出部の配管はメタルモールとする
自立運転スイッチ及び配線配管	●		スイッチは機械設備より支給
非常用コンセント及び配線配管	●		
外部足場・内部足場		○	
天井材撤去及び復旧並びに天井点検口の設置及び開口補強	●	○	
照明・自火報感知器の移設	●		

掘削断面図（参考）



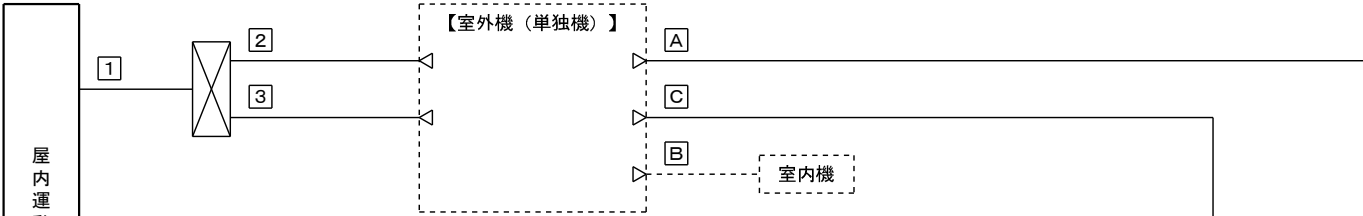
玉江小学校

電気設備

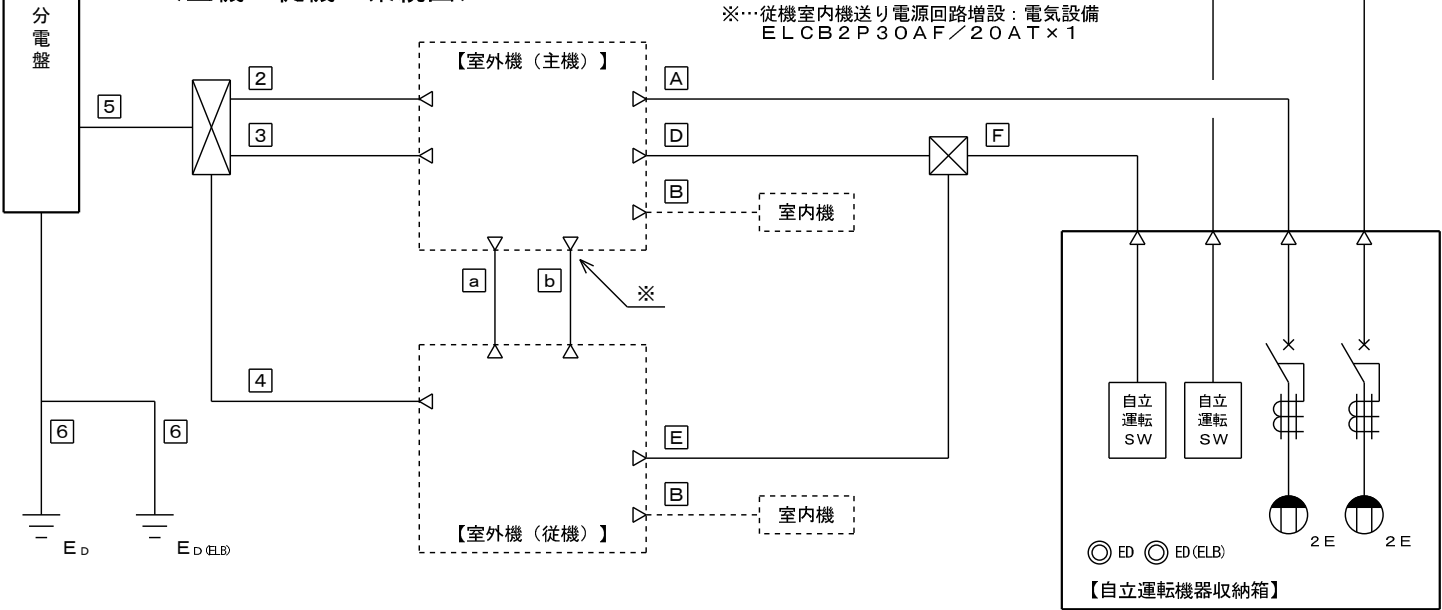
(有) アイケン設備設計 一級建築士事務所 知事登録第 1-6-123 号 一級建築士登録番号 177376 号 渡口 哲郎	伊敷小学校ほか1校屋内運動場冷暖房その他設備工事 玉江小学校 配置図、附近見取図 特記事項、配線配管表、工事区分表	A1: 1/500 A3: 1/1000	33/全39
	鹿 児 島 市 建 設 局 建 築 部 設 備 課		

- 【注記】
- ・本系統図は参考とし、機器構成、配線種別等はメーカー標準仕様による。
  - ・配線、配管、プルボックス等についても、詳細は別図による。

＜単独機 系統図＞



＜主機・従機 系統図＞

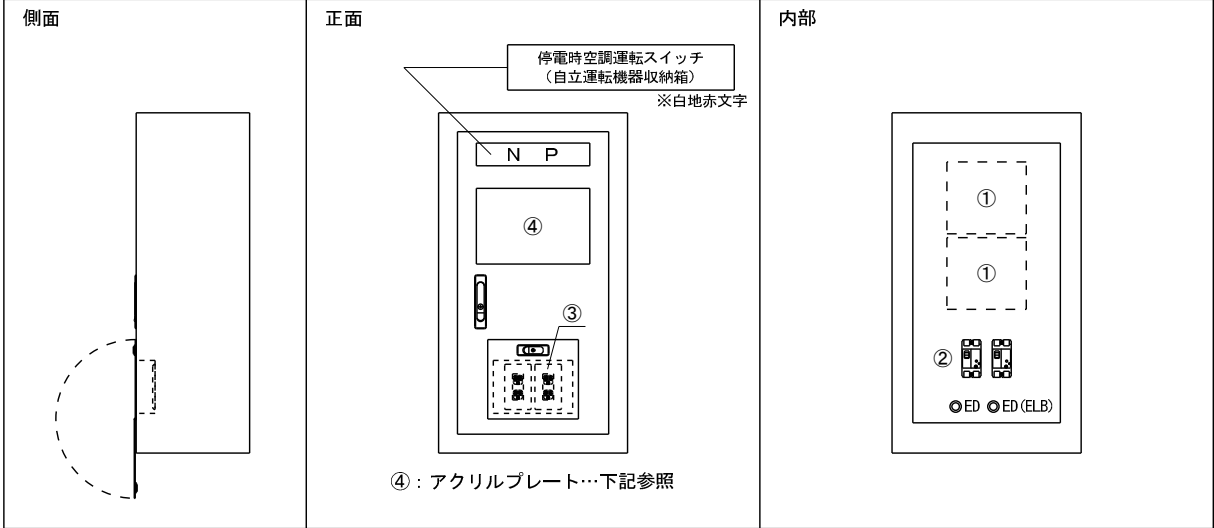


電源自立型GHP 電源系統図（参考）

配線配管表（参考）

記号	配 線	配 管	備 考
①	EM-CE 3.5sq-2C, E2.0×2	ZnGP28~F2WP30	室外機電源
	EM-CE 3.5sq-2C		室内機電源
②	EM-CE 3.5sq-2C, E2.0×2	ZnGP22~F2WP24	室外機電源
③	EM-CE 3.5sq-2C	ZnGP22~F2WP24	室内機電源
④	EM-CE 3.5sq-2C, E2.0	ZnGP22~F2WP24	室外機電源
⑤	EM-CE 3.5sq-2C×2, E2.0×2	ZnGP36~F2WP38	室外機電源
	EM-CE 3.5sq-2C		室内機電源
⑥	EM-IE 2.0mm	HIVE16	接地
A	EM-CE 3.5sq-2C, E2.0×2	ZnGP22~F2WP24	非常用コンセント
B	EM-EEF 2.0-3C	冷媒管共巻き	室内機電源（機械設備施工）
C	EM-CEE 1.25sq-4C	ZnGP28~F2WP30	自立運転スイッチ
	EM-CEE 1.25sq-2C		
D	EM-CEE 1.25sq-4C	ZnGP28~F2WP30	自立運転スイッチ
	EM-CEE 1.25sq-3C		
E	EM-CEE 1.25sq-3C	ZnGP22~F2WP24	自立運転スイッチ
F	EM-CEE 1.25sq-4C	ZnGP36~F2WP38	自立運転スイッチ
	EM-CEE 1.25sq-3C×2		
a	EM-CEE-S 1.25sq-2C	ZnGP28~F2WP30	インバータ通信
	EM-CEE-S 1.25sq-2C		インバータ同期信号
b	EM-CE 22sq-2C	ZnGP54~F2WP63	エンジン始動電源
	EM-CE 2sq-2C		制御電源
	EM-CE 2sq-2C		インバータ出力
	EM-EEF 2.0-3C		室内機電源（機械設備施工）

参考姿図



停電したとき、この箱の中のスイッチでエアコンを起動することができます。

同時に、箱の中のコンセントを使って携帯電話の充電等を行うことができます。

ただし、ポットや暖房器具など消費電力の大きな機器は使用できません。（コンセント1個につき1,000ワットまで）

なお、箱の中のコンセントは、通常時には使用できません。

自立運転機器収納箱の表面に、左記文言を記したアクリルプレート（白地赤文字、W300×H200程度）を貼付すること。

仕様表

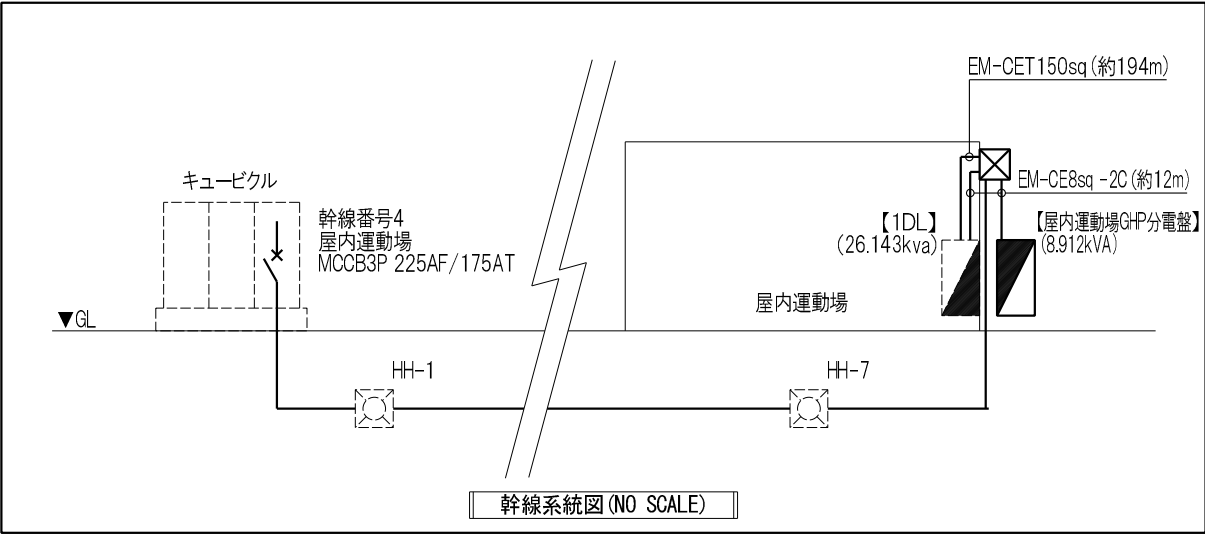
名 称	停電時空調運転スイッチ（自立運転機器収納箱）		
構 造	屋内鋼板製 壁掛型		
参考寸法	W500×H900×D300程度		
	※内部収納機器の数に応じ適切な寸法とする。		
内部機器	名 称	仕 様	数 量
	① 自立運転スイッチ ※支給品	W210×H190×D85程度	2個
	② 漏電遮断器	ELCB2P 30AF/10AT	2個
	③ 非常用コンセント（赤色）	2P15A×2、E付、SUS.P、「非常用」赤文字刻印	2個
	④ アクリルプレート	W300×H200程度、白地赤文字	1個
その他	扉面に小扉（鍵付）を設けるなど、非常用コンセント使用時の利便性と安全に配慮した構造とする。		
	安全のため、自立運転スイッチの形状や機器の配置に合わせた中扉を設けること。		
	漏電遮断器は、一次側漏電遮断器との保護協調を取ること。		

自立運転機器収納箱 参考姿図・仕様表

玉江小学校

電気設備

伊敷小学校ほか1校屋内運動場冷暖房その他設備工事		
電源自立型GHP 電源系統図（参考）	No Scale	34
自立運転機器収納箱 参考姿図・仕様表		
鹿児島市建設局建築部設備課		全 39



許容電圧降下(%)

こう長	幹線部分	分岐部分	合計
60m以下	3	2	5
60mを超え120m以下	3	2	5
120mを超え200m以下	4	2	6
200m超過	5	2	7

単線3線式

$$e = \frac{17.8 \times L \times I}{1,000 \times S} \text{ [V]}$$

単線2線式

$$e = \frac{35.6 \times L \times I}{1,000 \times S} \text{ [V]}$$

e : 電圧降下 [V]  
L : こう長 [m]  
I : 電流 [A]  
S : 電線の断面積 [mm<sup>2</sup>]

空調機電気特性表

	室外機		室内機 (天吊形)			室内機 (天力セ形)		
	単相	三相	112型	140型	160型	112型	140型	160型
消費電力 [kW]	1.330	1.330	0.238	0.182	0.287	0.187	0.209	0.217
運転電流 [A]	9.72	4.80	1.30	1.00	1.60	1.10	1.20	1.30
負荷容量 [kVA]	1.944	0.960	0.260	0.200	0.320	0.220	0.240	0.260

負荷容量表

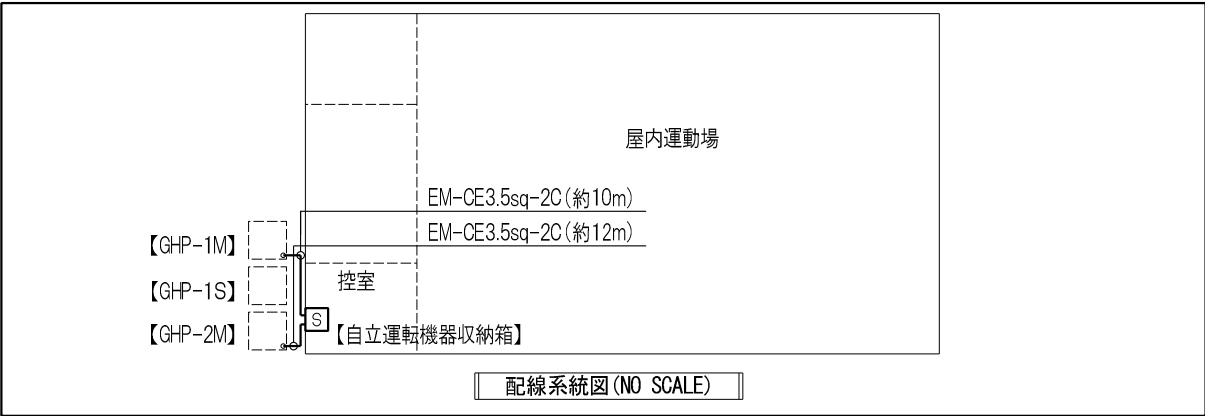
GHP-1M	室外機		室内機 (天吊形)			室内機 (天力セ形)			室内機
	単相	三相	112型	140型	160型	112型	140型	160型	合計
台数 [台]	1				3				3
消費電力 [kW]	1.330				0.861				0.861
運転電流 [A]	9.72				4.80				4.80
負荷容量 [kVA]	1.944				0.96				0.96

GHP-1S	室外機		室内機 (天吊形)			室内機 (天力セ形)			室内機
	単相	三相	112型	140型	160型	112型	140型	160型	合計
台数 [台]	1		2		2				4
消費電力 [kW]	1.330		0.476		0.574				1.050
運転電流 [A]	9.72		2.60		3.20				5.80
負荷容量 [kVA]	1.944		0.520		0.640				1.160

GHP-2M	室外機		室内機 (天吊形)			室内機 (天力セ形)			室内機
	単相	三相	112型	140型	160型	112型	140型	160型	合計
台数 [台]	1				3				3
消費電力 [kW]	1.330				0.861				0.861
運転電流 [A]	9.72				4.80				4.80
負荷容量 [kVA]	1.944				0.96				0.96

電圧降下計算表

記号	区間	負荷名称	こう長 m	電気方式	負荷容量 kVA	需要率 %	需要率換算 負荷容量 kVA	1線当たりの 設計負荷電流 A	電線・ケーブル 種別	ケーブル 許容電流 A	区間電圧降下 V	電圧降下率 %	許容電圧降下率 %	電圧降下率判定	幹線保護用 開閉器定格電流 ケーブル許容電流判定
A	キュービクル～1DL	1DL	193.5	1φ3W 100/200V	26.143	80	20.915	104.575							
		屋内運動場GHP分電盤		1φ2W 200V	8.912	100	8.912	44.560							225AF/175AT
		合計	194.0		35.055		29.827	149.135	CET 150sq	320	3.433	3.433	4%	OK	OK
B	1DL～屋内運動場GHP分電盤	屋内運動場GHP分電盤	11.8	1φ2W 200V	8.912	100	8.912	44.560							
		合計	12		8.912		8.912	44.560	CE-2C 8sq	51	2.380	1.190			50AF/50AT
															OK
累計	キュービクル～屋内運動場GHP分電盤														
		累計	206.0									4.623	5%	OK	



電圧降下計算表

記号	区間	負荷名称	こう長 m	電気方式	負荷容量 kVA	需要率 %	需要率換算 負荷容量 kVA	1線当たりの 設計負荷電流 A	電線・ケーブル 種別	ケーブル 許容電流 A	区間電圧降下 V	電圧降下率 %	許容電圧降下率 %	電圧降下率判定	幹線保護用 開閉器定格電流 ケーブル許容電流判定
1M	GHP-1M～自立運転機器収納箱	非常コンセント	10	1φ2W 100V	1.000	100	1.000	10.000	CE-2C 3.5sq	31	1.017	1.017	2%	OK	30AF/20AT OK
2M	GHP-2M～自立運転機器収納箱	非常コンセント	12	1φ2W 100V	1.000	100	1.000	10.000	CE-2C 3.5sq	31	1.221	1.221	2%	OK	30AF/20AT OK

玉江小学校 電気設備

(有) アイケン設備設計 一級建築士事務所 知事登録第 1-6-123 号 一級建築士登録番号 177376 号 渡口 哲郎	伊敷小学校ほか1校屋内運動場冷暖房その他設備工事		
	玉江小学校 幹線系統図、電圧降下計算表	A1: NO SCALE A3: NO SCALE	35/全39
	鹿児島市建設局建築部設備課		



凡 例 表

記号	名称	仕様	備考
	屋内運動場GHP分電盤	盤結線図参照	
	電灯分電盤 1DL	盤結線図参照	既設
	ブルボックス	SUS製 600x600x600	
	ブルボックス	SUS製 350x350x350	
	自立運転機器収納箱	仕様表・姿図参照	
	空調室外機		機械設備施工
	管枕	L=600	ゴムベゝス付
	管枕	L=450	ゴムベゝス付
	管枕	L=300	ゴムベゝス付
	ケーブル埋設標	コンクリート製	
	ケーブル埋設標	キャッツアイ	
	コア抜き	φ150、t=150 貫通部は配管保護	
	天井点検口	□450	
	地中埋設配管配線		
	天井内ころがし配線		
	露出配管配線		
	隠べゝ配管配線		

太線部を今回とし、細点線は既設とする。

■キュービクル～電灯分電盤 1 D L

記号	配 線	配 管	用 途
Ⓐ	EM-CET150sq	(FEP80+SGP125)	電灯分電盤 1DL
Ⓑ	EM-CET150sq	ころがし	電灯分電盤 1DL
Ⓒ	EM-CET150sq	(E75)塗装	電灯分電盤 1DL

■電灯分電盤 1 D L～屋内運動場GHP分電盤

記号	配 線	配 管	用 途
A	EM-CE8sq -2C	(E25)塗装	屋内運動場GHP分電盤
B	EM-CE8sq -2C	ころがし	屋内運動場GHP分電盤
C	EM-CE8sq -2C	(ZnGP28～F2WP30)	屋内運動場GHP分電盤

■屋内運動場GHP分電盤～室外機

記号	配 線	配 管	用 途
1	EM-CE3.5sq -2C, E2.0x2	(ZnGP36～F2WP38)	室外機電源 GHP-1M
	EM-CE3.5sq -2C		室内機電源 GHP-1M・S
	EM-CE3.5sq -2C		室外機電源 GHP-1S
	EM-CE3.5sq -2C	(ZnGP28～F2WP30)	室外機電源 GHP-2M
	EM-CE3.5sq -2C		室内機電源 GHP-2M
2	EM-CE3.5sq -2C, E2.0x2	(ZnGP22～F2WP24)	室外機電源 GHP-1M
	EM-CE3.5sq -2C	(ZnGP22～F2WP24)	室内機電源 GHP-1M・S
3	EM-CE3.5sq -2C, E2.0	(ZnGP22～F2WP24)	室外機電源 GHP-1S
4	EM-CE3.5sq -2C, E2.0x2	(ZnGP22～F2WP24)	室外機電源 GHP-2M
	EM-CE3.5sq -2C	(ZnGP22～F2WP24)	室内機電源 GHP-2M

■室外機（主機）～室外機（従機）

記号	配 線	配 管	用 途
あ	EM-CEES1.25sq -2C	(ZnGP28～F2WP30)	インバータ通信
	EM-CEES1.25sq -2C		インバータ同期信号
	EM-CE22sq -2C	(ZnGP54～F2WP63)	エンジン始動電源
	EM-CE2sq -2C		インバータ出力
	EM-CE2sq -2C		制御電源
	EM-EEF2.0sq -3C		室内機電源(機械設備施工)

■室外機～自立運転機器収納箱

記号	配 線	配 管	用 途
①	EM-CEE1.25sq -4C	(ZnGP28～F2WP30)	自立運転スイッチ1M
	EM-CEE1.25sq -3C		
	EM-CE3.5sq -2C, E2.0×2	(ZnGP22～F2WP24)	非常コンセント1
②	EM-CEE1.25sq -3C	(ZnGP22～F2WP24)	自立運転スイッチ1S
③	EM-CEE1.25sq -4C	(ZnGP28～F2WP30)	自立運転スイッチ2M
	EM-CEE1.25sq -2C		
	EM-CE3.5sq -2C	(ZnGP22～F2WP24)	非常コンセント2
④	EM-CEE1.25sq -4C+3C×2	ころがし	自立運転スイッチ
	EM-CEE1.25sq -4C+2C		
⑤	EM-CE3.5sq -2C×2, E2.0×2	ころがし	非常コンセント1・2
⑥	EM-CEE1.25sq -4C+3C×2	(E39)塗装	自立運転スイッチ
	EM-CEE1.25sq -4C+2C	(E31)塗装	
⑦	EM-CE3.5sq -2C×2, E2.0×2	(E31)塗装	非常コンセント1・2

玉江小学校

電気設備

(有) アイケン設備設計

一級建築士事務所 知事登録第 1-6-123 号

一級建築士登録番号 177376 号

渡口 哲郎

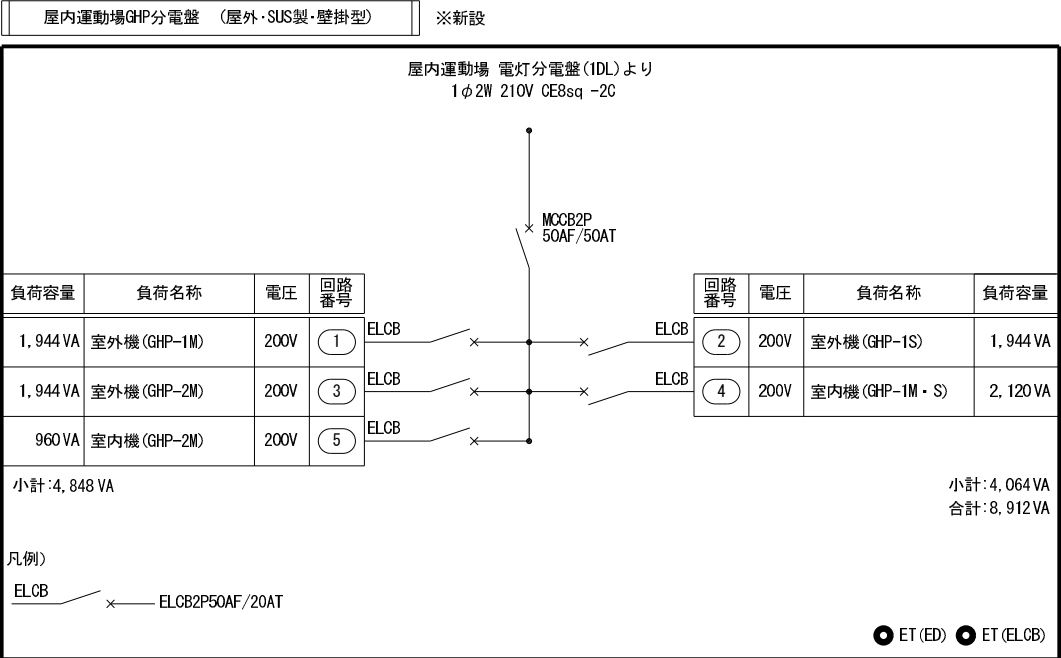
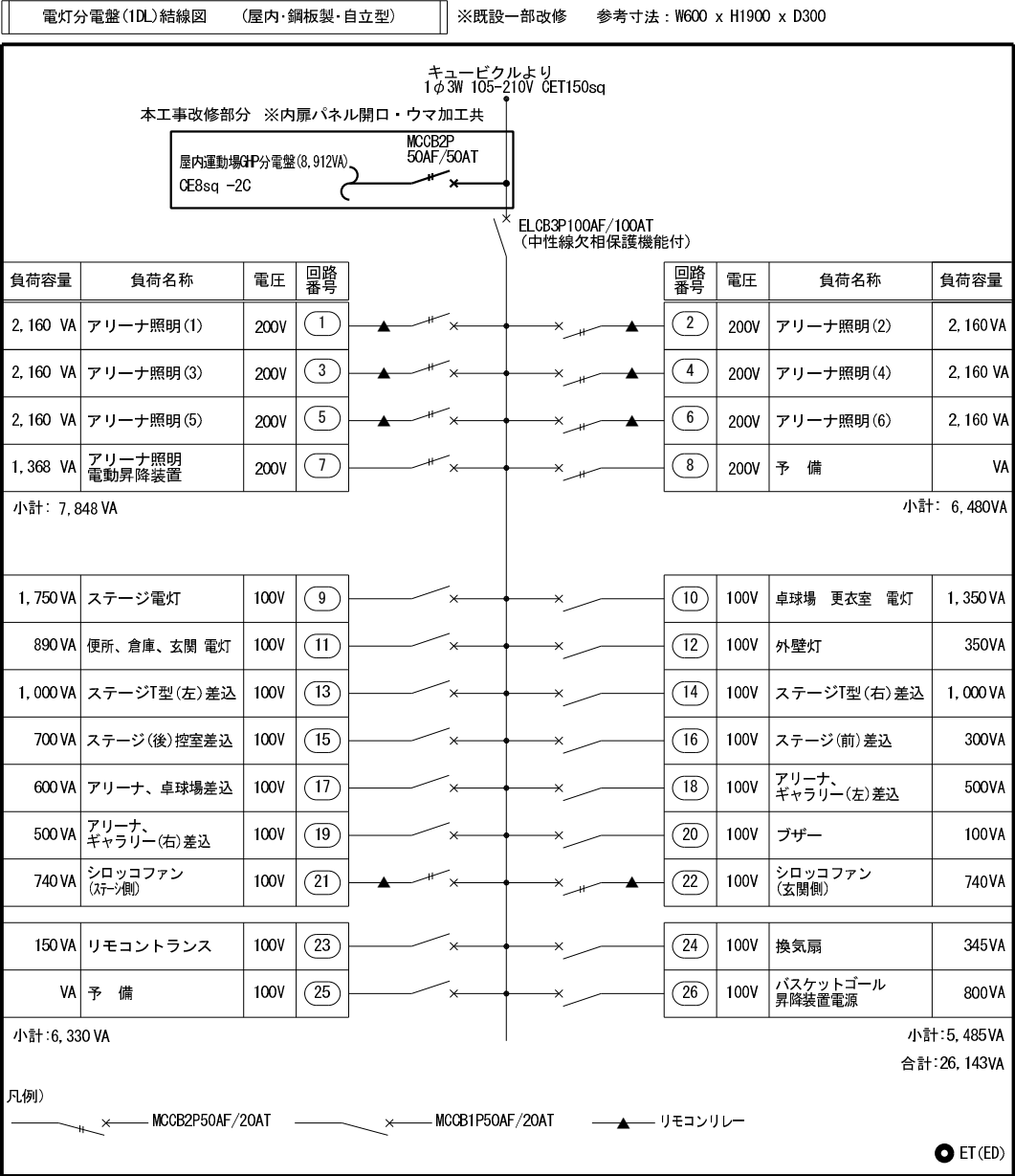
伊敷小学校ほか 1 校屋内運動場冷暖房その他設備工事

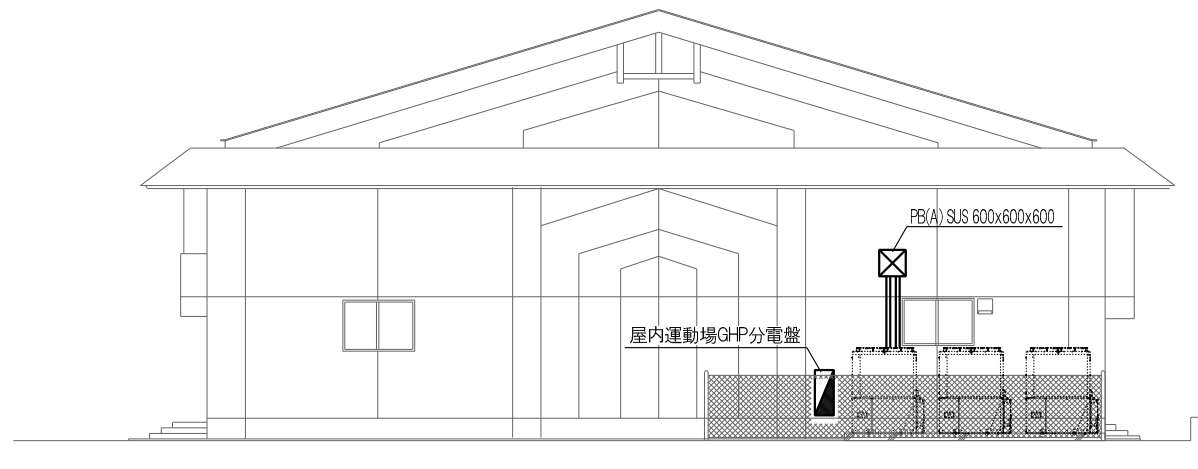
玉江小学校  
凡例表・配線リスト表

A1: NO SCALE  
A3: NO SCALE

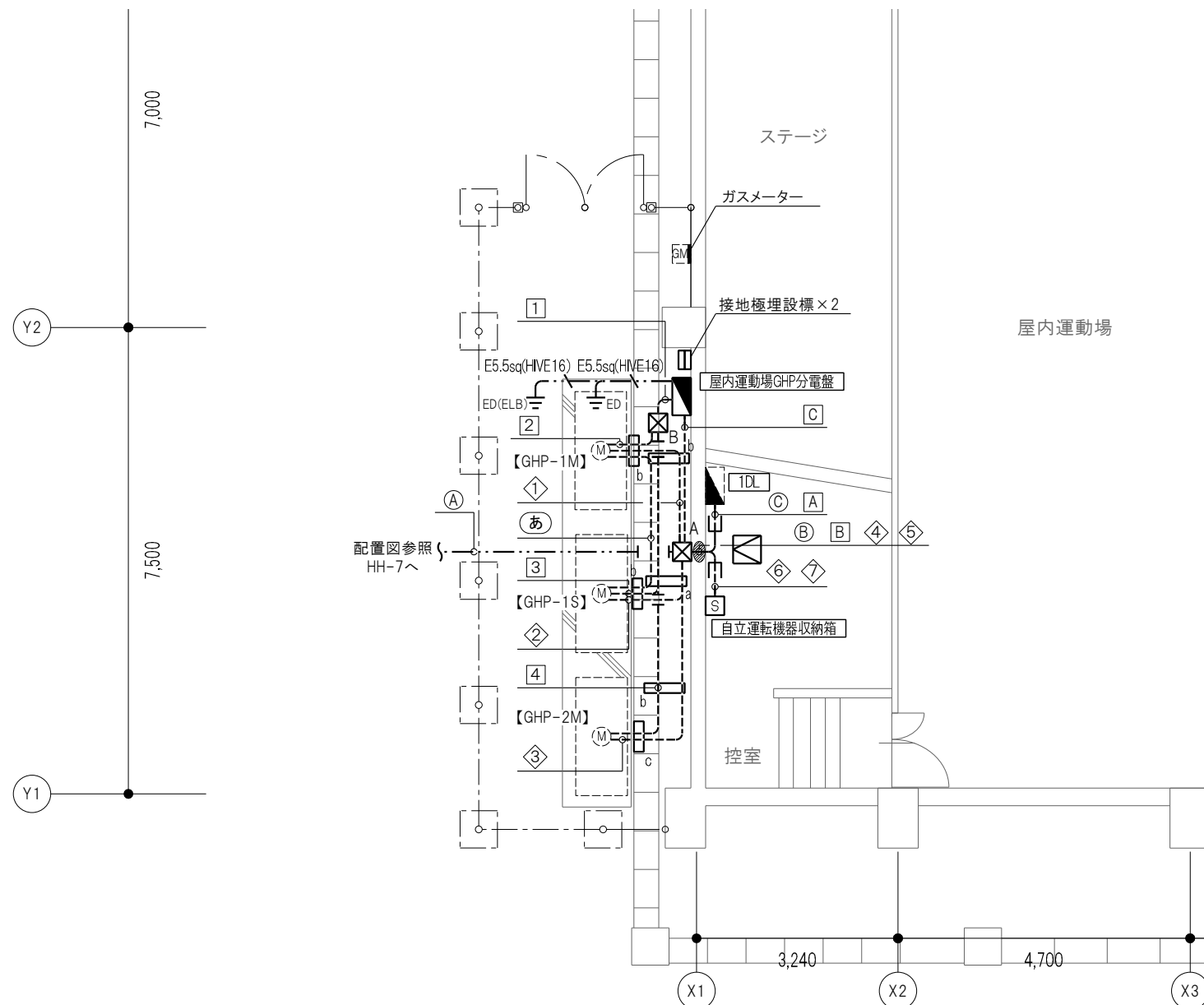
36/  
全39

鹿児島市建設局建築部設備課

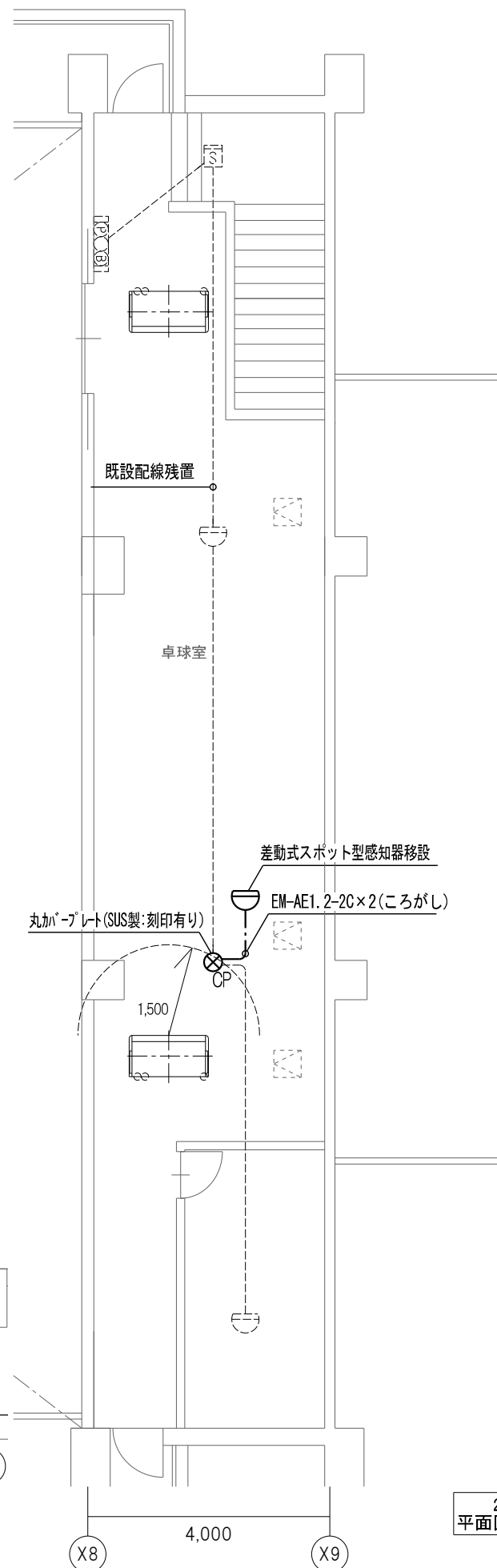




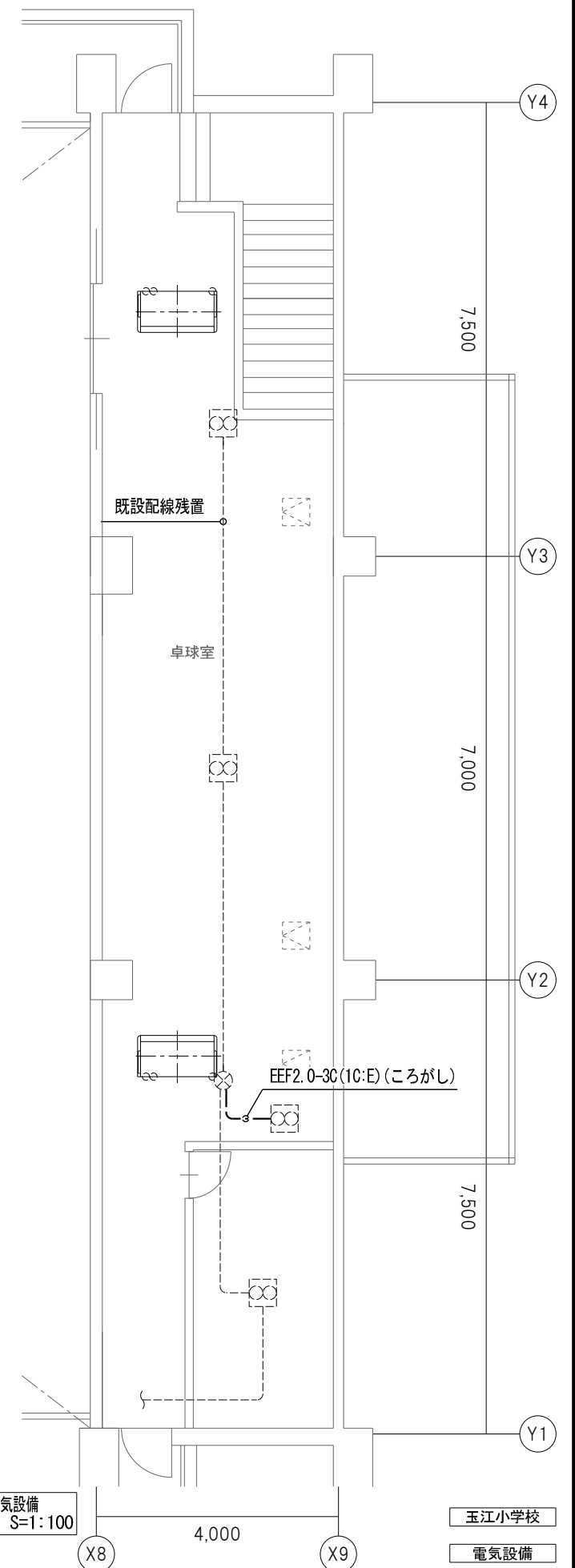
屋内運動場GHP分電盤 施工参考図 NO SCALE



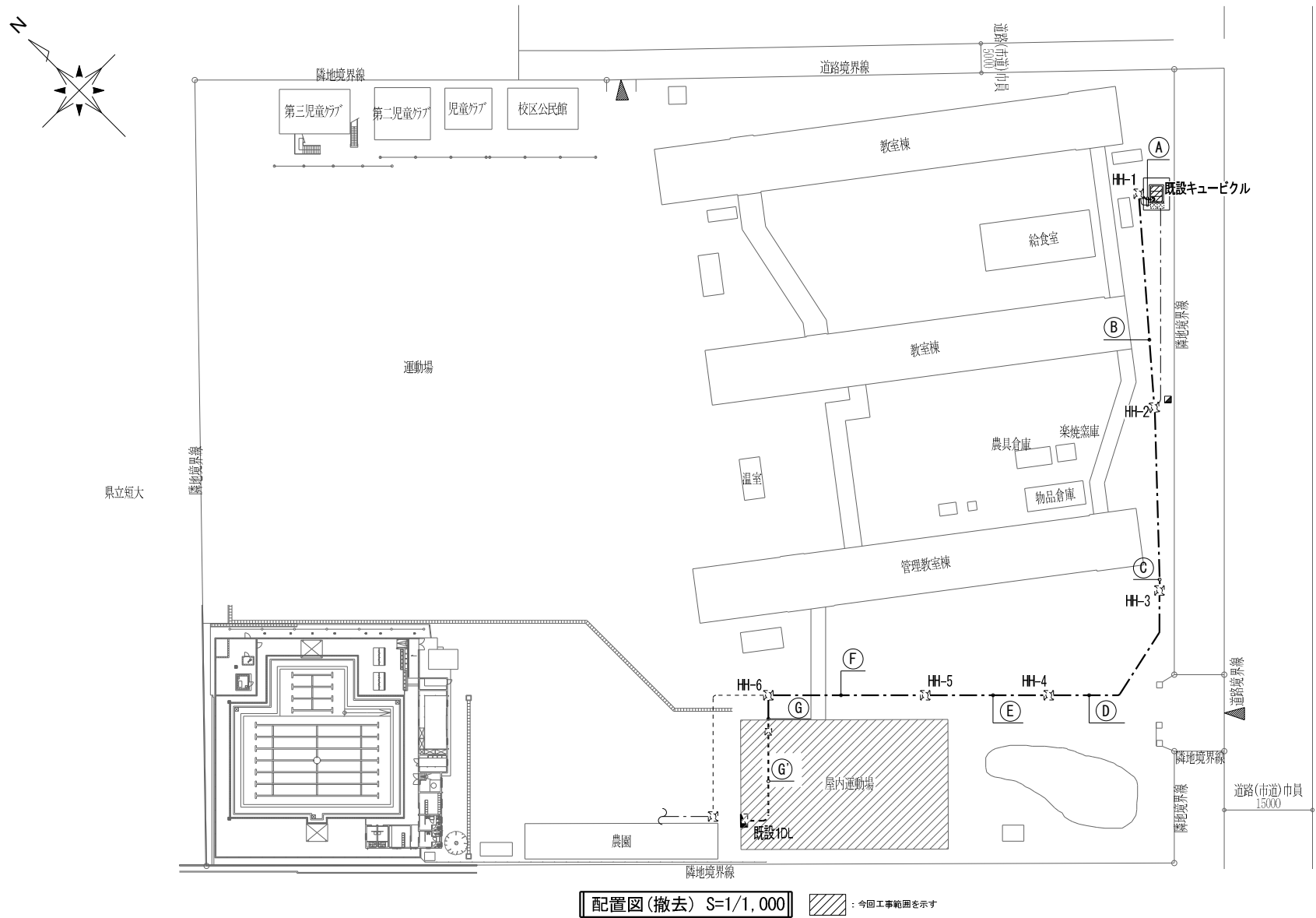
1階平面図 S=1:100



2階卓球室 自動火災報知設備  
平面図(改修後) S=1:100



2階卓球室 換気設備  
平面図(改修後) S=1:100



配線配管表

記号	配 線	配 管	用 途	備 考
①	CVT100sq	PRP70	屋内運動場電灯	配線のみ撤去
②	CVT100sq	HIVP75	屋内運動場電灯	配線のみ撤去
③	CVT100sq	FEP80	屋内運動場電灯	配線のみ撤去
④	CVT100sq	FEP80	屋内運動場電灯	配線のみ撤去
⑤	CVT100sq	FEP80	屋内運動場電灯	配線のみ撤去
⑥	CVT100sq	FEP80	屋内運動場電灯	配線のみ撤去
⑦	CVT100sq	G70	屋内運動場電灯	配線のみ撤去
⑧	IV 100sq×3	E63	屋内運動場電灯	配線のみ撤去

玉江小学校

電気設備